平成２３年度
秋田県産業廃棄物実態調査
フォローアップ調査報告書
（平成２２年度実績）

平成 24 年 3 月

秋 田 県

目　　次

第１章　調査の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
第１節　調査の目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
第２節　調査に関する基本的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
第３節　調査の方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
第４節　調査結果の利用上の留意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
第５節　標本抽出・回収結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

第２章　調査結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
第１節　結果の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
第２節　排出状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
第３節　処理状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

第３章　業種別の調査結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
第１節　建設業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
第２節　製造業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
第３節　電気・水道業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
第４節　その他の業種 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

第４章　農業・鉱業を含めた産業廃棄物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
第１節　農業からの産業廃棄物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
第２節　鉱業からの産業廃棄物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
第３節　農業を含めた排出量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

第５章　産業廃棄物の移動状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
第１節　産業廃棄物の移動状況の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
第２節　県内発生産業廃棄物の移動状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
第３節　県外発生県内搬入産業廃棄物の移動状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45

第６章　産業廃棄物の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
第１節　前回調査との比較 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
第２節　目標の達成状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50

第７章　産業廃棄物の将来の見込み　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
　第１節　排出量の将来予測　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
　第２節　処理量の将来予測　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54

第８章　意識調査結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
　第１節　産業廃棄物等の発生量の見込みについて　・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
　第２節　産業廃棄物の処理に関する課題について　・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
　第３節　処理困難な廃棄物について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
　第４節　産業廃棄物の発生抑制や減量化に関する取り組みについて　・・・・・・・ 59
　第５節　県内の産業廃棄物処理施設について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
　第６節　環境保全センターのあり方について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
　第７節　産業廃棄物税について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
　第８節　県への要望について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67

参考資料＜統計表＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68

参考資料＜調査票等一式＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・133

第１章　調査の概要

第１節　調査の目的

本調査は、秋田県内で排出される産業廃棄物の発生及び処理・処分の状況を調査し、産業廃棄物の発生量、処理量及び処理方法等を把握することを目的に実施した。

第２節　調査に関する基本的事項

１　調査対象期間

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までの 1 年間

２　調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び同法施行令に定める以下の産業廃棄物とした。

なお、調査に当たっては、これらの産業廃棄物のうち、汚泥、廃油、廃プラスチック類、がれき類については、廃棄物の性状に応じて以下に示す種類に更に区分した。

調査対象廃棄物　　（　）内は、細区分。
①燃え殻、②汚泥（有機性汚泥、無機性汚泥）、③廃油（一般廃油、廃溶剤、その他）、④廃酸、⑤廃アルカリ、⑥廃プラスチック類（廃プラスチック、廃タイヤ）、⑦紙くず、⑧木くず、⑨繊維くず、⑩動植物性残さ、⑪動物系固形不要物、⑫ゴムくず、⑬金属くず、⑭ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず［注、本報告書における図表では「ガラス陶磁器くず」と略した］⑮鉱さい、⑯がれき類（コンクリート片、廃アスファルト、その他）、⑰ばいじん、⑱動物のふん尿、⑲動物の死体、⑳産業廃棄物を処分するために処理したもの［注、本報告書における図表では「13 号廃棄物」と略した］

また、次に示す有償物、廃棄物等については下記の取り扱いとした。

（１）法令上廃棄物とされていない有償物で今後の社会状況の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるもの（具体的には、金属スクラップなど）については、今回の調査対象に含めた。

（２）紙くず、木くず（木製パレットを除く）、繊維くず、動植物性残さ及び動物系固形不要物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で、産業廃棄物となる業種が指定されている。このため、指定された業種以外の事業所から発生した紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物系固形不要物については、原則として事業系一般廃棄物とし、調査対象から除外した。

（３）酸性またはアルカリ性を呈する排水であって、これを公共用水域へ放流することを目的として事業所で中和処理を行っている場合には、中和処理後に生じた汚泥（沈でん物）を発生量とした。

（４）廃棄物を自己焼却処理した後に燃え殻が発生する場合は、焼却処理前の廃棄物を発生量とした。

特別管理産業廃棄物については、以下に示す区分とした。

特別管理産業廃棄物
①廃油（揮発油類、灯油類、軽油類） ②廃酸（pH が 2.0 以下の廃酸） ③廃アルカリ（pH が 12.5 以上の廃アルカリ） ④感染性廃棄物 ⑤廃石綿等 ⑥特定有害廃棄物（廃石綿等を除く）

３　調査対象業種及び調査事業所数

調査対象業種は、日本標準産業分類（総務省）を基本とし、秋田県内に所在する事業所のうち、産業廃棄物が比較的多量に発生する業種を調査対象とした（表 1-2-1）。

なお、農業については、県関係部局の資料に基づく資料調査、また運輸業、卸・小売業等のその他の業種については、平成 22 年度秋田県産業廃棄物実態調査報告書の結果を使用した。

業種の表記については、平成 19 年 11 月改訂版に従った。ただし、一般機械器具製造業及び精密機械器具製造業については、平成 14 年 3 月改訂版に従った。

表 1-2-1　調査対象業種及び調査事業所数

大分類	中・小分類	抽出率	調査事業所数
建設業	全業種	4%	255
製造業	全業種	9%	345
電気・ガス・熱供給・水道業	電気業、ガス業、上水道業、下水道業	100%	62
合　　計		6.3%	662

本報告書では、産業廃棄物の発生及び処理状況の特性を考慮し、一部の業種について中・小分類により細区分し表示した。なお、その際、一部の業種の名称を表 1-2-2 に示す略称を用いて表示した。

表 1-2-2　調査対象業種

日本標準産業分類	略　　称
建設業	建設業
製造業	製造業
食料品製造業	食料品
飲料・たばこ・飼料製造業	飲料・飼料
繊維・衣服・その他の繊維製品製造業	繊維
木材・木製品製造業（家具を除く）	木材・木製品
家具・装備品製造業	家具・装備品
パルプ・紙・紙加工品製造業	パルプ・紙
印刷・同関連業	印刷
化学工業	化学
石油製品・石炭製品製造業	石油製品
プラスチック製品製造業	プラスチック
ゴム製品製造業	ゴム製品
なめし革・同製品・毛皮製造業	皮革
窯業・土石製品製造業	窯業・土石
鉄鋼業	鉄鋼
非鉄金属製造業	非鉄金属
金属製品製造業	金属製品
一般機械器具製造業	一般機械
電気機械器具製造業	電気機械
情報通信機械器具製造業	情報通信機械
電子部品・デバイス製造業	電子部品・デバイス
輸送用機械器具製造業	輸送機械
その他の製造業	その他
電気・ガス・熱供給・水道業	電気・水道業
電気業	電気業
ガス業	ガス業
上水道業	上水道業
下水道業	下水道業

4　調査対象区域

調査対象区域は、秋田県全域とし、本調査においては、表 1-2-3 に示す構成市町村により４区分とした。

表 1-2-3　地域区分表

地　域　名	市　町　村　名
秋田市	秋田市
県北地域	能代市、大館市、鹿角市、北秋田市 （鹿角郡）小坂町 （北秋田郡）上小阿仁村 （山本郡）藤里町、三種町、八峰町
県央地域	男鹿市、由利本荘市、潟上市、にかほ市 （南秋田郡）五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県南地域	横手市、湯沢市、大仙市、仙北市 （仙北郡）美郷町 （雄勝郡）羽後町、東成瀬村

5　発生量及び処理状況の流れ図

調査の集計結果は、図 1-2-1 に示す発生量及び処理状況の流れ図に示した項目により、とりまとめた。

なお、図 1-2-1 に示した各項目の用語の定義は、表 1-2-4 に示すとおりである。

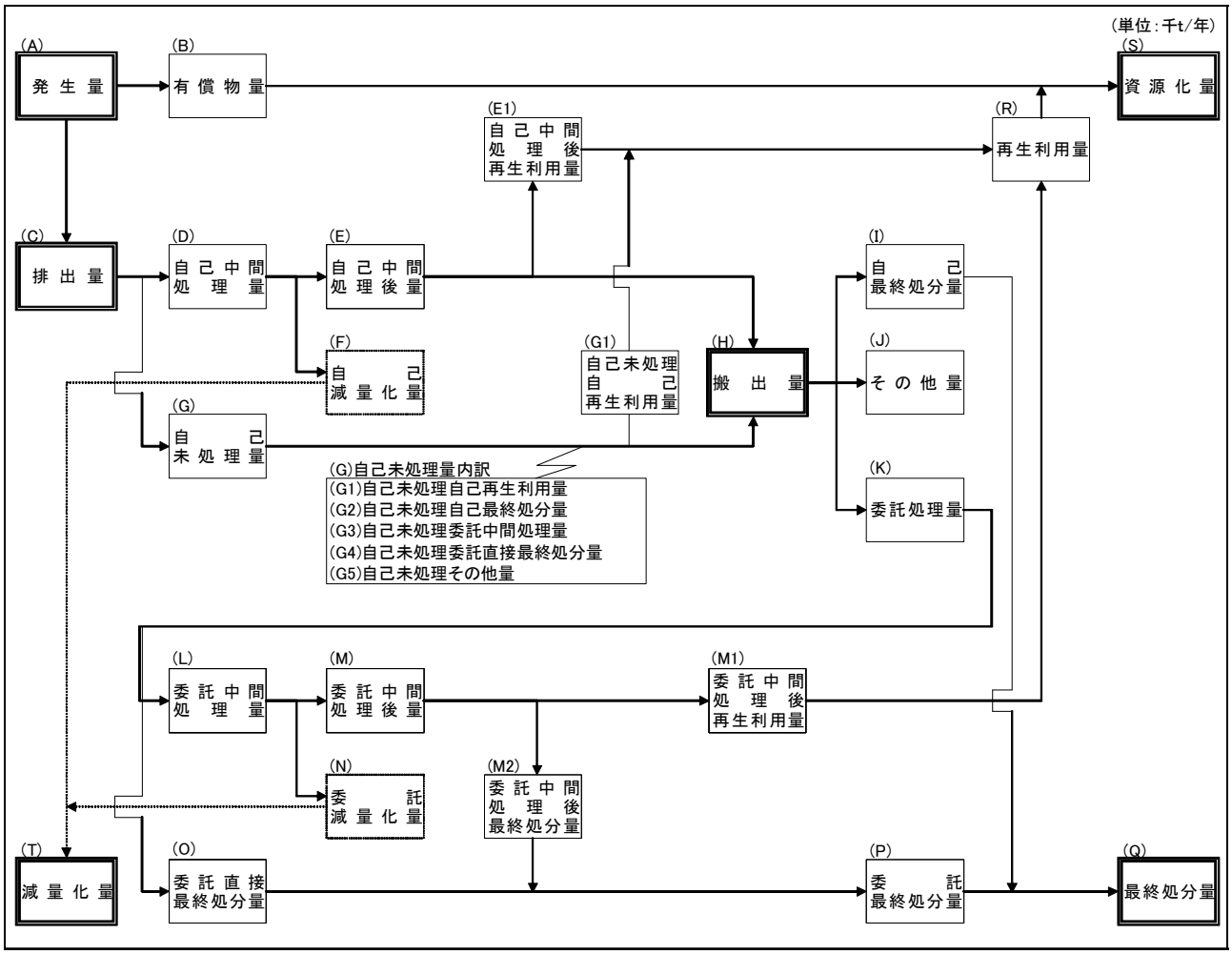


図 1-2-1　発生量及び処理状況の流れ図

表 1-2-4　発生量及び処理状況の流れ図の項目に関する用語の定義

項　　目	定　　義
(A)発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量
(B)有償物量	(A)の発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量
(C)排出量	(A)の発生量のうち、(B)の有償物量を除いた量
(D)自己中間処理量	(C)の排出量のうち、自ら中間処理した廃棄物量で処理前の量
(G)自己未処理量	(C)の排出量のうち、自己中間処理されなかった量
(G1)自己未処理自己再生利用量	(G)の自己未処理量のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用した量
(G2)自己未処理自己最終処分量	(I)の自己最終処分量のうち、自己未処理で自己最終処分された量
(G3)自己未処理委託中間処理量	(L)の委託中間処理量のうち、自己未処理で委託中間処理された量
(G4)自己未処理委託直接最終処分量	(O)の委託直接最終処分量のうち、自己未処理で委託直接最終処分された量
(G5)自己未処理その他量	(J)のその他量のうち、自己未処理でその他となった量
(E)自己中間処理後量	(D)で中間処理された後の廃棄物量
(E1)自己中間処理後再生利用量	(E)の自己中間処理後量のうち、自ら利用しまたは他者に有償で売却した量
(F)自己減量化量	(D)の自己中間処理量から(E)の自己中間処理後量を差し引いた量
(H)搬出量	(I)の自己最終処分、(J)のその他、(K)の委託処理量の合計
(I)自己最終処分量	自己の埋立地に処分した量
(J)その他量	保管されている量、または、それ以外の量
(K)委託処理量	中間処理及び最終処分を委託した量
(L)委託中間処理量	(K)の委託処理量のうち、処理業者等で中間処理された量
(O)委託直接最終処分量	(K)の委託処理量のうち、処理業者等で中間処理されることなく最終処分された量
(M)委託中間処理後量	(L)で中間処理された後の廃棄物量
(M1)委託中間処理後再生利用量	(M)の委託中間処理後量のうち、処理業者等で自ら利用しまたは他者に有償で売却した量
(M2)委託中間処理後最終処分量	(M)の委託中間処理後量のうち、最終処分された量
(N)委託減量化量	(L)の委託中間処理量から(M)の委託中間処理後量を差し引いた量
(P)委託最終処分量	処理業者等で最終処分された量
(Q)最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
(R)再生利用量	排出事業者または、処理業者等で再生利用された量
(S)資源化量	(B)の有償物量と(R)の再生利用量の合計
(T)減量化量	排出事業者または、処理業者等の中間処理により減量された量

第３節　調査の方法

１　調査方法の概要

調査は、郵送によるアンケート調査と県保有の既存資料により行い、回答を得た産業廃棄物の発生及び処理状況に関する内容と産業廃棄物の発生量に関連した指標（製造品出荷額等）を基に、県内の産業廃棄物の発生量等を推定した。

総事業所数	55,433 事業所（平成 21 年経済センサス-基礎調査）
調査対象事業所数	10,518 事業所
ｱﾝｹｰﾄ送付事業所数	662 事業所
回収事業所数 ①	538 事業所（転居等による未着を含む）
回収率 ①	81.3%
回収事業所数 ②	528 事業所（転居等による未着を除く）
回収率 ②	79.8 %
有効回答数	494 事業所

本調査においては、発生業種の特性等を勘案し、各業種毎に次に示す調査方法を基本とした。

表 1-3-1　調査方法

業種	調査方法			備考
	全数調査	標本調査	資料調査	
農業			○	第４章参照
建設業		○		
製造業		○		
電気・水道業	○			関係部局の名簿を基に、浄水場、下水処理場を全数抽出し、すべての施設より回答を得た。 よって、活動量指標を用いた原単位による推計は行わず、アンケートで集計した発生量及び処理状況の実績量をそのまま用いた。

注 1)全数調査とは、産業廃棄物の発生量及び処理状況の実態をより正確に把握するために特定の業種及び事業所等に対して、その発生量及び処理状況の実績量を把握する方法。

注 2)標本調査とは、標本調査対象業種に分類される事業所から一部の調査事業所を抽出し、抽出された排出事業所からの報告の徴収やアンケート調査に基づいて産業廃棄物の実態を把握する方法。

注 3)資料調査とは、関係部局等が調査した発生原単位等の資料を用いて発生量等の実績量を把握する方法。

２　標本調査について

（１）標本抽出方法

標本調査の抽出は、平成 21 年経済センサス-基礎調査名簿を基に、業種別、従業者規模別等に事業所を層別し、これらの各層ごとに実施した。

表 1-3-2　標本抽出方法

業　種	標本抽出方法等
建設業	・資本金 3000 万円以上の企業を全数抽出 ・平成 21 年度産業廃棄物排出量が 100ｔ以上の企業を全数抽出
製造業	・平成 21 年経済センサス-基礎調査に登録された従業者 50 人以上の事業所を全数抽出 ・平成 21 年度産業廃棄物排出量が 100ｔ以上の事業所を全数抽出
電気・水道業	電気業、ガス業 ・平成 21 年経済センサス-基礎調査から火力発電所、電柱置場、ガス製造施設を抽出 上下水道業 ・関係部局の名簿を基に、浄水場、下水処理場を全数抽出

（２）アンケート調査項目

調査票の項目は、活動量指標値と廃棄物の発生及び処理状況に関する項目とし、調査票の形式は、産業廃棄物の発生及び処理状況の特性を考慮し、①建設業、②製造業等の 2 種類とした。

調査票の項目及び形式の詳細は、本報告書の調査票一式を参照。

（３）発生原単位の作成と調査対象全体の発生量の推定方法

１）発生原単位の算出

発生原単位は、アンケート調査等によって得られた標本の業種別、産業廃棄物の種類別の集計産業廃棄物発生量と、業種別の集計活動量指標から、図 1-3-1 に示す A 式により活動量指標単位当たりの産業廃棄物発生量（発生原単位）を算出した。

２）調査対象全体の発生量の推定方法

１）で算出された発生原単位と、業種別の調査対象全体（母集団）における調査当該年度の活動量指標を用いて、図１-３-１に示す B 式によって調査対象全体の産業廃棄物の発生量を推計した。

①発生原単位の算出
Ａ式　α＝Ｗ／Ｏ　　α　：産業廃棄物の発生原単位
Ｗ　：標本に基づく集計産業廃棄物発生量
Ｏ　：標本に基づく集計活動量指標

②調査対象全体の発生量の推定方法
Ｂ式　Ｗ’＝α×Ｏ’　Ｗ’　：調査当該年度の推計産業廃棄物発生量
Ｏ’　：調査当該年度の母集団の活動量指標

図 1-3-1　発生原単位と発生量の推定計算の概念図

３）活動量指標

標本調査対象業種において、母集団（県全体）の推計に用いた活動量指標は、次のとおりである。

表 1-3-3　業種別の活動量指標

産業分類	活動量指標等	出典
建設業	元請完成工事高	建設工事施工統計調査報告（国土交通省）
製造業	製造品出荷額等	工業統計調査結果表（経済産業省）

第４節　調査結果の利用上の留意事項

１　産業廃棄物の種類の区分について

発生時の廃棄物の種類に対し、中間処理により廃棄物の種類が変化する場合がある。そのため、本報告書では、産業廃棄物の種類を次に示す３段階で設定した。

１段階	発生時点の種類
２段階	排出事業者の中間処理により、変化した処理後の種類。 例；木くず→（焼却）→［燃え殻］ 注）１段階時点の種類と事業者の中間処理方法を用いて推定した。
３段階	委託中間処理により、変化した処理後の種類。 注）２段階時点の種類と委託中間処理方法を用いて推定した。

本報告書における廃棄物の種類別の記載の中で、各段階における種類を中間処理後の変化した種類で集計した場合には「種類別：変換」と表記し、変化する前（発生時）の種類で集計した場合には「種類別：無変換」と表記した。

２　建設業の地域区分について

建設業の推計計算を行うために、活動量指標として元請完成工事高を用いたが、この母集団値は県全体値のみが入手可能で、地域別の値は公表されていない。したがって、建設業の場合は、原単位法に基づく推計計算は県全体についてのみ可能であるが、本報告書では、産業廃棄物の発生量及び処理・処分量について、建設業の全体量を地域別の人口数で按分することにより、各地域別の量を算出した。

３　単位と数値に関する処理

（１）単位に関する表示

本報告書の調査結果表においては、すべて１年間の量であることを明らかにするため、図表の単位は「千 t/年」で表示しているが、文章中においては、原則として「千㌧」で記述している。

（２）報告書の図表における数値の処理

本報告書に記載されている千㌧表示及び構成比（%）の数値は、四捨五入しているために、総数と個々の合計とは一致しないものがある。なお、表中の空欄は該当値がないもの、「0」表示は 500t/年未満であることを示している。

（３）統計表における数値の処理

統計表で使用した単位は、「千 t/年」である。なお、表中の空欄は該当値がないもの、「0」表示は 500t/年未満であることを示している。

４　農業・鉱業の取り扱い

農業・鉱業については、前回調査との整合性等から、第４章にて、これらを含めた排出状況を記載し、第２～３章、第５～７章については、これらを除き取りまとめている。

第５節　標本抽出・回収結果

秋田県内に所在する総事業所数 55,433 件（平成 21 年経済センサス-基礎調査）の母集団から産業廃棄物が比較的多量に発生する業種を選定し、アンケート調査により母集団から発生する産業廃棄物推定を実施した。

アンケート調査の対象となる母集団事業所数は 10,518 件である。
このうち、業種並びに規模、地域別の特性等を考慮して、業種別、従業者規模別、地域別の抽出率を設定し、662 件（抽出率 6.3%）を抽出し、アンケート調査を実施した。

転居及び廃業等の未着を含めた回収調査票の総数は 538 件（回収率 81.3%）であり、回収された調査票は 528 件（回収率 79.8%）である。このうち、廃業及び休業（建設業においては、元請工事がない場合）している事業所の調査票等を除いた有効調査票は、494 件である。

アンケート調査で回収された調査票から集計された産業廃棄物量は 1,712 千㌧であり、原単位法により推計された総産業廃棄物量(1,825 千㌧)に対する補足率は 93.8%である。

抽出及び回収結果は、表 1-5-1 のとおりである。

表 1-5-1　標本抽出・回収結果

		(A) 調査対象 事業所数	(B) 抽　出 事業所数	(C) 抽出率 (B)÷(A)	(D) 回　収 事業所数	(E) 回収率 (D)÷(B)	(F) 有　効 調査表	(G) 集　計 活動量 指標値	(H) 母集団 の 活動量 指標値	(I) 指　標 ｶﾊﾞｰ率 (G)÷(H)	(J) 集　計 廃棄物量	(K) 推　計 廃棄物量	(L) 捕捉率 (J)÷(K)
合計		10,518	662	6.3%	528	79.8%	494	－	－	－	1711.7	1,824.9	93.8%
建設業		6,396	255	4.0%	207	81.2%	195	146,319	317,772	46.0%	311.4	410.4	75.9%
製造業		4,060	345	8.5%	259	75.1%	237	741,770	1,317,579	56.3%	614.9	629.1	97.7%
	食料品	690	25	3.6%	18	72.0%	18	40,692	99,144	41.0%	14.7	16.0	92.2%
	飲料・飼料	80	5	6.3%	4	80.0%	4	9,577	32,065	29.9%	4.6	8.1	56.6%
	繊維	553	52	9.4%	36	69.2%	31	12,423	40,187	30.9%	1.4	2.4	57.0%
	木材・木製品	385	15	3.9%	13	86.7%	13	52,252	63,284	82.6%	84.5	84.7	99.8%
	家具・装備品	341	6	1.8%	4	66.7%	4	8,117	8,117	100.0%	1.5	1.5	100.0%
	パルプ・紙	34	4	11.8%	3	75.0%	3	37,319	40,902	91.2%	275.9	275.9	100.0%
	印刷	215	6	2.8%	4	66.7%	4	2,144	11,965	17.9%	0.0	0.1	17.9%
	化学	29	9	31.0%	9	100.0%	7	47,310	84,364	56.1%	8.3	8.4	99.1%
	石油製品	26	2	7.7%	2	100.0%	2	1,338	5,631	23.8%	0.3	0.3	100.0%
	プラスチック	63	7	11.1%	4	57.1%	3	5,705	27,209	21.0%	2.8	2.9	93.7%
	ゴム製品	20	5	25.0%	3	60.0%	2	3,003	5,739	52.3%	0.2	0.2	77.6%
	皮革	92	3	3.3%	2	66.7%	2	513	3,678	14.0%	0.0	0.0	100.0%
	窯業・土石	180	14	7.8%	14	100.0%	14	18,775	55,536	33.8%	19.9	21.4	93.2%
	鉄鋼	31	6	19.4%	5	83.3%	5	10,592	21,895	48.4%	9.3	9.3	100.0%
	非鉄金属	31	11	35.5%	11	100.0%	11	33,281	43,121	77.2%	126.4	126.5	99.9%
	金属製品	320	25	7.8%	13	52.0%	12	18,592	59,271	31.4%	6.1	6.1	100.0%
	一般機械	358	42	11.7%	35	83.3%	35	118,484	168,506	70.3%	10.1	11.0	92.0%
	電気機械	85	11	12.9%	5	45.5%	4	2,245	25,181	8.9%	0.8	1.3	58.6%
	情報通信機械	33	12	36.4%	10	83.3%	8	34,692	34,692	100.0%	11.0	11.0	100.0%
	電子部品・デバイス	156	64	41.0%	52	81.3%	44	228,285	417,902	54.6%	25.4	30.1	84.6%
	輸送機械	49	16	32.7%	11	68.8%	10	56,336	59,704	94.4%	11.6	11.7	99.3%
	その他	289	5	1.7%	1	20.0%	1	95	9,484	1.0%	0.0	0.2	0.0%
電気業		62	62	100.0%	62	100.0%	62	－	－	－	785.4	785.4	100.0%
	電気業	7	7	100.0%	7	100.0%	7	－	－	－	366.2	366.2	100.0%
	ガス業	3	3	100.0%	3	100.0%	3	－	－	－	0.0	0.0	100.0%
	上水道業	22	22	100.0%	22	100.0%	22	－	－	－	42.1	42.1	100.0%
	下水道業	30	30	100.0%	30	100.0%	30	－	－	－	377.1	377.1	100.0%

(活動量指標の内容)建設業:元請完成工事高等(百万円)　製造業:製造品出荷額(百万円)　その他の業種:従業者数(人)

第２章　調査結果

平成 22 年度に秋田県で発生した産業廃棄物の推計結果は以下のとおりである。

第１節　結果の概要

発生量は 1,859 千ﾄﾝで、有償物量は 117 千ﾄﾝ、有償物量を除いた排出量は 1,742 千ﾄﾝ、搬出量は 957 千ﾄﾝとなっている。

表 2-1-1　発生・排出、処理状況

（単位：千t/年）

発 生 量	有償物量	排 出 量	搬 出 量
1,859 (100.0%)	117 (6.3%)	1,742 (93.7%)	957 (51.5%)

※搬出量とは、排出事業所内で減量（再生利用又は中間処理による減量化）
　された量を除いたもの。
（　）内のパーセントは発生量に対する割合である。

平成22年度の排出量に対する再生利用量の割合(以下、再生利用率という)は39.4%、減量化量の割合(以下、減量化率という)は 45.0%、最終処分量の割合(以下、最終処分率という)は 15.6%となっている。

表 2-1-2　処理・処分状況

（単位：千t/年）

排　出　量	再生利用量	減 量 化 量	最終処分量	そ の 他 量
1,742 (100.0%)	686 (39.4%)	784 (45.0%)	271 (15.6%)	0 (0.0%)

※（　）内のパーセントは排出量に対する割合である。

第２節　排出状況

１　種類別の排出状況

排出量を種類別にみると、汚泥が 752 千ﾄﾝ（43.2%）で最も多く、次いで、がれき類が 342 千ﾄﾝ（19.6%）、以下、ばいじんが 259 千ﾄﾝ（14.8%）、鉱さいが 131 千ﾄﾝ（7.5%）等となっている。

なお、汚泥は排出時においては多量であるが、排出事業者自らによる脱水、乾燥、焼却等の処理により大幅に減量されるため、搬出量ベースでみると 5.1%（49 千ﾄﾝ）となる。

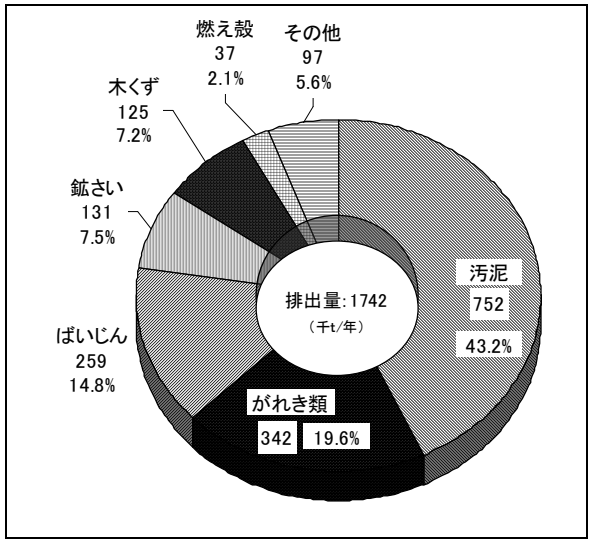


図 2-2-1　種類別排出量

表 2-2-1　種類別の排出状況

（単位:千t/年）

種類:変換	発生量		排出量		搬出量	
合計	1,859	(100.0%)	1,742	(100.0%)	957	(100.0%)
汚泥	824	(44.4%)	752	(43.2%)	49	(5.1%)
がれき類	344	(18.5%)	342	(19.6%)	308	(32.1%)
ばいじん	279	(15.0%)	259	(14.8%)	259	(27.0%)
鉱さい	131	(7.0%)	131	(7.5%)	131	(13.6%)
木くず	125	(6.8%)	125	(7.2%)	46	(4.8%)
燃え殻	37	(2.0%)	37	(2.1%)	49	(5.1%)
廃プラスチック類	26	(1.4%)	25	(1.4%)	25	(2.6%)
ガラス陶磁器くず	17	(0.9%)	17	(1.0%)	13	(1.4%)
その他	76	(4.1%)	54	(3.1%)	78	(8.2%)

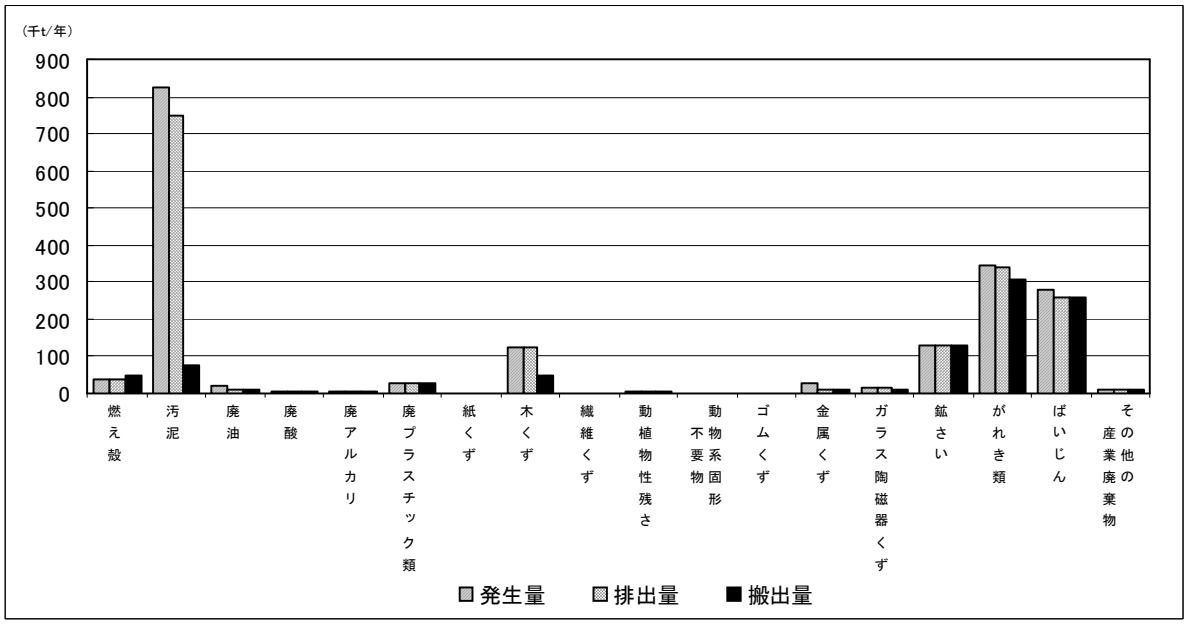


図 2-2-2　種類別の発生量、排出量、搬出量

2　業種別の排出状況

排出量を業種別にみると、電気・水道業が 692 千ﾄﾝ（39.8%）で最も多く、以下、製造業が 615 千ﾄﾝ（35.3%）、建設業が 407 千ﾄﾝ（23.4%）となっており、この 3 業種で排出量全体の 98.5%を占めている。

なお、電気・水道業（下水道汚泥）からの汚泥は、自己中間処理により大幅に減量する。このため、下水道業は 354 千ﾄﾝであるが、自己中間処理による減量化及び自己再生利用量を除いた搬出量でみると 39 千ﾄﾝとなっている。

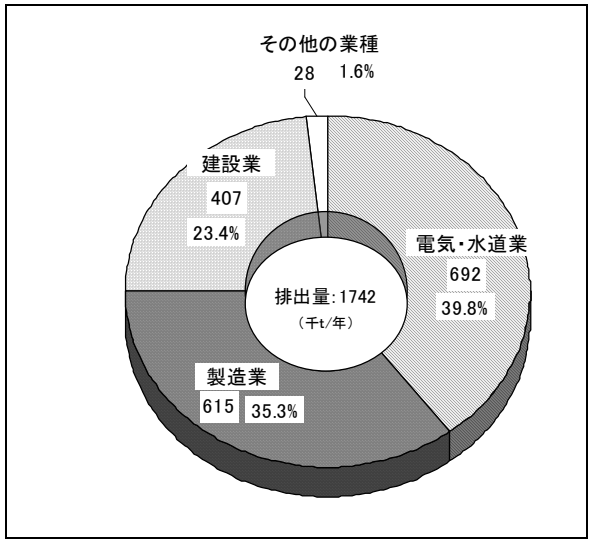


図 2-2-3　業種別排出量

表 2-2-2　業種別の排出状況

（単位:千t/年）

	発生量	排出量	搬出量
合計	1,859（100.0%）	1,742（100.0%）	957（100.0%）
電気・水道業	785（42.3%）	692（39.8%）	314（32.8%）
製造業	629（33.8%）	615（35.3%）	249（26.0%）
建設業	410（22.1%）	407（23.4%）	371（38.7%）
その他の業種	34（1.8%）	28（1.6%）	24（2.5%）

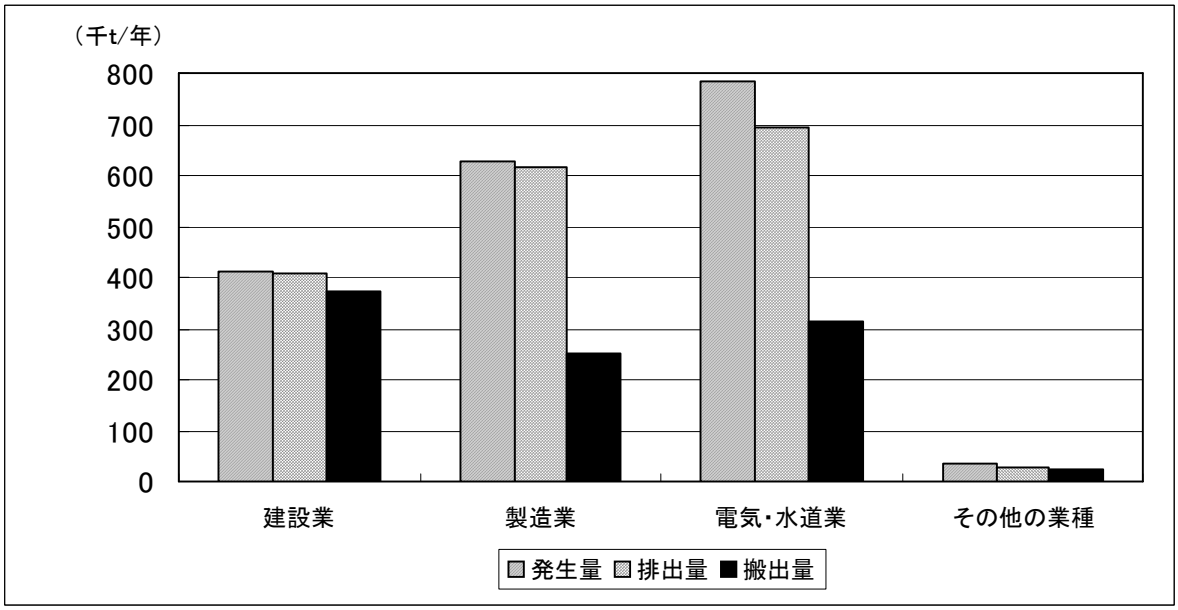


図 2-2-4　業種別の発生量、排出量、搬出量

3　業種別・種類別の排出状況

業種別・種類別の排出量は、表 2-2-3 のとおりである。

表 2-2-3　業種別・種類別の排出状況

（単位：千t/年）

業種 / 種類	建設業	製造業	電気・水道業	その他の業種	合計
燃え殻		6	31	0	37
汚泥	13	315	415	9	751
廃油	0	5	0	4	9
廃酸		1		0	1
廃アルカリ		5		0	5
廃プラスチック類	3	15	0	8	25
紙くず	0	0		0	1
木くず	40	85	0	0	125
繊維くず	0	1			1
動植物性残さ		5			5
動物系固形不要物		0			0
ゴムくず	0	0		0	0
金属くず	4	6	0	3	13
ガラス陶磁器くず	8	9	0	0	17
鉱さい	0	131	0		131
がれき類	332	4	5	0	342
ばいじん		17	241		259
その他（混合物等）	6	1	0	2	9
特別管理産業廃棄物	0	8	0	2	10
汚泥		0	0	0	0
廃油		4		0	4
廃酸		2	0	0	2
廃アルカリ		1	0		1
鉱さい		0			0
廃石綿等	0				0
感染性廃棄物		0		2	2
合計	407	615	692	28	1742

4　地域別の排出状況

排出量を地域別にみると、秋田市が 767 千ﾄﾝ（44.1%）で最も多く、以下、県北地域が 600 千ﾄﾝ（34.4%）、県南地域が 215 千ﾄﾝ(12.3%)、県央地域が 160 千ﾄﾝ(9.2%)となっている。

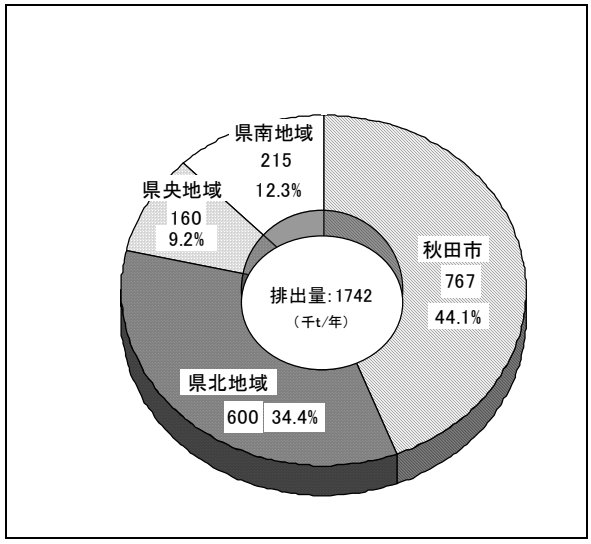


図 2-2-5　地域別排出量の内訳

表 2-2-4　地域別の排出状況

（単位:千t/年）

	秋田市	県北地域	県央地域	県南地域	計
発生量	773 (41.6%)	694 (37.4%)	167 (9.0%)	223 (12.0%)	1,859 (100.0%)
排出量	767 (44.1%)	600 (34.4%)	160 (9.2%)	215 (12.3%)	1,742 (100.0%)
搬出量	203 (21.2%)	508 (53.0%)	117 (12.2%)	130 (13.5%)	957 (100.0%)

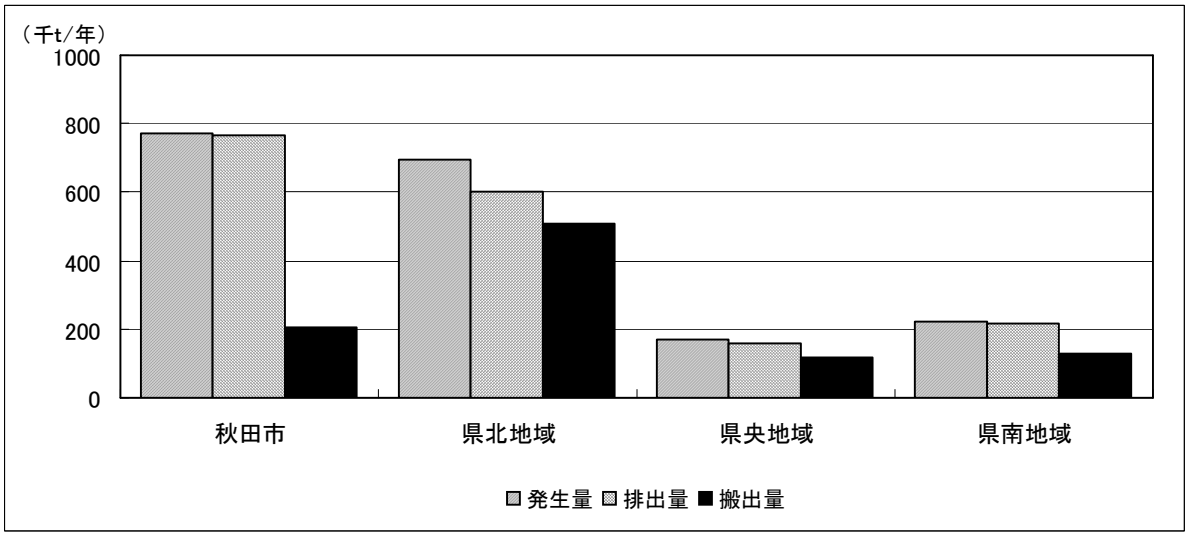


図 2-2-6　地域別の発生量、排出量、搬出量

第３節　処理状況

１　処理・処分状況の概要

平成 22 年度の 1 年間に秋田県内で発生した産業廃棄物の発生量は 1,859 千㌧で、有償物量は 117 千㌧、排出量は 1,742 千㌧となっている。

排出量 1,742 千㌧のうち、排出事業者自らの中間処理による減量（725 千㌧）及び再生利用による減量（59 千㌧）を除いた搬出量は 957 千㌧（排出量の 55.0%）となっている。

搬出量 957 千㌧は、自己最終処分量（132 千㌧）及び委託処理量（825 千㌧）に区分される。

委託処理量 825 千㌧のうち、業者中間処理による減量化量が 59 千㌧、再生利用量が 627 千㌧、最終処分量が 139 千㌧となっている。

県内で排出した産業廃棄物は最終的に、減量化量が 784 千㌧（排出量の 45.0%）、再生利用量が 686 千㌧（同 39.4%）、最終処分量が 271 千㌧（同 15.6%）となっている。

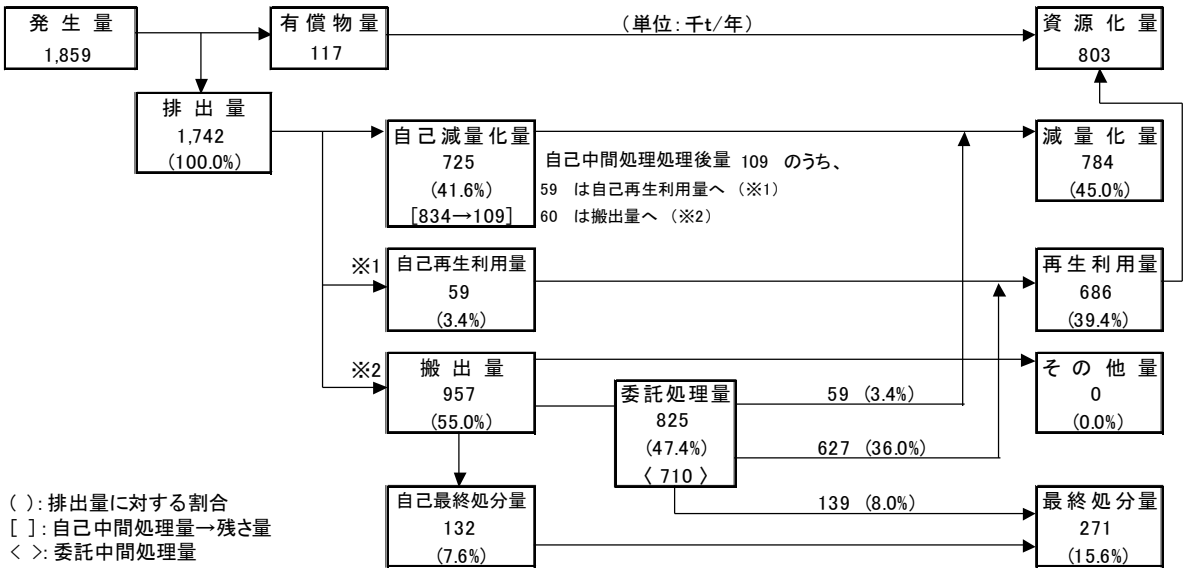


図 2-3-1　処理・処分状況

2　種類別及び業種別にみた再生利用率、減量化率、最終処分率

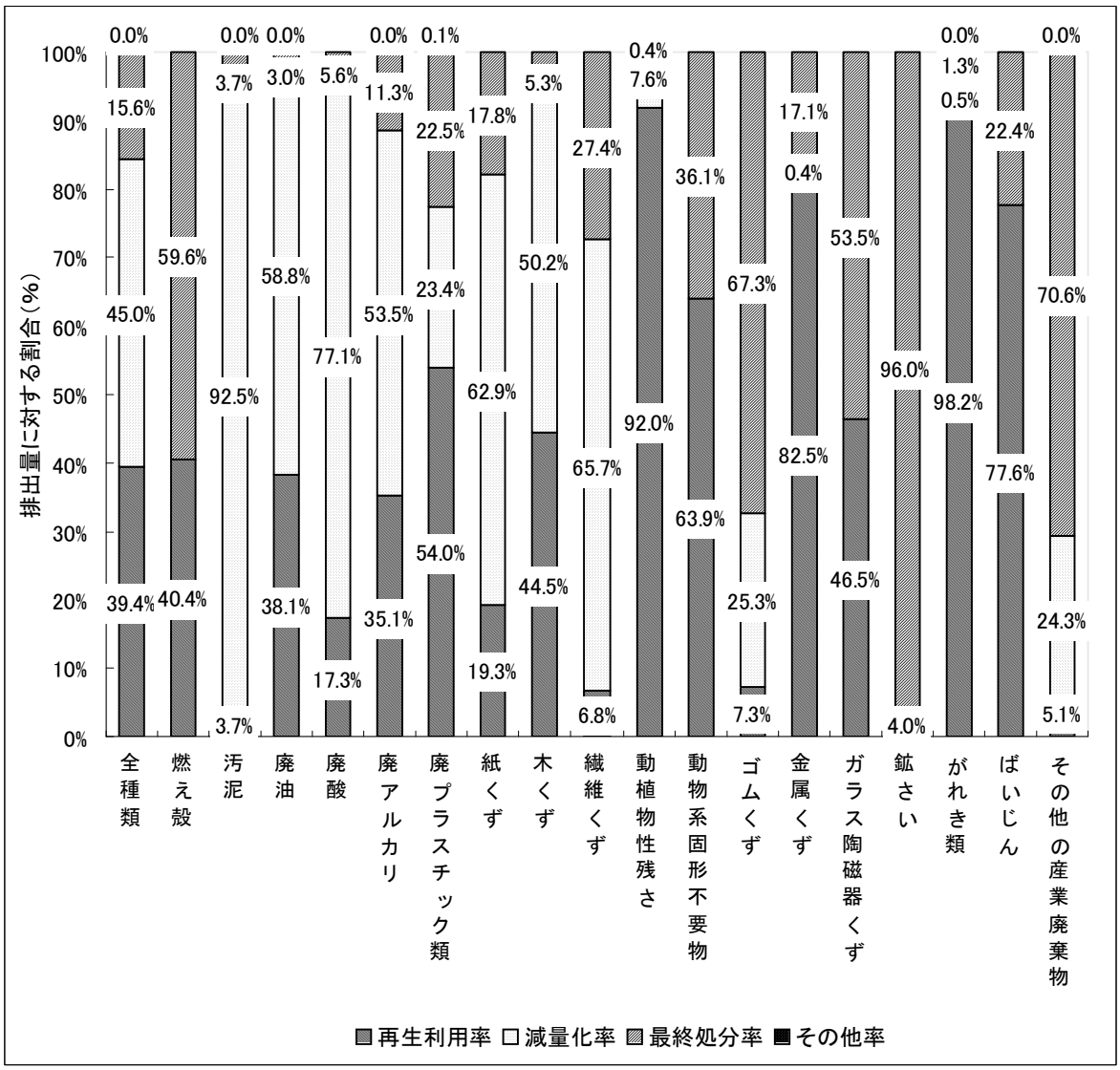


図 2-3-2　種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比を種類別にみると、図 2-3-2、図 2-3-3 に示すとおりである。

種類:無変換（千t/年）	全種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
排出量	1,742	37	752	13	4	6	25	1	125	1	5	0	0	13	17	131	342	259	11
再生利用量	686	15	28	5	1	2	14	0	56	0	4	0	0	11	8	5	336	201	1
減量化量	784		695	8	3	3	6	1	63	1	0		0	0			2		3
最終処分量	271	22	28	0	0	1	6	0	7	0	0	0	0	2	9	125	4	58	8
その他量	0		0	0		0	0										0		0

注）例えば、廃酸、廃アルカリ、廃油等に最終処分量が表示されているが、実際には、焼却等により燃え殻となったものが最終処分されている・
しかし、この表における資源化量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

（参考）

発生量	1,859	37	824	20	4	7	26	1	125	1	5	0	0	27	17	131	344	279	11
有償物量	117		73	6		0	1	0	0	0	0			14	0	0	2	20	0

表 2-3-1　種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量

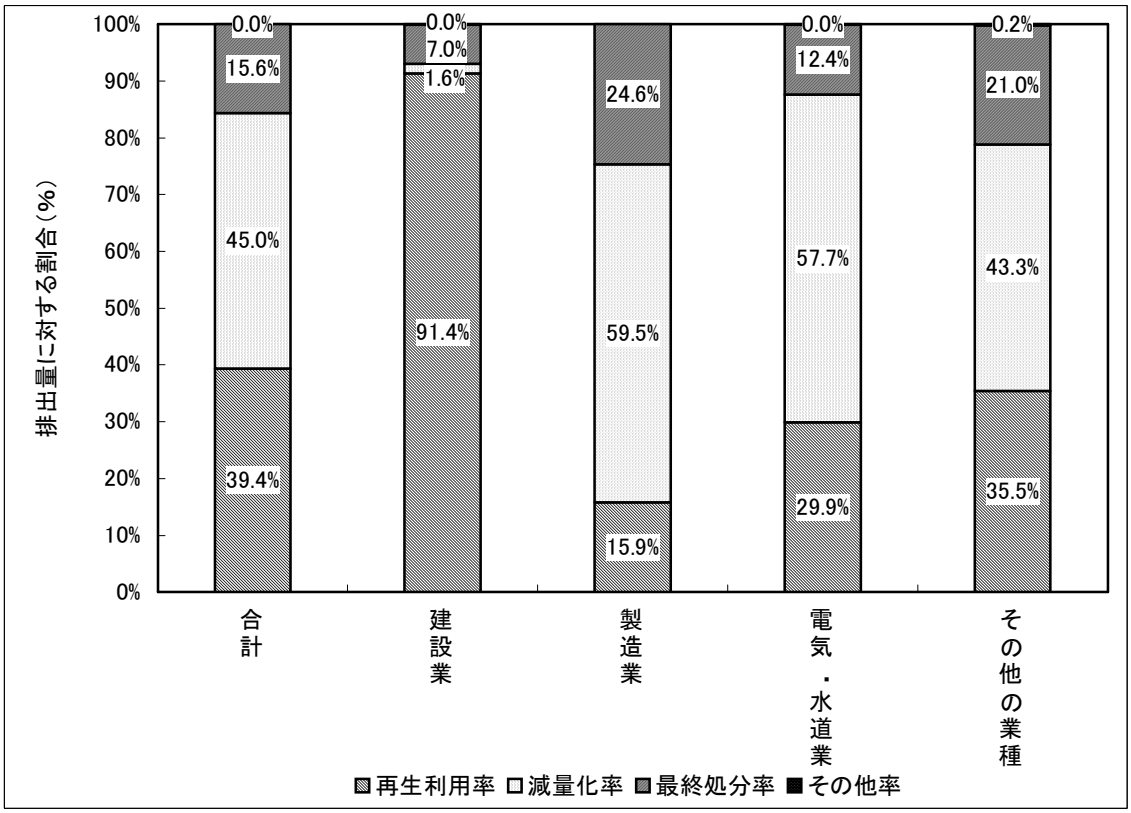


図 2-3-3　業種別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

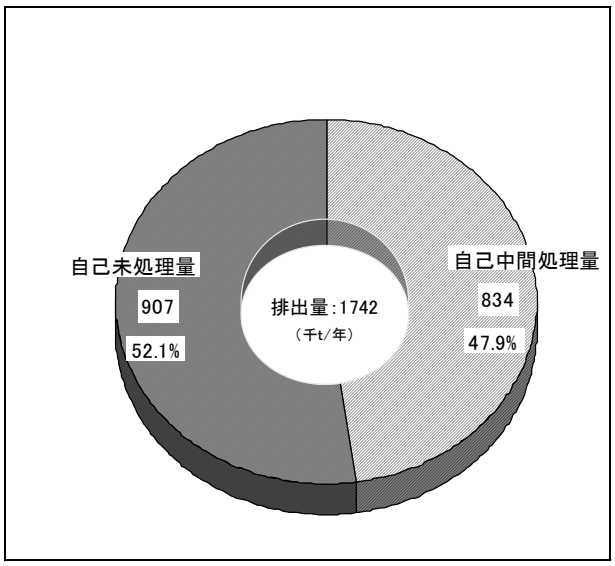
表 2-3-2　業種別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量

業種（千t/年）	合計	建設業	製造業	電気･水道業	その他の業種
排出量	1,742	407	615	692	28
再生利用量	686	372	97	207	10
減量化量	784	7	366	399	12
最終処分量	271	28	151	86	6
その他量	0	0	0	0	0
（参考）					
発生量	1,859	410	629	785	34
有償物量	117	4	14	93	6

3　自己中間処理状況

自己中間処理量は 834 千㌧となっており、排出量の 47.9%を占めている。

種類別に排出量に対する自己中間処理量の割合でみると、汚泥が 94.9%で最も高く、以下、木くずが 59.5%、ガラス陶磁器くずが 21.9%となっている。



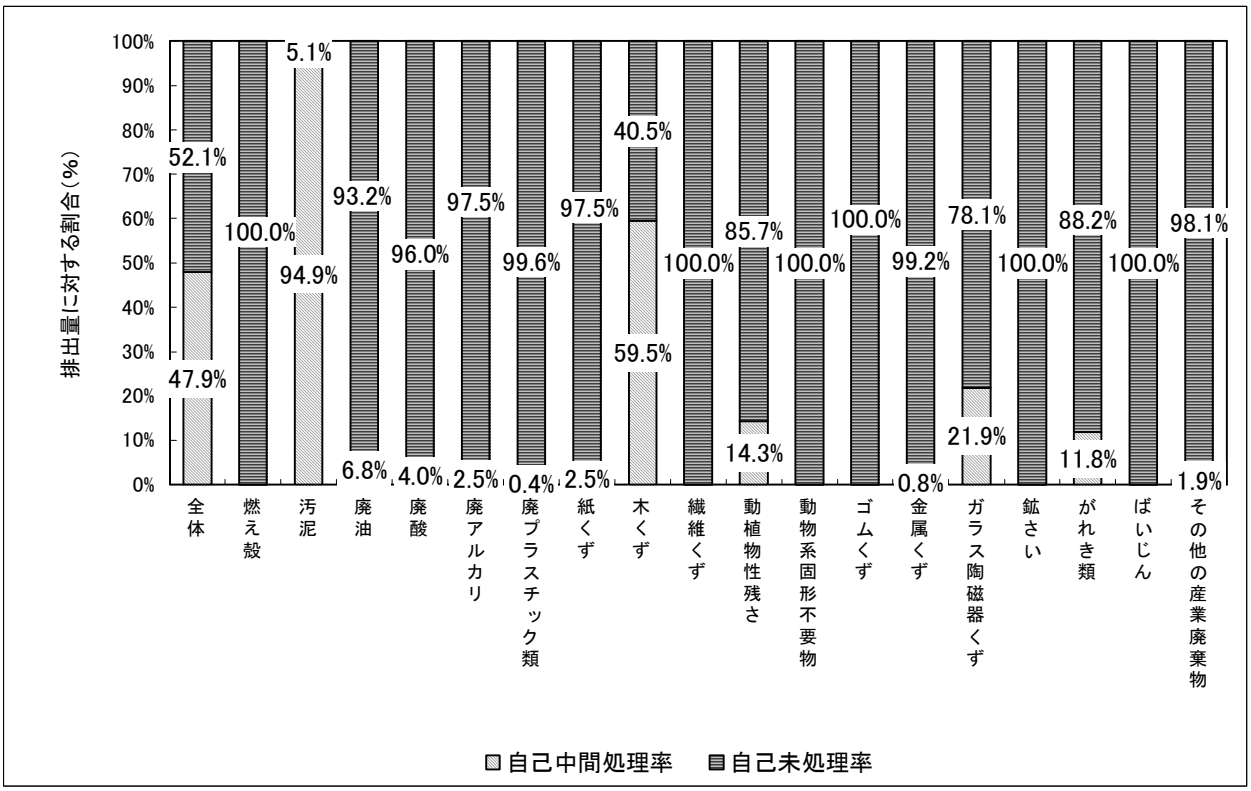


図 2-3-4　中間処理及び自己未処理量の構成比

図 2-3-5　種類別の排出量に対する自己中間処理量、自己未処理量の構成比

表 2-3-3　種類別の排出量に対する自己中間処理量、自己未処理量

種類:無変換 (千t/年)	計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排　出　量	1,742	37	752	13	4	6	25	1	125	1	5	0	0	13	17	131	342	259	11
自己中間処理量	834		713	1	0	0	0	0	75		1			0	4		40		0
(自己減量化量)	(725)		(662)	(0)	(0)	(0)	(0)		(60)					(0)			(2)		(0)
自己未処理量	907	37	39	12	3	6	25	1	51	1	4	0	0	13	13	131	301	259	11

4　委託処理状況

委託処理量は 825 千ﾄﾝであり、排出量の 47.4%を占めている。

種類別にみると、がれき類が 307 千ﾄﾝ（37.3%）で最も多く、以下、ばいじんが 244 千ﾄﾝ（29.6%）、汚泥が 73 千ﾄﾝ（8.8%）となっている。

委託処理量 825 千ﾄﾝのうち、委託直接最終処分量は 115 千ﾄﾝ(委託処理量の 13.9%)、委託中間処理量は 710 千ﾄﾝ（同 86.1%）となっている。

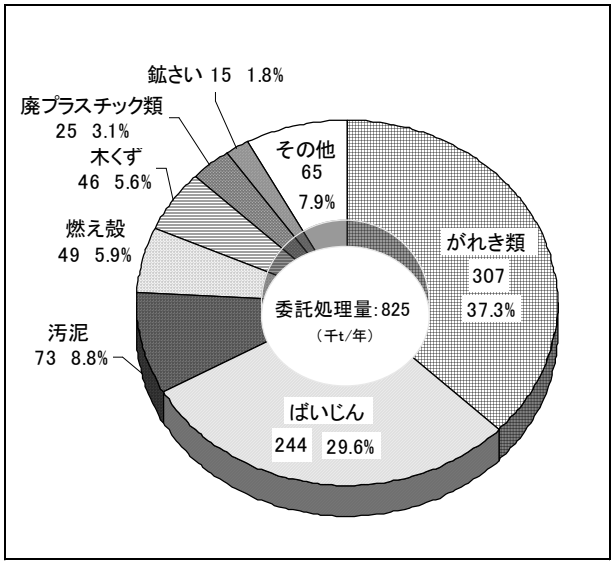


図 2-3-6　種類別委託処理量の構成比

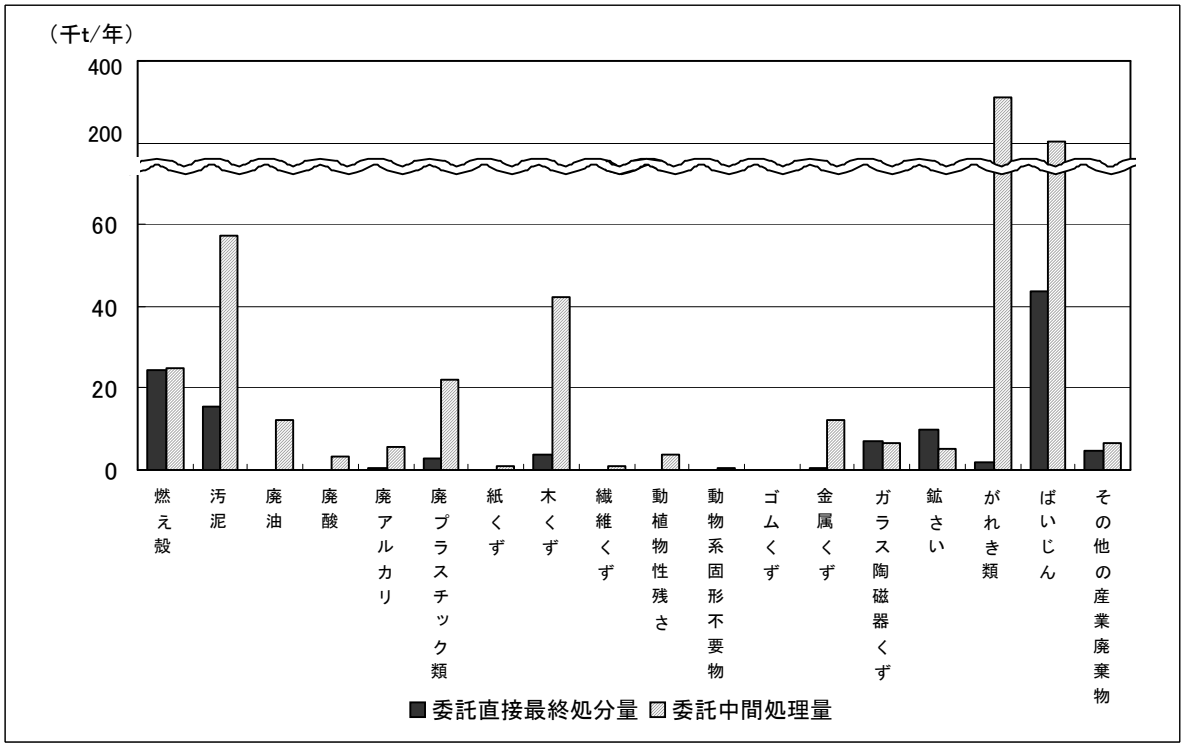


図 2-3-7　種類別の委託処理量

表 2-3-4　種類別の委託処理量

種類:変換（千t/年）	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物	計
委託処理量計	49 (5.9%)	73 (8.8%)	12 (1.5%)	3 (0.4%)	6 (0.8%)	25 (3.1%)	1 (0.1%)	46 (5.6%)	1 (0.1%)	4 (0.4%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)	13 (1.5%)	13 (1.6%)	15 (1.8%)	307 (37.3%)	244 (29.6%)	11 (1.4%)	825 (100.0%)
委託直接最終処分量	24 (21.1%)	16 (13.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.4%)	3 (2.5%)	0 (0.1%)	4 (3.2%)	0 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.4%)	7 (6.2%)	10 (8.6%)	2 (1.7%)	44 (38.0%)	5 (4.3%)	115 (100.0%)
委託中間処理量	25 (3.5%)	57 (8.0%)	12 (1.7%)	3 (0.5%)	6 (0.8%)	22 (3.1%)	1 (0.1%)	42 (5.9%)	1 (0.1%)	4 (0.5%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)	12 (1.7%)	6 (0.9%)	5 (0.7%)	305 (43.0%)	201 (28.3%)	6 (0.9%)	710 (100.0%)

5　最終処分状況

最終処分量は 271 千ﾄﾝとなっており、排出量の 15.6%を占めている。

種類別にみると、鉱さいが 125 千ﾄﾝ（46.2%）で最も多く、以下、ばいじんが 58 千ﾄﾝ(21.4%)、燃え殻が 32 千ﾄﾝ(11.7%)、汚泥が 22 千ﾄﾝ（7.9%）となっている。

最終処分量 271 千ﾄﾝの処理を主体別にみると、排出事業者自らの自己最終処分量が 132 千ﾄﾝ(最終処分量の 48.7%)、処理業者及び県市町村等の自治体による最終処分量が 139 千ﾄﾝ（同 51.3%）となっている。

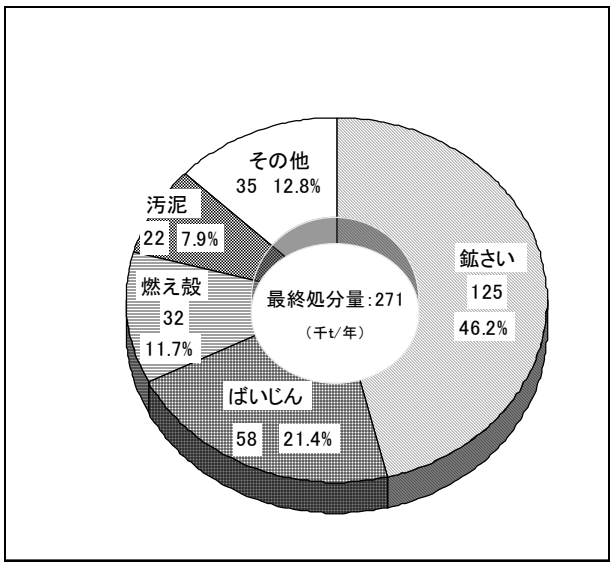


図 2-3-8　種類別最終処分量の構成比

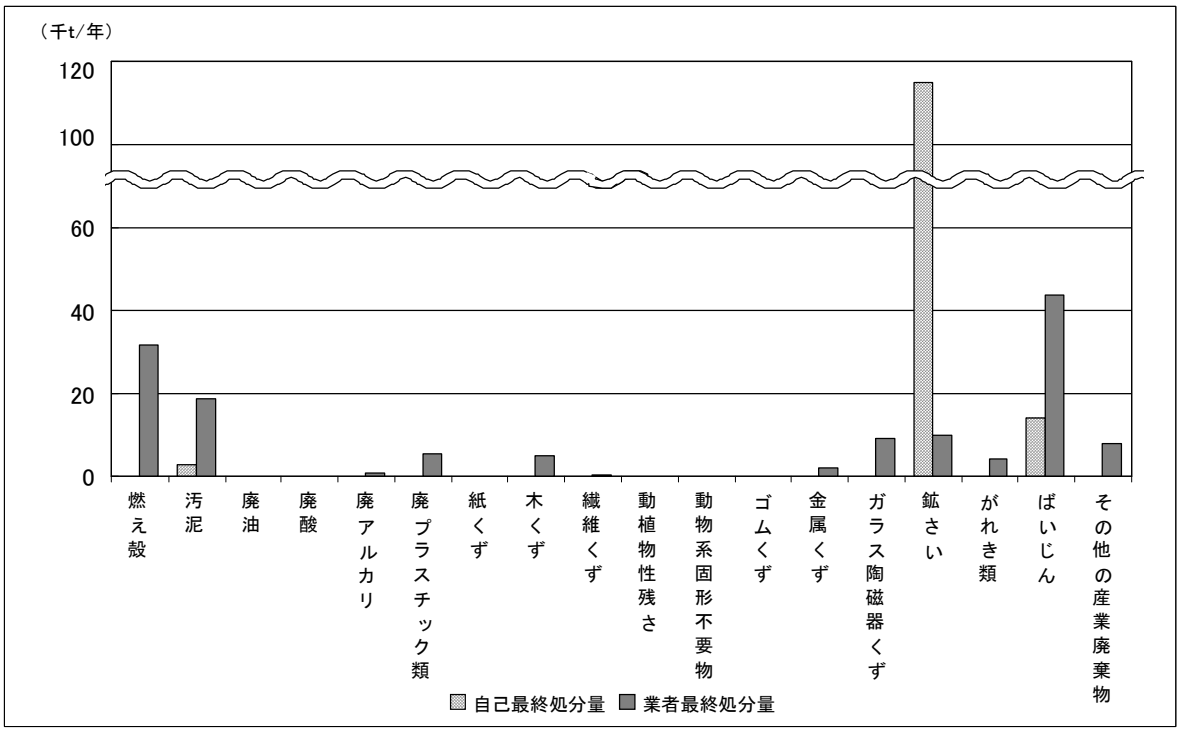


図 2-3-9　種類別の最終処分量

表 2-3-5　種類別の最終処分量

種類:変換（千t/年）	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物	計
最終処分量計	32 (11.7%)	22 (7.9%)	0 (0.0%)	0 (0.1%)	1 (0.2%)	5 (2.0%)	0 (0.0%)	5 (1.8%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)	(0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.8%)	9 (3.3%)	125 (46.2%)	4 (1.6%)	58 (21.4%)	8 (2.9%)	271 (100.0%)
自己最終処分量	0 (0.0%)	3 (2.1%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	115 (87.2%)	(0.0%)	14 (10.7%)	(0.0%)	132 (100.0%)
業者最終処分量	32 (22.8%)	19 (13.6%)	0 (0.1%)	0 (0.1%)	1 (0.5%)	5 (3.9%)	0 (0.1%)	5 (3.5%)	0 (0.2%)	0 (0.0%)	(0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.6%)	9 (6.5%)	10 (7.2%)	4 (3.1%)	44 (31.5%)	8 (5.6%)	139 (100.0%)

＊:業者最終処分量に県営処分場及び自治体処分場処分量を含む

６　再生利用状況

再生利用量は 686 千ﾄﾝとなっており、排出量の 39.3%を占めている。

種類別にみると、がれき類が 334 千ﾄﾝ（48.8%）で最も多く、以下、ばいじんが 201 千ﾄﾝ（29.2%）、木くずが 56 千ﾄﾝ（4.7%）、燃え殻が 25 千ﾄﾝ（3.7%）となっている。

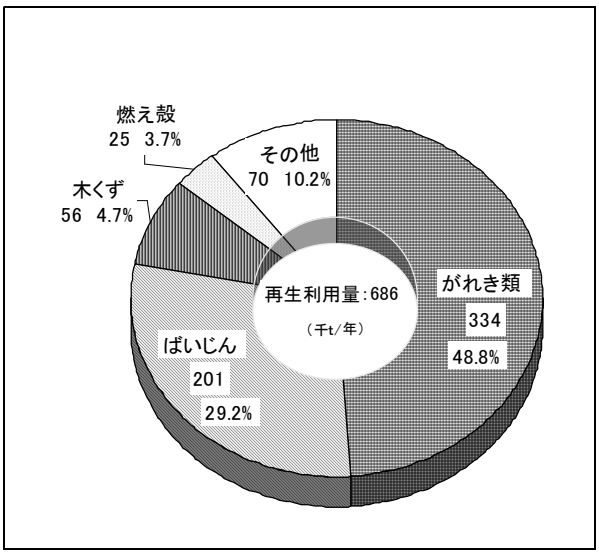


図 2-3-10　種類別の再生利用量の構成比

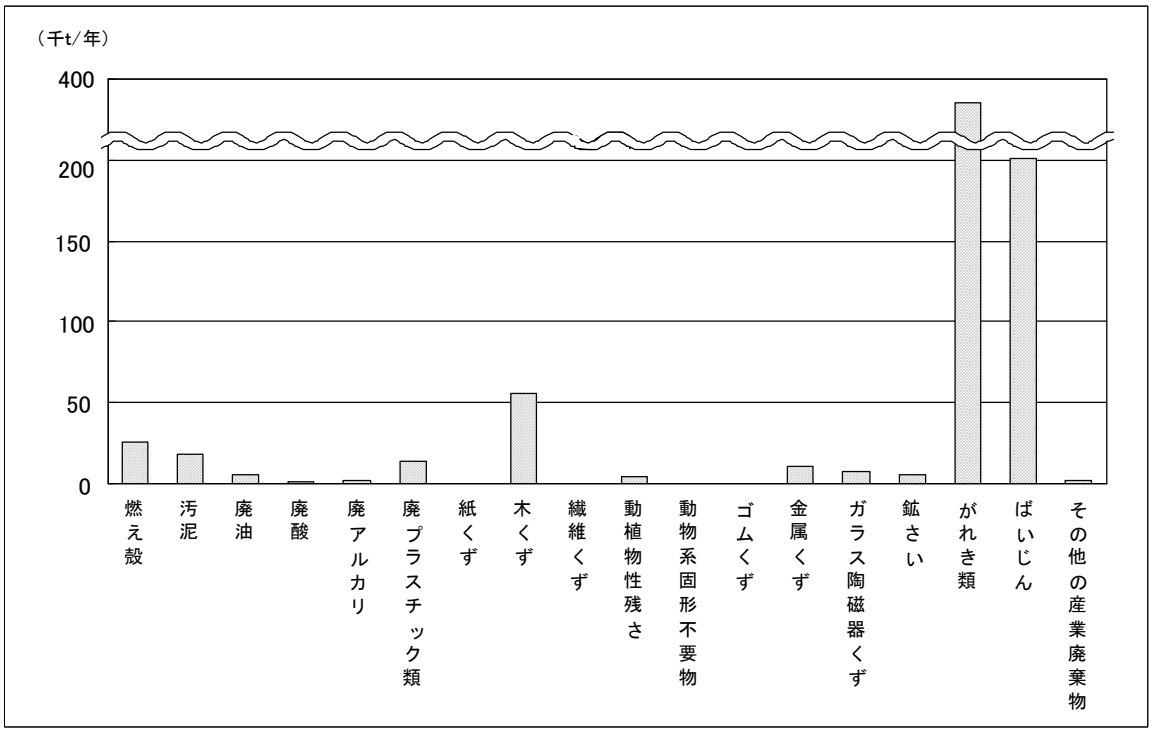


図 2-3-11　種類別の再生利用量

表 2-3-6　種類別の再生利用量

種類:変換（千t/年）	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物	計
排出量	37 (2.1%)	752 (43.2%)	13 (0.8%)	4 (0.2%)	6 (0.4%)	25 (1.4%)	1 (0.0%)	125 (7.2%)	1 (0.1%)	4 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (0.8%)	17 (1.0%)	131 (7.5%)	342 (19.6%)	259 (14.8%)	11 (0.7%)	1,742 (100.0%)
再生利用量	25 (3.7%)	18 (2.6%)	5 (0.7%)	1 (0.1%)	2 (0.3%)	14 (2.0%)	0 (0.0%)	56 (8.1%)	0 (0.0%)	4 (0.6%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)	11 (1.6%)	7 (1.0%)	5 (0.8%)	334 (48.8%)	201 (29.2%)	3 (0.4%)	686 (100.0%)

7　発生量及び処理状況の流れ図

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 2-3-12 に示すとおりである。

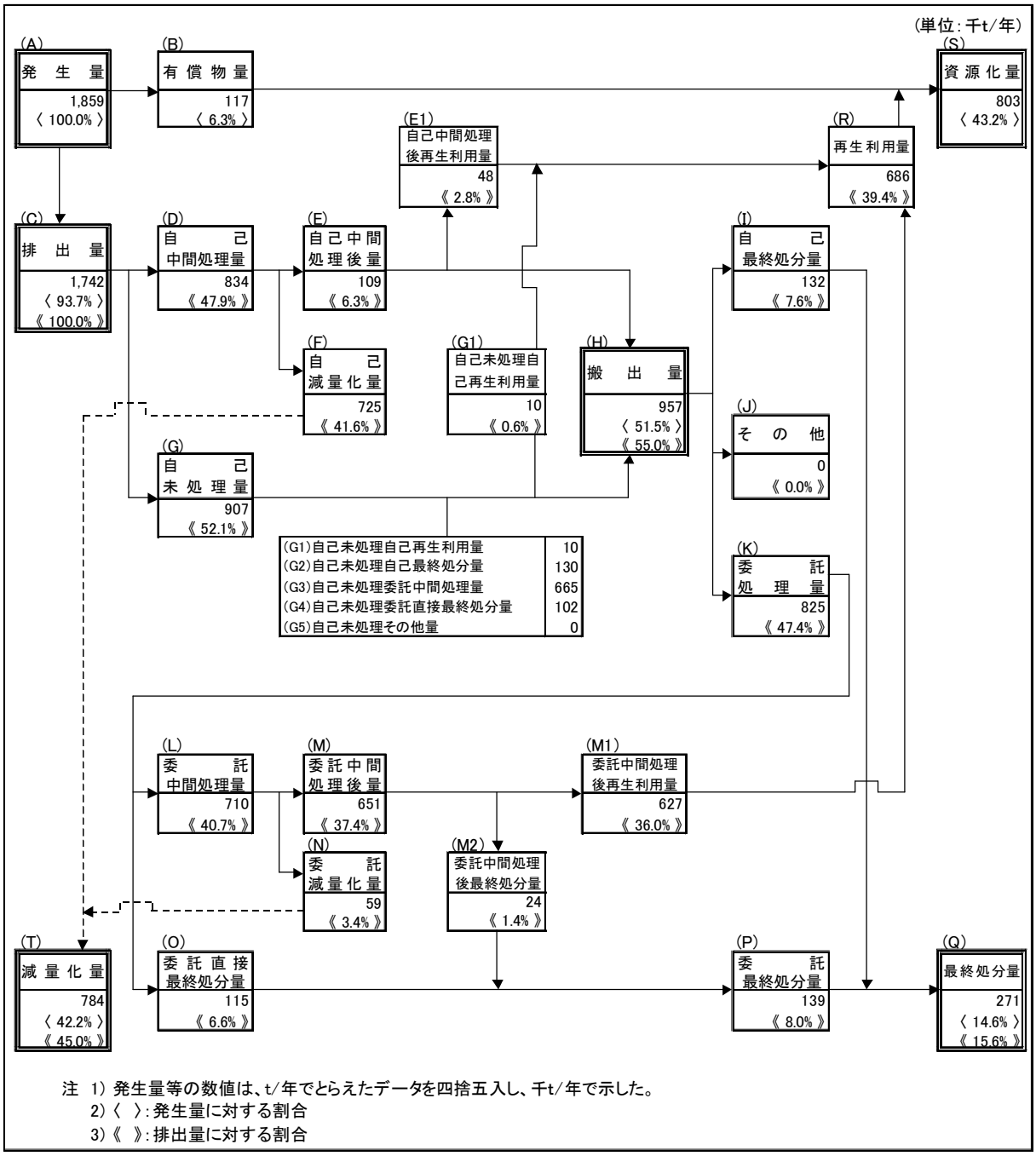


図 2-3-12　発生及び処理状況の流れ図

第３章　業種別の調査結果

第１節　建設業

建設業からの排出量は 407 千㌧で、県全体の排出量の 23.4%を占めている。

１　発生する廃棄物の概要

発生量は 410 千㌧で、有償物量は 4 千㌧、有償物量を除いた排出量は 407 千㌧、搬出量は 371 千㌧となっている。

表 3-1-1　発生・排出状況

（単位：千t/年）

発生量	有償物量	排出量	搬出量
410 (100.0%)	4 (0.9%)	407 (99.1%)	371 (90.3%)

２　種類別の排出状況

排出量を種類別にみると、がれき類の 332 千㌧（建設業の排出量の 81.7%）と木くずの 40 千㌧（同 9.9%）、汚泥の 13 千㌧（同 3.1%）で 94.7%を占めている。

表 3-1-2　種類別の発生、排出、搬出量

（単位：千t/年）

種類：変換	発　生　量	排　出　量	搬　出　量
合　計	410 (100.0%)	407 (100.0%)	371 (100.0%)
が　れ　き　類	335 (81.5%)	332 (81.7%)	298 (80.5%)
木　く　ず	40 (9.8%)	40 (9.9%)	39 (10.5%)
汚　泥	13 (3.1%)	13 (3.1%)	12 (3.2%)
ガラス陶磁器くず	8 (1.9%)	8 (2.0%)	8 (2.1%)
金　属　く　ず	5 (1.3%)	4 (0.9%)	4 (1.0%)
廃プラスチック類	3 (0.7%)	3 (0.7%)	3 (0.7%)
そ　の　他	7 (1.7%)	7 (1.7%)	7 (1.9%)

３　処理状況

排出された 407 千㌧の処理・処分状況をみると、7 千㌧（1.6%）が減量化され、再生利用量は 372 千㌧（91.4%）、最終処分量は 28 千㌧（7.0%）となっている。

表 3-1-3　種類別の処理・処分量

（単位：千t/年）

種類：変換	排出量	再生利用量	最終処分量	その他
合計	407 (100.0%)	372 (100.0%)	28 (100.0%)	0 (100.0%)
がれき類	332 (81.7%)	325 (87.5%)	4 (14.8%)	0 (100.0%)
木くず	40 (9.9%)	33 (8.8%)	5 (16.5%)	
汚泥	13 (3.1%)	8 (2.1%)	3 (9.0%)	
ガラス陶磁器くず	8 (2.0%)	1 (0.2%)	7 (25.9%)	
金属くず	4 (0.9%)	3 (0.7%)	1 (3.7%)	
廃プラスチック類	3 (0.7%)	1 (0.2%)	2 (6.5%)	
紙くず	0 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.4%)	
鉱さい	0 (0.0%)		0 (0.3%)	
その他	7 (1.6%)	2 (0.4%)	6 (22.8%)	

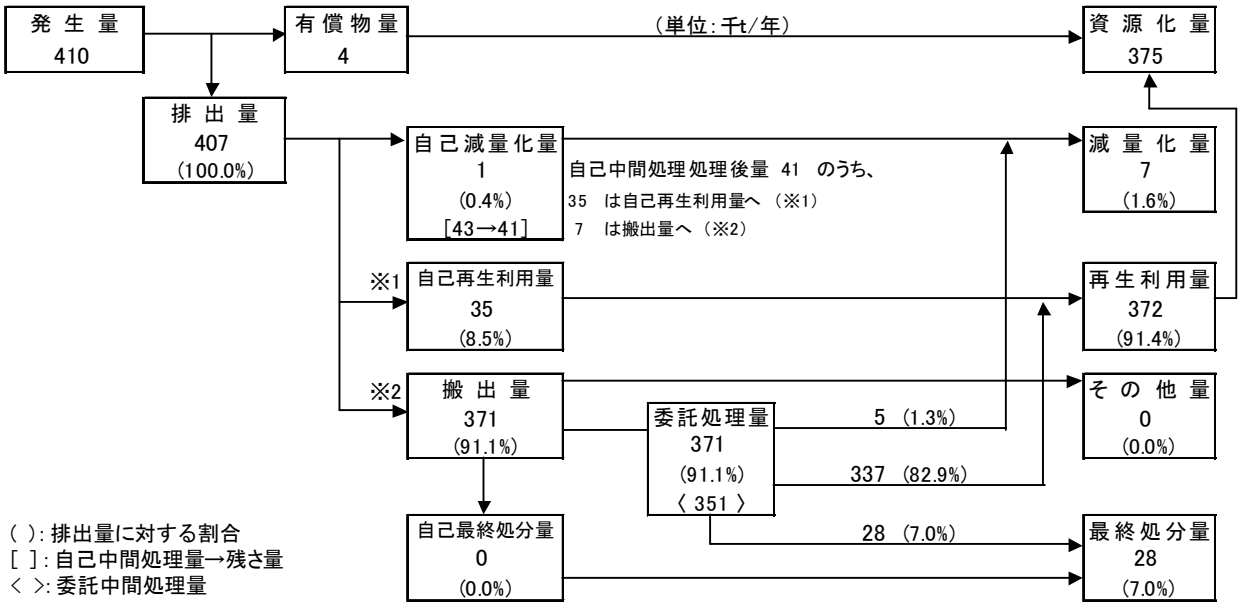


図 3-1-1　建設業の処理・処分状況

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合をみると図 3-1-2 のとおりである。

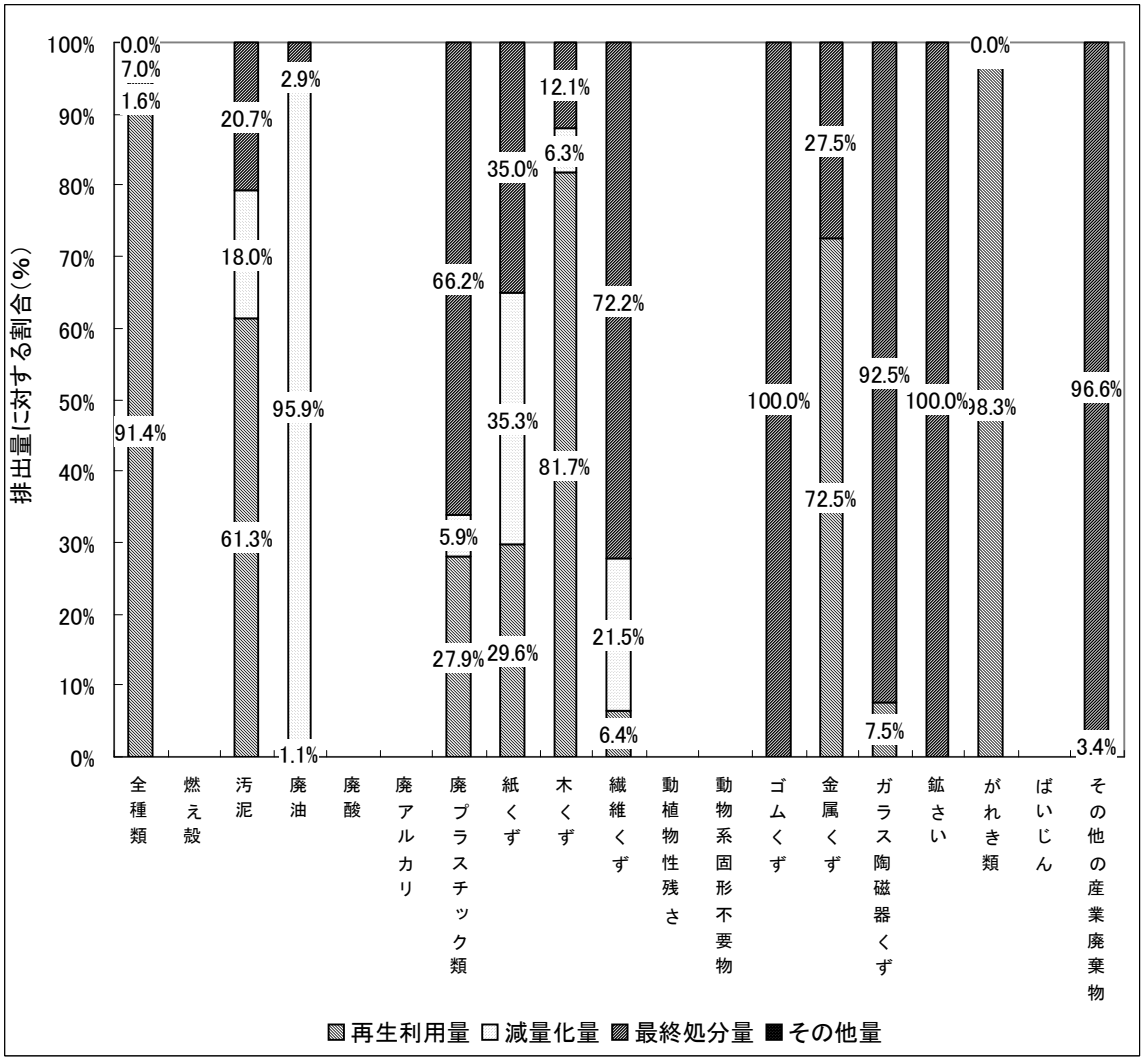


図 3-1-2　建設業の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の割合

4　建設業の発生及び処理状況の流れ図

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-1-3 に示すとおりである。

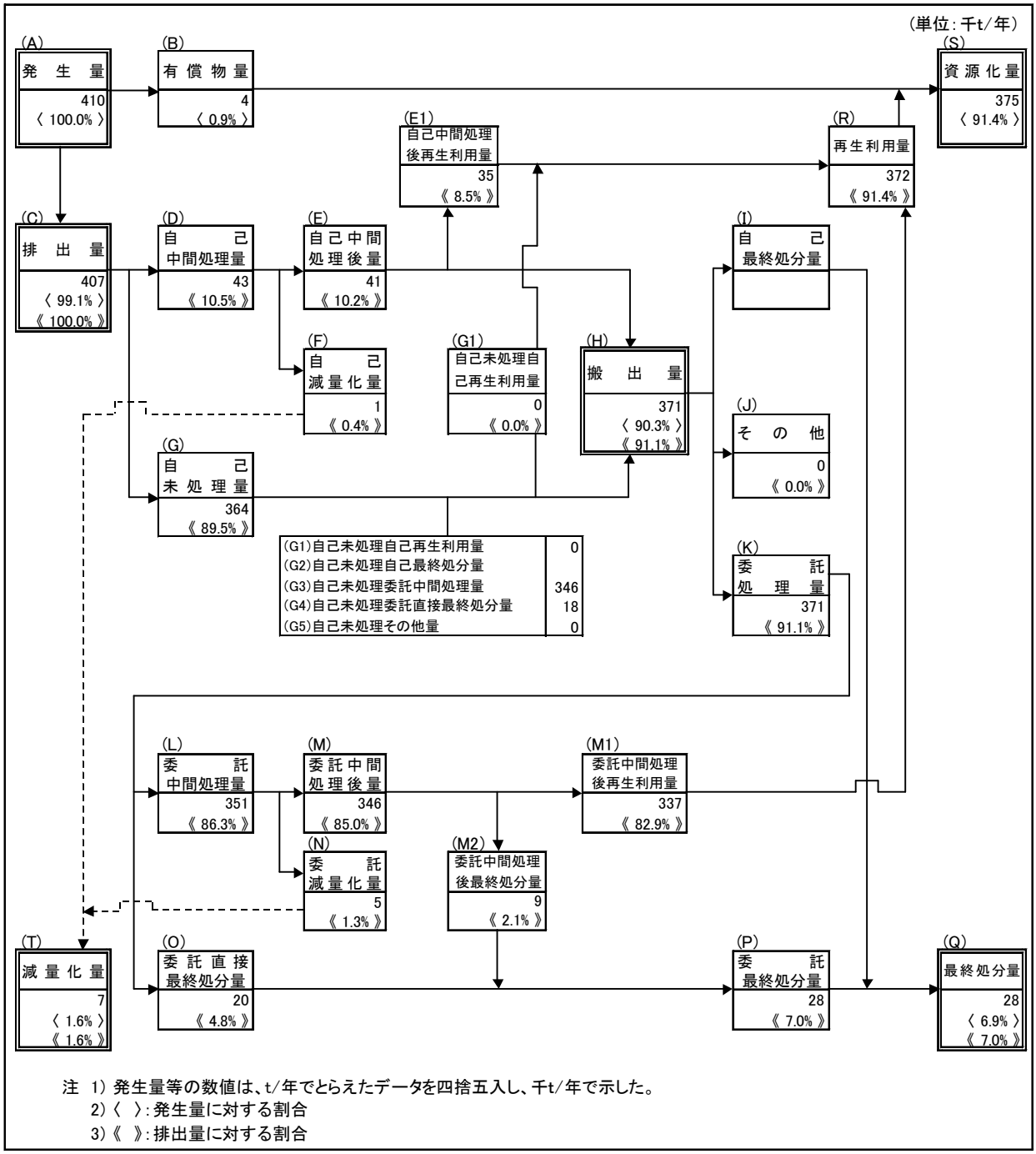


図 3-1-3　建設業の発生及び処理状況の流れ図

第２節　製造業

製造業からの排出量は 615 千㌧で、県全体の排出量の 35.3%を占めている。

１　発生する廃棄物の概要

発生量は 629 千㌧で、有償物量は 14 千㌧、有償物量を除いた排出量は 615 千㌧、搬出量は 249 千㌧となっている。

表 3-2-1　発生・排出状況

（単位:千t/年）

発生量	有償物量	排出量	搬出量
629 (100.0%)	14 (2.3%)	615 (97.7%)	249 (39.6%)

２　種類別の排出状況

排出量を種類別にみると、汚泥の 315 千㌧（製造業の排出量の 51.3%）と鉱さいの 131 千㌧（同 21.2%）、木くずの 85 千㌧（同 13.8%）で 86.4%を占めている。

表 3-2-2　種類別の発生、排出、搬出量

（単位:千t/年）

種類:変換	発　生　量	排　出　量	搬　出　量
合　計	629 (100.0%)	615 (100.0%)	249 (100.0%)
汚　泥	315 (50.2%)	315 (51.3%)	23 (9.2%)
鉱　さ　い	131 (20.8%)	131 (21.2%)	131 (52.4%)
木　く　ず	85 (13.5%)	85 (13.8%)	7 (2.7%)
金　属　く　ず	19 (3.0%)	6 (1.0%)	6 (2.4%)
ば　い　じ　ん	17 (2.7%)	17 (2.8%)	17 (6.9%)
廃プラスチック類	15 (2.4%)	15 (2.4%)	15 (5.9%)
そ　の　他	47 (7.4%)	45 (7.4%)	51 (20.6%)

３　業種中分類別の排出状況

排出量を業種中分類別にみると、パルプ・紙の 273 千㌧（製造業の排出量の 44.4%）と非鉄金属の 126 千㌧（同 20.5%）、木材・木製品の 85 千㌧（同 13.7%）、電子部品の 28 千㌧（同 4.5%）で 83.2%を占めている。

表 3-2-3　業種中分類別の発生、排出、搬出量

（単位：千t/年）

	発生量	排出量	搬出量
合計	629 (100.0%)	615 (100.0%)	249 (100.0%)
パルプ・紙	276 (43.9%)	273 (44.4%)	33 (13.1%)
非鉄金属	126 (20.1%)	126 (20.5%)	126 (50.4%)
木材・木製品	85 (13.5%)	85 (13.7%)	9 (3.6%)
電子部品	30 (4.8%)	28 (4.5%)	19 (7.5%)
窯業・土石	21 (3.4%)	21 (3.5%)	11 (4.5%)
食料品	16 (2.5%)	16 (2.6%)	4 (1.8%)
輸送機械	12 (1.9%)	6 (1.0%)	5 (2.0%)
情報通信機械	11 (1.8%)	11 (1.8%)	5 (2.2%)
一般機械	11 (1.8%)	10 (1.7%)	9 (3.6%)
鉄鋼	9 (1.5%)	9 (1.5%)	9 (3.5%)
化学	8 (1.3%)	8 (1.4%)	4 (1.8%)
その他	23 (3.7%)	21 (3.5%)	15 (5.9%)

4　処理状況

排出された 615 千ﾄﾝの処理・処分状況をみると、366 千ﾄﾝ（59.5%）が減量化され、再生利用量は 97 千ﾄﾝ（15.9%）、最終処分量は 151 千ﾄﾝ（24.6%）となっている。

表 3-2-4　種類別の処理・処分量

（単位：千t/年）

種類：変換	排出量	再生利用量	最終処分量	その他
合計	615 (100.0%)	97 (100.0%)	151 (100.0%)	
汚泥	315 (51.3%)	4 (4.0%)	14 (9.3%)	
鉱さい	131 (21.2%)	5 (5.4%)	125 (82.8%)	
木くず	85 (13.8%)	23 (23.5%)	0 (0.0%)	
ばいじん	17 (2.8%)	17 (17.3%)	0 (0.3%)	
廃プラスチック類	15 (2.4%)	8 (7.8%)	2 (1.2%)	
廃油	9 (1.5%)	3 (3.1%)	0 (0.1%)	
その他	42 (6.9%)	38 (38.9%)	10 (6.3%)	

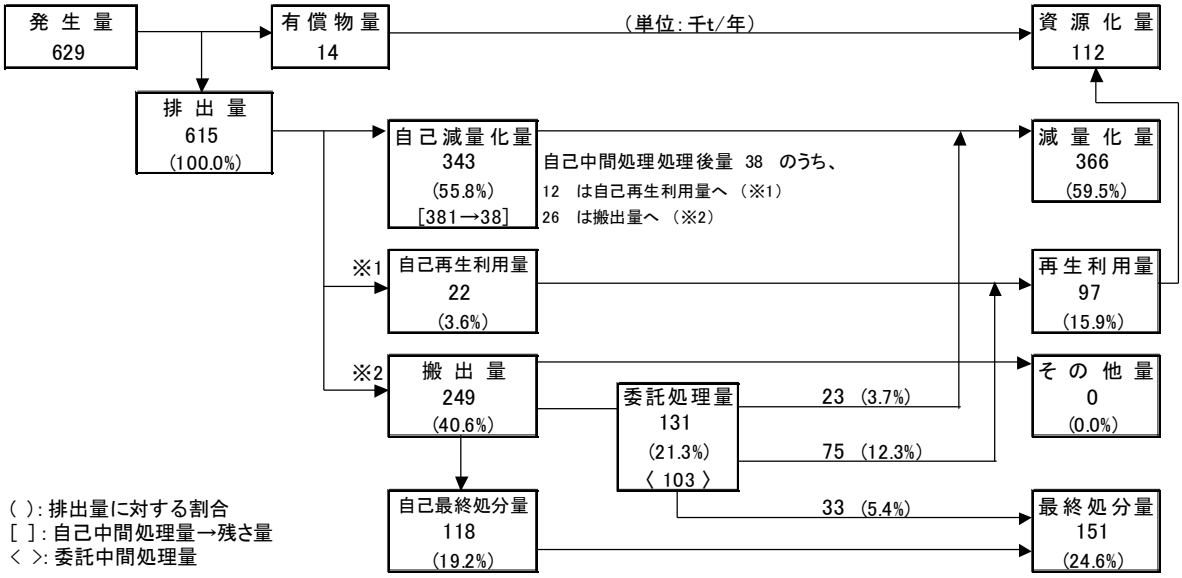


図 3-2-1　製造業の処理・処分状況

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合をみると図 3-2-2 のとおりである。

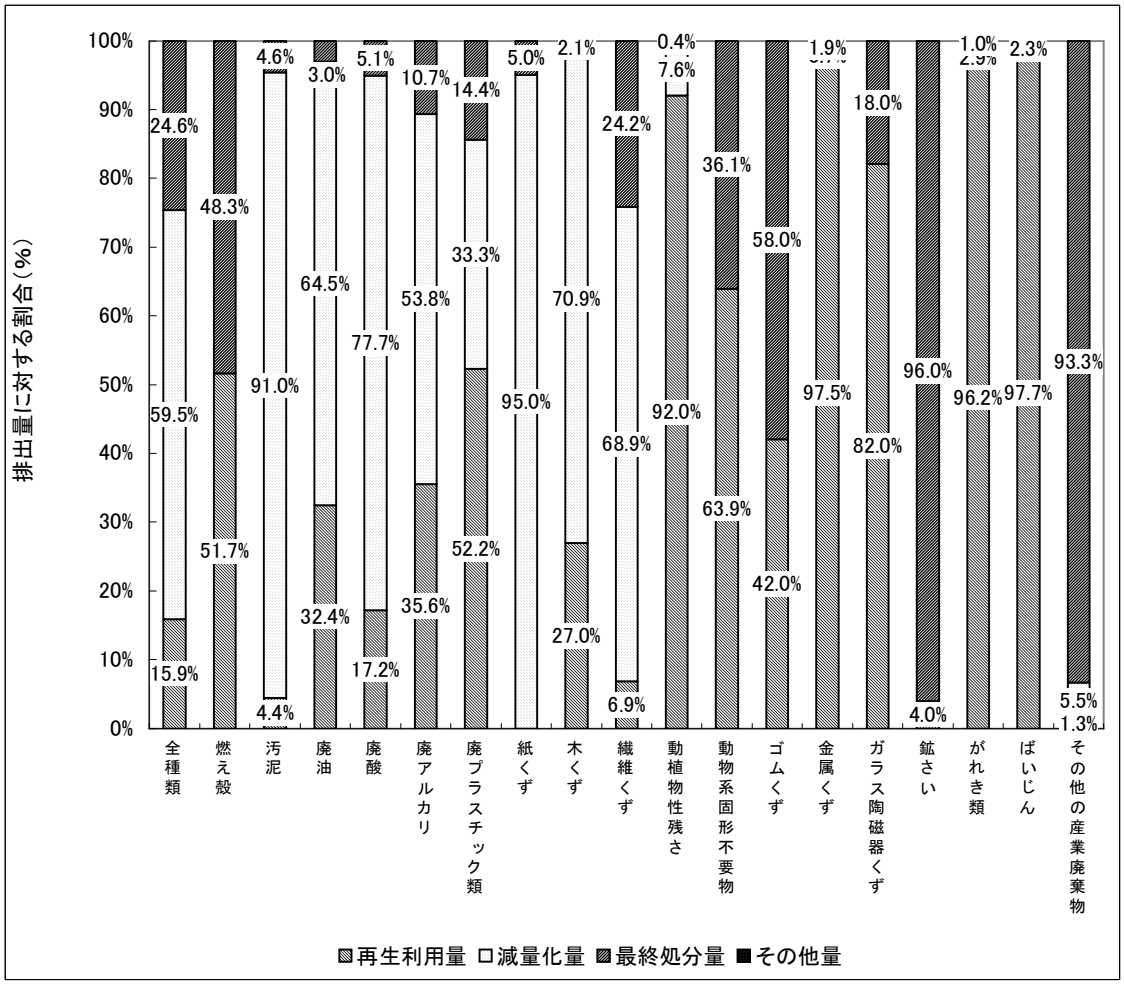


図 3-2-2　製造業の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の割合

5　製造業の発生及び処理状況の流れ図

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-2-3 に示すとおりである。

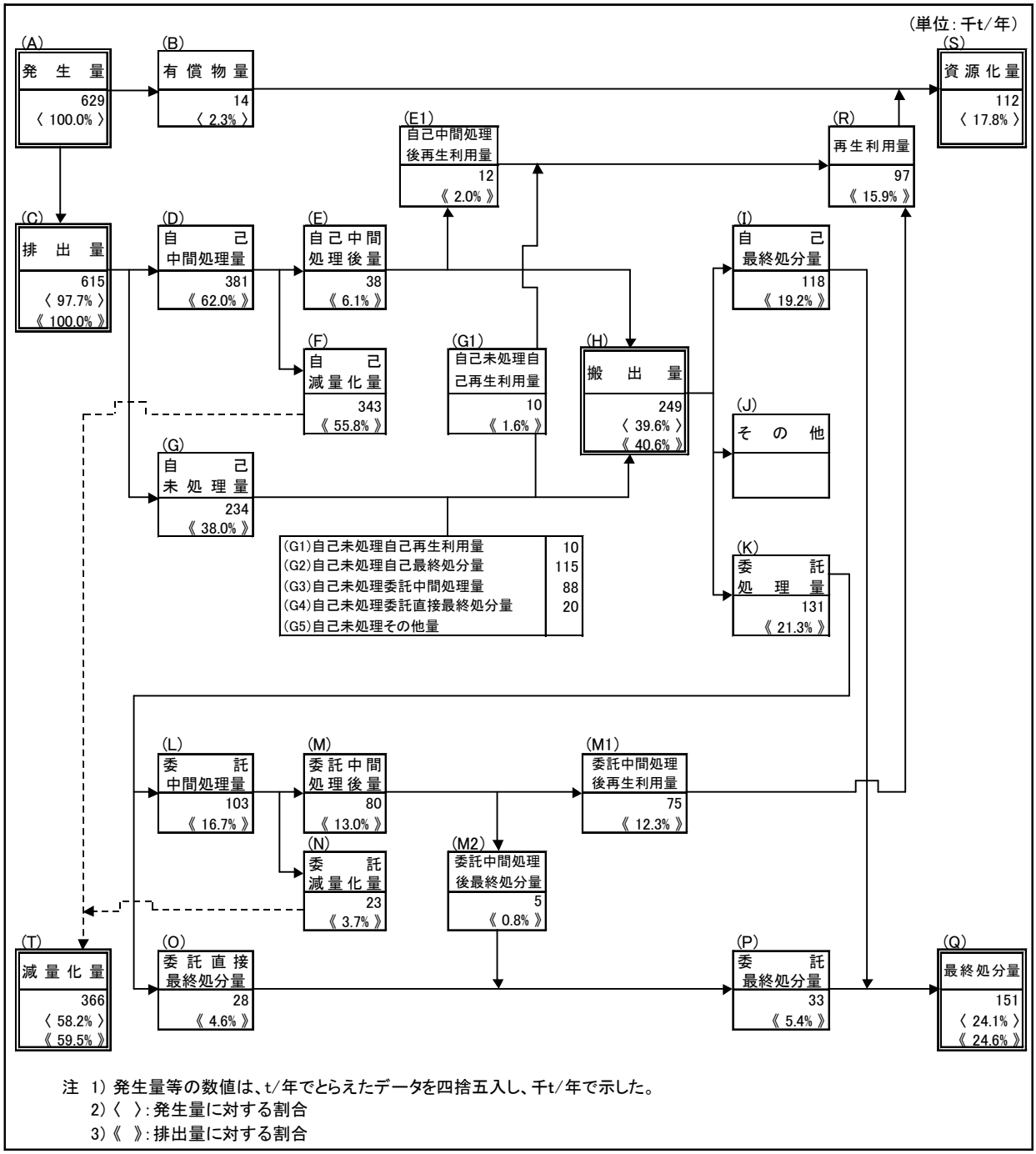


図 3-2-3　製造業の発生及び処理状況の流れ図

第３節　電気・水道業

電気・水道業からの排出量は 692 千ﾄﾝで、県全体の排出量の 39.8%を占めている。

１　発生する廃棄物の概要

発生量は 785 千ﾄﾝで、有償物量は 93 千ﾄﾝ、有償物量を除いた排出量は 692 千ﾄﾝ、搬出量は 314 千ﾄﾝとなっている。

表 3-3-1　発生・排出状況

（単位:千t/年）

発生量	有償物量	排出量	搬出量
785 (100.0%)	93 (11.8%)	692 (88.2%)	314 (40.0%)

２　種類別の排出状況

排出量を種類別にみると、汚泥の 415 千ﾄﾝ（電気・水道業の排出量の 59.9%）とばいじんの 241 千ﾄﾝ（同 34.8%）、燃え殻の 31 千ﾄﾝ（同 4.5%）でほぼ全量を占めている。

表 3-3-2　種類別の発生、排出、搬出量

（単位:千t/年）

種類:変換	発　生　量	排　出　量	搬　出　量
合　　計	785 (100.0%)	692 (100.0%)	314 (100.0%)
汚　　泥	488 (62.1%)	415 (59.9%)	36 (11.4%)
ば　い　じ　ん	261 (33.3%)	241 (34.8%)	241 (76.9%)
燃　え　殻	31 (3.9%)	31 (4.5%)	32 (10.1%)
そ　の　他	5 (0.7%)	5 (0.7%)	5 (1.6%)

３　処理状況

排出された 692 千ﾄﾝの処理・処分状況をみると、399 千ﾄﾝ（57.7%）が減量化され、再生利用量は 207 千ﾄﾝ（29.9%）、最終処分量は 86 千ﾄﾝ（12.4%）となっている。

表 3-3-3　種類別の処理・処分量

（単位:千t/年）

種類:変換	排　出　量	再生利用量	最終処分量	そ　の　他
合　　計	692 (100.0%)	207 (100.0%)	86 (100.0%)	0 (100.0%)
汚　　泥	415 (59.9%)	6 (3.1%)	3 (3.4%)	0 (100.0%)
ば　い　じ　ん	241 (34.8%)	184 (88.7%)	58 (67.1%)	
燃　え　殻	31 (4.5%)	12 (5.8%)	25 (29.5%)	
そ　の　他	5 (0.7%)	5 (2.4%)	0 (0.0%)	

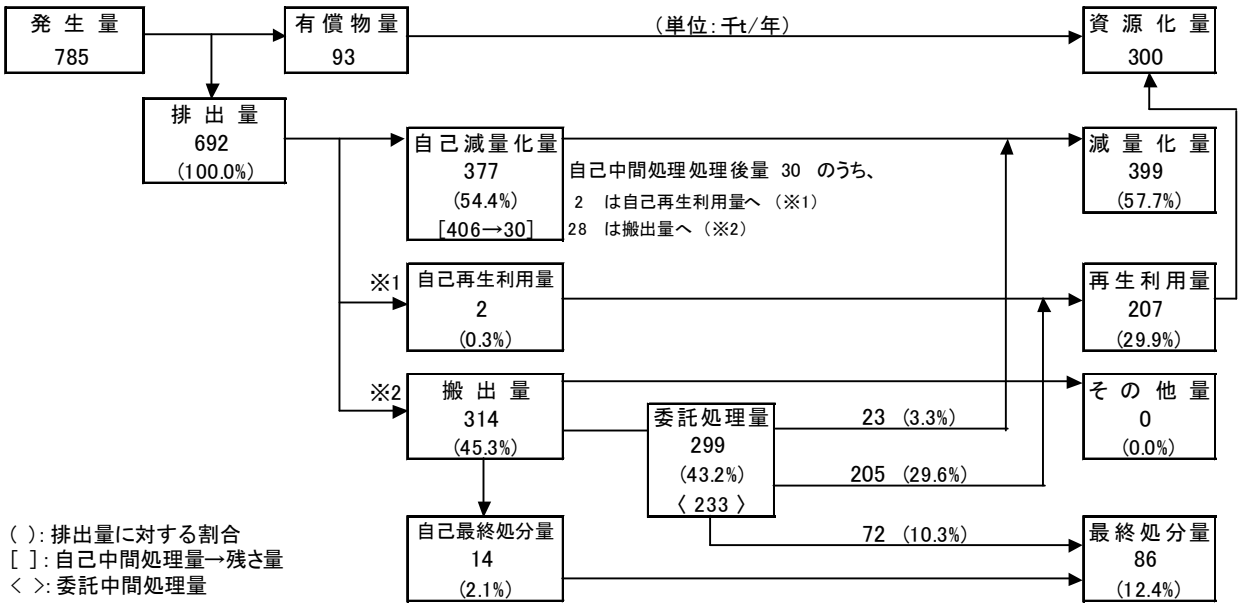


図 3-3-1　電気・水道業の処理・処分状況

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合をみると図 3-3-2 のとおりである。

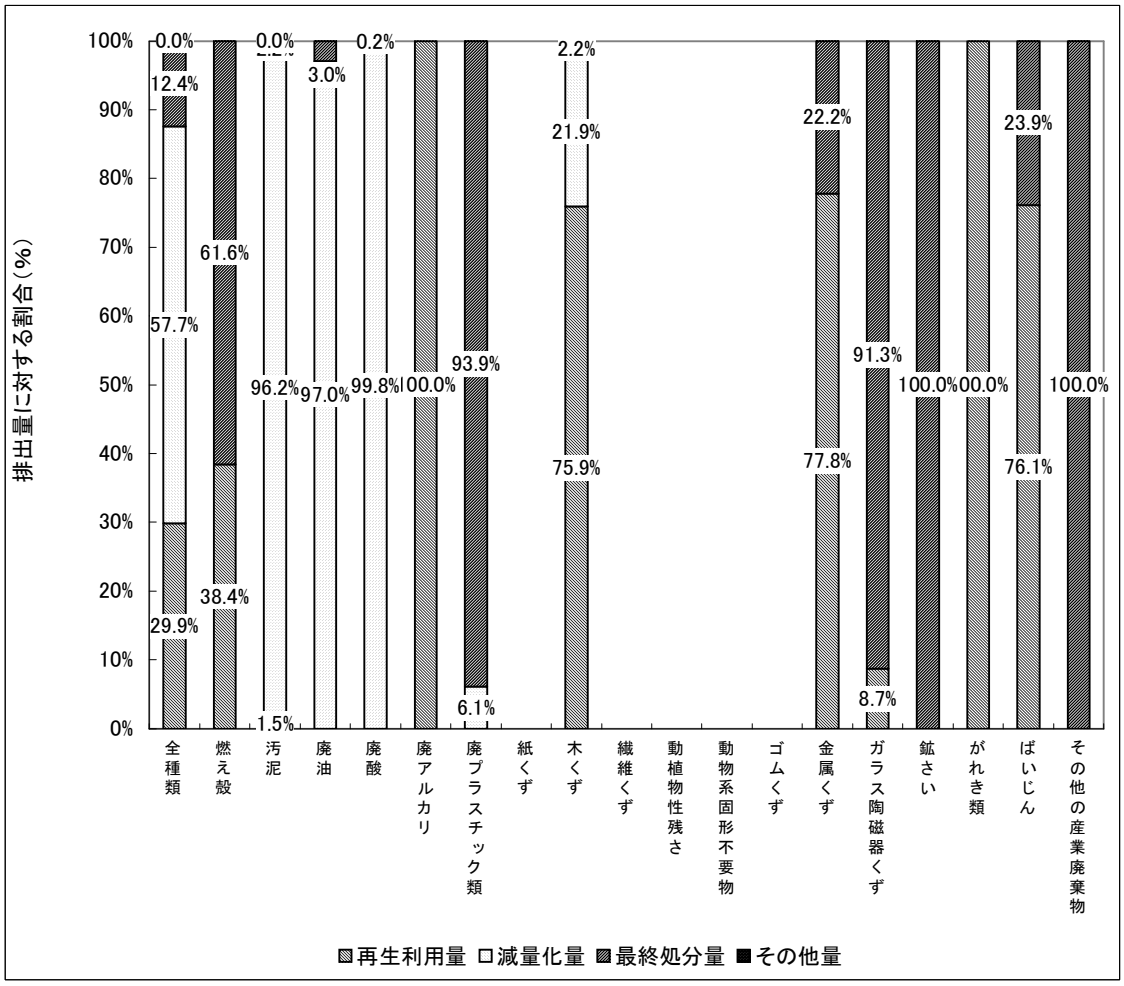
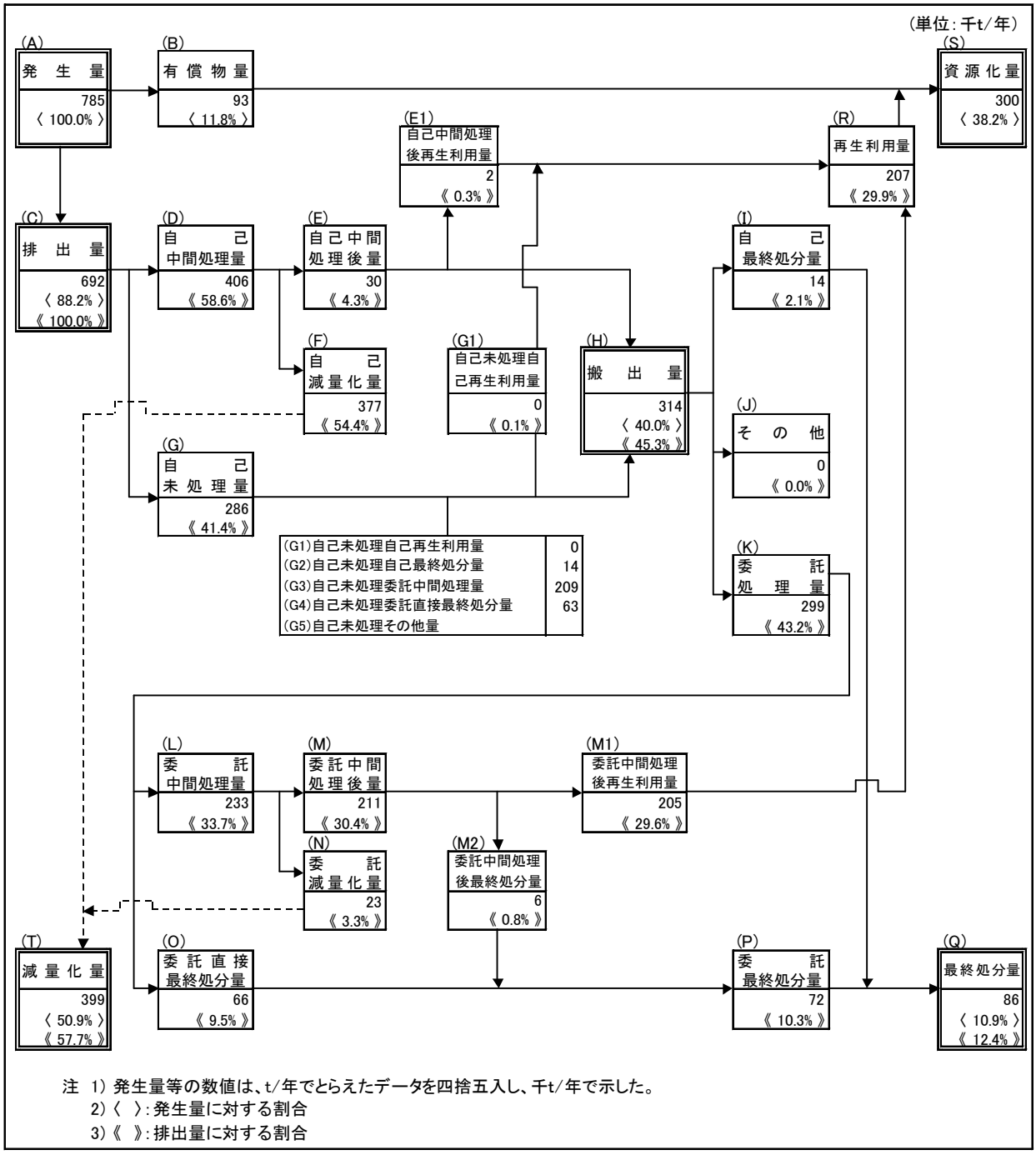


図 3-3-2　電気・水道業の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の割合

4　電気・水道業の発生及び処理状況の流れ図

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-3-3 に示すとおりである。



注 1) 発生量等の数値は、t/年でとらえたデータを四捨五入し、千t/年で示した。
2) 〈　〉: 発生量に対する割合
3) 《　》: 排出量に対する割合

図 3-3-3　電気・水道業の発生及び処理状況の流れ図

第４節　その他の業種

（平成 22 年度　秋田県産業廃棄物実態調査報告書より再掲）

その他の業種からの排出量は 28 千㌧で、県全体の排出量の 1.6%を占めている。

なお、その他の業種には、情報通信業、運輸業、卸・小売業、医療・福祉、高等教育機関、獣医業、写真業、洗濯業、写真現像・焼付業、自動車整備業、物品賃貸業、と畜場が含まれている。

１　発生する廃棄物の概要

発生量は 34 千㌧で、有償物量は 6 千㌧、有償物量を除いた排出量は 28 千㌧、搬出量は 24 千㌧となっている。

表 3-4-1　発生・排出状況

（単位:千t/年）

発生量	有償物量	排出量	搬出量
34 (100.0%)	6 (18.5%)	28 (81.5%)	24 (69.8%)

２　種類別の排出状況

排出量を種類別にみると、汚泥の 9 千㌧（その他の産業の排出量の 31.0%）と廃プラスチック類の 7.7 千㌧（同 28.0%）、廃油の 3.5 千㌧（同 12.9%）で 71.9%を占めている。

表 3-4-2　種類別の発生、排出、搬出量

（単位:千t/年）

種類:変換	発　生　量	排　出　量	搬　出　量
合　　計	34 (100.0%)	28 (100.0%)	24 (100.0%)
廃　　油	9 (27.1%)	4 (12.9%)	3 (14.2%)
汚　　泥	9 (25.4%)	9 (31.0%)	5 (21.2%)
廃プラスチック類	8 (23.2%)	8 (28.0%)	8 (32.7%)
そ　の　他	8 (24.3%)	8 (28.1%)	8 (31.9%)

3　処理状況

排出された 28 千ﾄﾝの処理・処分状況をみると、12 千ﾄﾝ（43.3%）が減量化され、再生利用量は 10 千ﾄﾝ（35.5%）、最終処分量は 6 千ﾄﾝ（21.0%）となっている。

表 3-4-3　種類別の処理・処分量

（単位：千t/年）

種類：変換	排出量	再生利用量	最終処分量	その他
合計	28 (100.0%)	10 (100.0%)	6 (100.0%)	0 (100.0%)
廃油	4 (12.9%)	2 (19.6%)		0 (2.4%)
汚泥	9 (31.0%)	0 (1.7%)	2 (34.6%)	0 (40.5%)
廃プラスチック類	8 (28.0%)	5 (52.5%)	2 (27.9%)	0 (38.1%)
その他	8 (28.1%)	3 (26.2%)	2 (37.4%)	0 (19.0%)

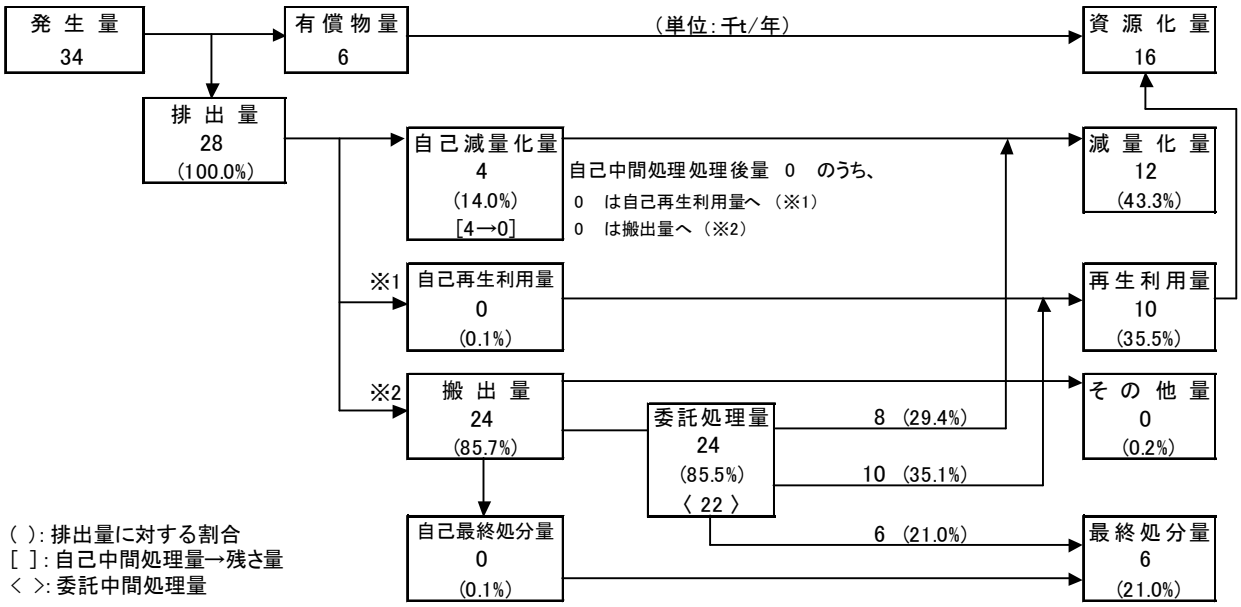


図 3-4-1　その他の業種の処理・処分状況

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合をみると図 3-8-2 のとおりである。

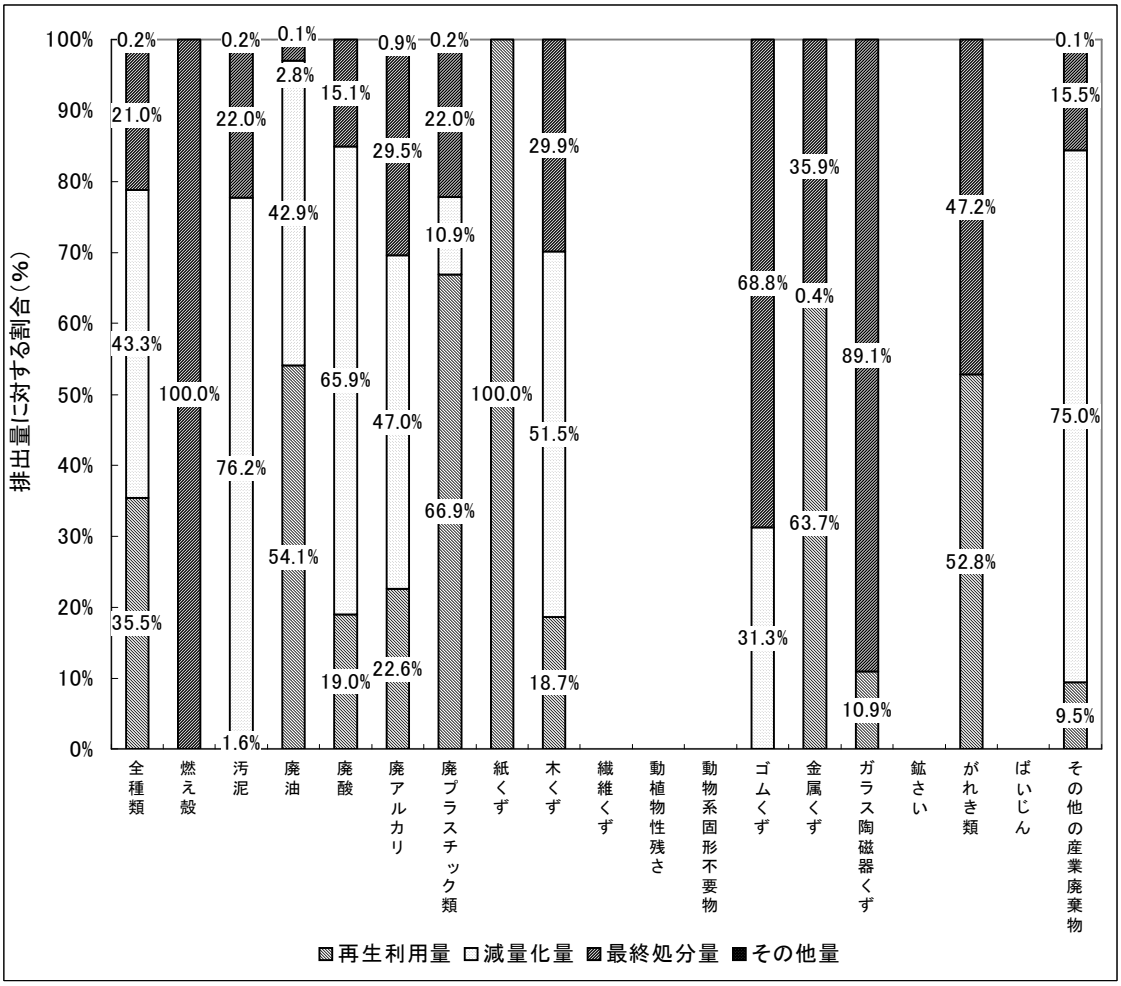


図 3-4-2　その他の業種の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の割合

4　その他の業種の発生及び処理状況の流れ図

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-4-3 に示すとおりである。

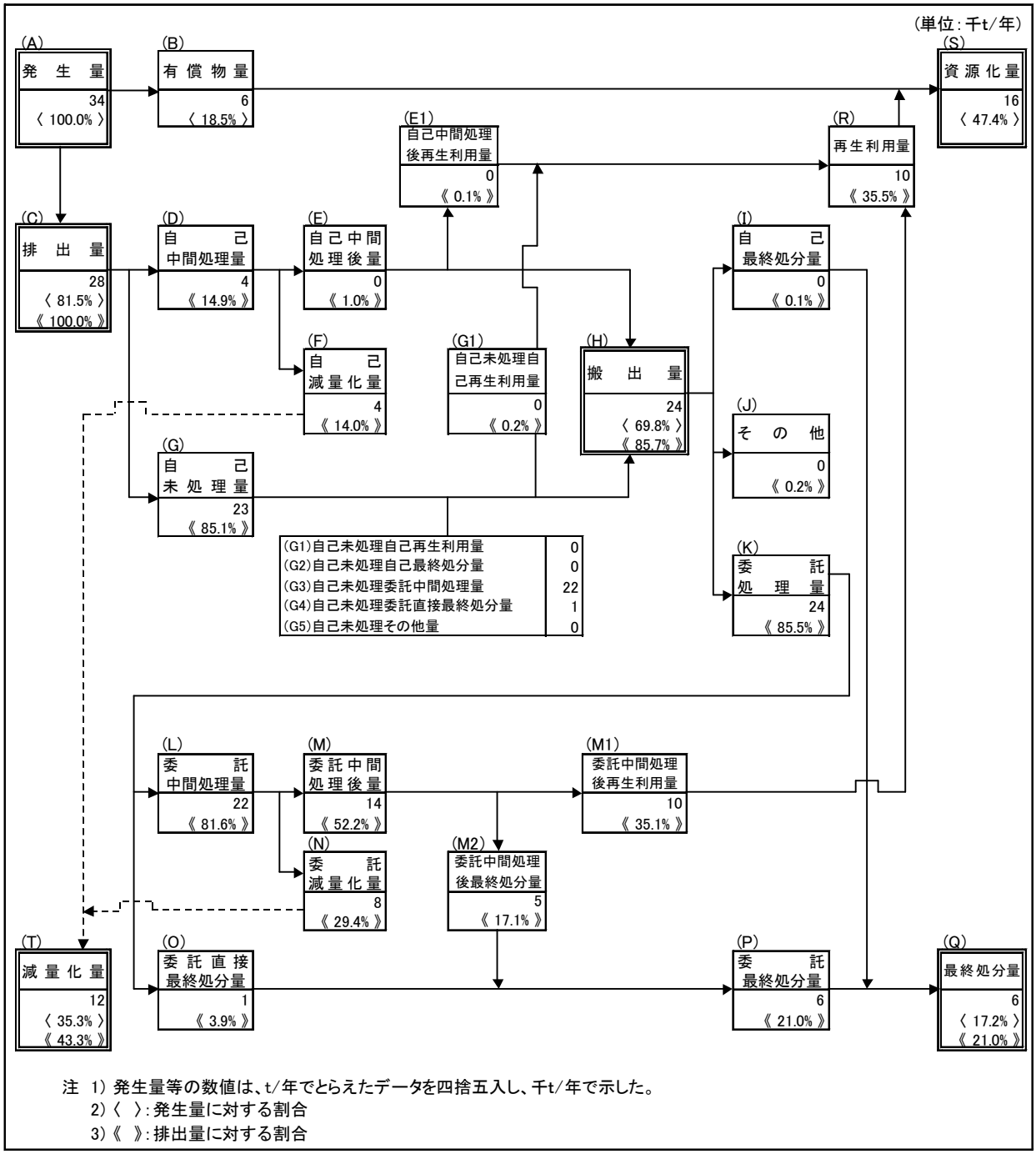


図 3-4-3　その他の業種の発生及び処理状況の流れ図

第４章　農業・鉱業を含めた産業廃棄物

第１節　農業からの産業廃棄物

農業からの産業廃棄物については、郵送によるアンケート調査は行わず、農政関係の資料に基づいて取りまとめた。

対象廃棄物は、畜産農業からの家畜ふん尿と施設園芸農業からの農業用廃プラスチックであり、排出量の現状をとらえた。

家畜ふん尿の排出量は、平成 22 年の畜種別の飼養頭羽数（農林水産省：畜産統計）に畜種別のふん尿排せつ量を乗ずることにより算出した。(976 千ﾄﾝ：表 4-1-1)

また、農業用廃プラスチックについては、県農政部からの提供資料から平成 22 年度における秋田県の年間排出量（921 ﾄﾝ）を用いた。

表 4-1-1　畜種別ふん尿排出量

		飼養頭羽数	1頭(1千羽)当たり ふん (t/年)	1頭(1千羽)当たり 尿 (t/年)	排出量 (千t/年)	排出量小計 (千t/年)	合計 (千t/年)
乳用牛	搾乳牛	3,770　頭	16.6	4.9	81	105	976
	乾乳牛	520　頭	10.8	2.2	7		
	未経産牛	380　頭	10.8	2.2	5		
	2歳未満（未経産牛）	1,390　頭	6.5	2.4	12		
肉用牛	肉用種2歳未満	10,140　頭	6.5	2.4	90	188	
	肉用種2歳以上	8,210　頭	7.3	2.4	80		
	乳用種	1,930　頭	6.6	2.6	18		
養豚	肥育豚	225,100　頭	0.77	1.39	486	488	
	繁殖豚	54,600　頭	1.2	2.56	205		
採卵鶏	雛	422　千羽	21.5		9	114	
	成鶏	2,123　千羽	49.6		105		
肉鶏	ブロイラー	1,688　千羽	47.5		80	80	

表 4-1-2　農業用廃プラスチック排出量

（単位:t/年）

	排出量	再生処理	埋立処理	焼却処理	その他
農業用廃プラスチック	921	722	195	4	0

第２節　鉱業からの産業廃棄物

（平成 22 年度　秋田県産業廃棄物実態調査報告書より再掲）

鉱業からの産業廃棄物は、農業を除く他の業種と同様にアンケート調査により取りまとめた。

１　発生する廃棄物の概要

発生量は 213 千㌧で、有償物量は 43 千㌧、有償物量を除いた排出量は 171 千㌧、搬出量は 6 千㌧となっている。

表 4-2-1　発生・排出状況

（単位：千t/年）

発生量	有償物量	排出量	搬出量
213 (100.0%)	43 (20.0%)	171 (80.0%)	6 (2.6%)

２　種類別の排出状況

排出量を種類別にみると、汚泥の 152 千㌧（鉱業の排出量の 89.0%）と鉱さいの 19 千㌧（同 10.9%）でほぼ全量を占めている。

表 4-2-2　種類別の発生、排出、搬出量

（単位：千t/年）

種類：変換	発　生　量	排　出　量	搬　出　量
合　　計	213 (100.0%)	171 (100.0%)	6 (100.0%)
汚　　泥	152 (71.2%)	152 (89.0%)	5 (96.3%)
鉱　さ　い	61 (28.7%)	19 (10.9%)	0 (0.0%)
そ　の　他	0 (0.1%)	0 (0.1%)	0 (3.7%)

３　処理状況

排出された 171 千㌧の処理・処分状況をみると、90 千㌧（52.9%）が減量化され、再生利用量は 75 千㌧（44.1%）、最終処分量は 500 ㌧未満（0.1%）となっている。

表 4-2-3　種類別の処理・処分量

（単位：千t/年）

種類：変換	排　出　量	再生利用量	最終処分量	そ　の　他
合　　計	171 (100.0%)	75 (100.0%)	0 (100.0%)	5 (100.0%)
汚　　泥	152 (89.0%)	57 (75.3%)	0 (73.4%)	5 (100.0%)
鉱　さ　い	19 (10.9%)	19 (24.7%)		
そ　の　他	0 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (26.6%)	

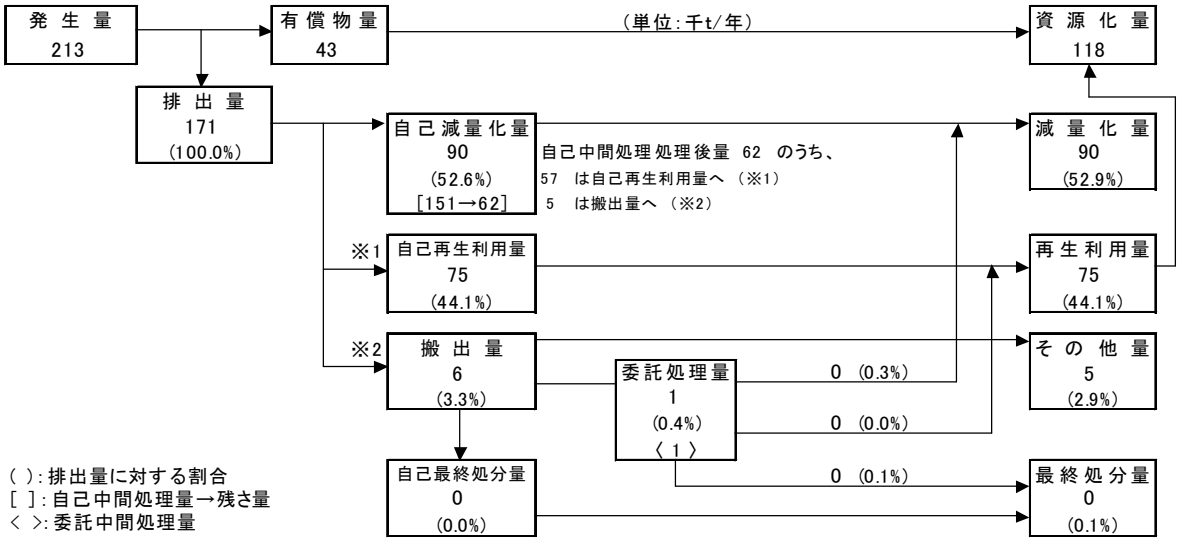


図 4-2-1　鉱業の処理・処分状況

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合をみると図 4-2-2 のとおりである。

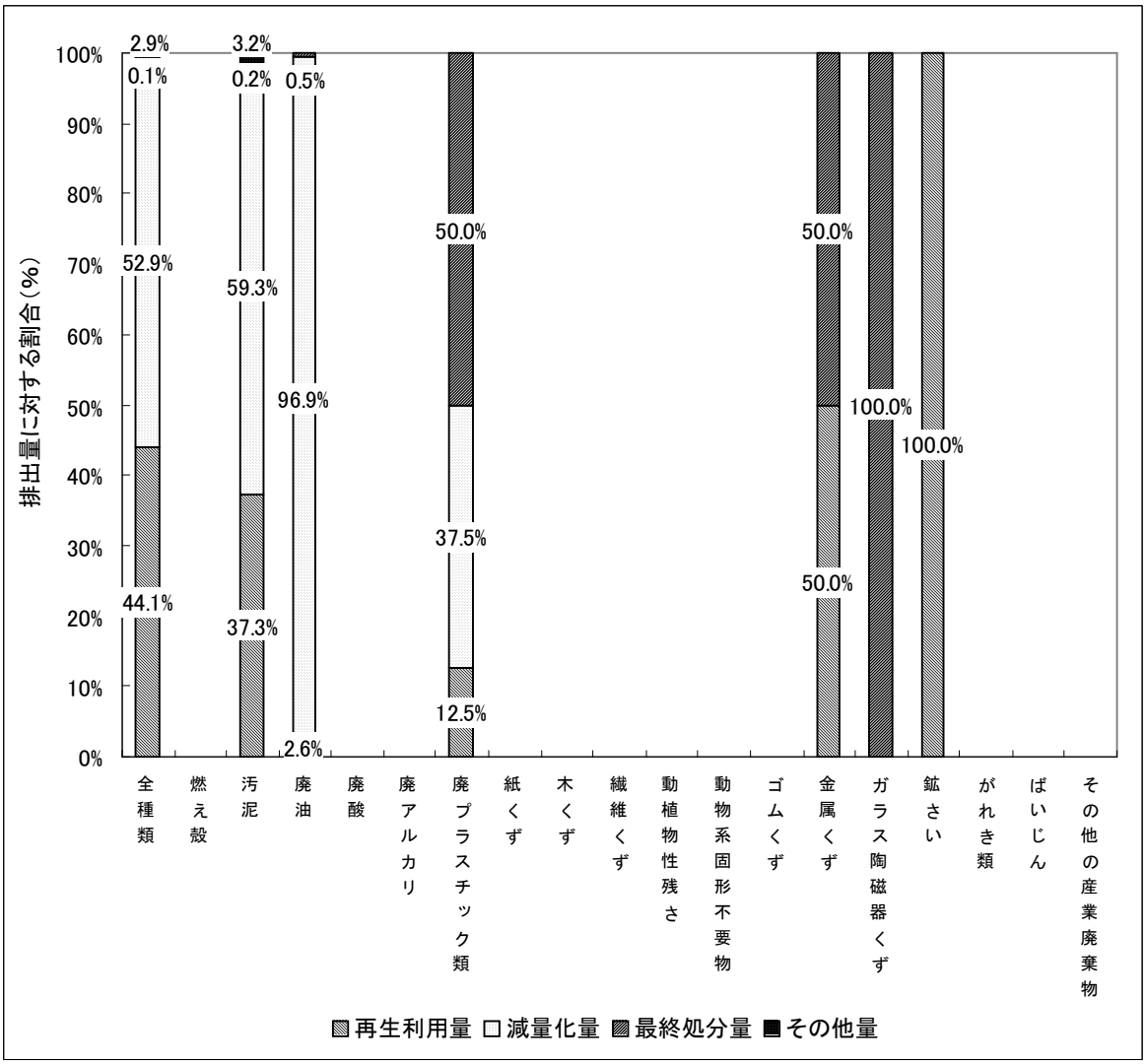


図 4-2-2　鉱業の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の割合

第３節　農業・鉱業を含めた排出量

農業・鉱業を含めた平成 22 年度の排出量は、2,889 千㌧であった。

表 4-3-1　農業を含めた排出量（業種別・種類別）

（単位：千t/年）

業種 / 種類	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	その他の業種
合計	2,889	977	171	407	615	692	28
燃え殻	37				6	31	0
汚泥	904		152	13	315	415	9
有機性汚泥	671		16	0	274	377	4
無機性汚泥	233		136	12	42	38	5
廃油	13		0	0	9	0	4
一般廃油	11		0	0	7	0	3
廃溶剤	2				2		0
その他	1		0	0	1		0
廃酸	4				3	0	0
廃アルカリ	6				6	0	0
廃プラスチック類	26	1	0	3	15	0	8
廃プラスチック	20		0	3	15	0	2
廃タイヤ	5		0	0	0		5
紙くず	1			0	0		0
木くず	125			40	85	0	0
繊維くず	1			0	1		
動植物性残さ	5				5		
動物系固形不要物	0				0		
ゴムくず	0			0	0		0
金属くず	13		0	4	6	0	3
ガラス陶磁器くず	17		0	8	9	0	0
鉱さい	149		19	0	131	0	
がれき類	342			332	4	5	0
コンクリート片	183			178	4	0	0
廃アスファルト	156			152	0	5	0
その他	2			2	0		
動物のふん尿	976	976					
ばいじん	259				17	241	
その他の産業廃棄物	11			6	1	0	4
感染性廃棄物	2				0		2
混合物等	9			6	1	0	2

第５章　産業廃棄物の移動状況

産業廃棄物の移動状況は、県内発生分については産業廃棄物実態調査から委託処理に関する結果について中間処理及び最終処分の目的別と県内外別、種類別に集計し、県外から県内に搬入される分については、県内産業廃棄物処分業者が県に報告した産業廃棄物処分実績報告書を基に中間処理及び最終処分の目的別と地域別、種類別に集計を行った。

第１節　産業廃棄物の移動状況の概要

県内で発生した産業廃棄物の委託処理先は、県内の中間処理目的が最も多く委託処理量の 55.5%（457.7 千㌧÷824.7 千㌧）を占めている。県内で発生した産業廃棄物の県内委託処理は、中間処理目的が 8 割を占め、最終処分が 2 割となっている。県内で発生した産業廃棄物の中間処理目的の県内外の処理先割合は、県内が 64.5%を占めている。

県外から搬入される産業廃棄物は、179.3 千㌧であり、中間処理目的が 90.3%を占めている。

県外へ搬出される産業廃棄物は、県内へ搬入される産業廃棄物より約 1.5 倍多い状況である。

表 5-1-1　処理方法別移動状況

（単位：千t/年）

	中間処理		最終処分		合計	
県内⇒県内	457.7	(79.9%)	115.1	(20.1%)	572.8	(100.0%)
県内⇒県外	251.8	(100.0%)	0.0	(0.0%)	251.9	(100.0%)
県外⇒県内	161.9	(90.3%)	17.4	(9.7%)	179.3	(100.0%)

第２節　県内発生産業廃棄物の移動状況

県内発生し委託処理される産業廃棄物の県外への移動状況は、中間処理目的のみの 251.8 千㌧であり、種類別では、ばいじんが 79.7%を占めている。

県外へ委託処理される産業廃棄物は、中間処理目的として、ばいじんが 200.6 千㌧であり、全体の 8 割を占めている。

なお、県内へ委託処理される産業廃棄物は、中間処理目的として、がれき類が 304.2 千㌧、汚泥が 53.6 千㌧、木くずが 42.1 千㌧であり、この 3 つで中間処理目的の産業廃棄物の 9 割を占めている。最終処分目的では、ばいじんが 43.7 千㌧、燃え殻が 24.3 千㌧、汚泥が 15.5 千㌧であり、この 3 つで最終処分目的の産業廃棄物の 7 割を占めている。

表 5-2-1　県内発生産業廃棄物の種類別処理方法別移動状況（委託処理）

（単位：千t/年）

	県内発生委託処理（全体）				県内⇒県内				県内⇒県外			
	中間処理	最終処分	合計		中間処理	最終処分	合計		中間処理	最終処分	合計	
燃え殻	24.7	24.3	49.0	(5.9%)	0.0	24.3	24.3	(4.2%)	24.7		24.7	(9.8%)
汚泥	57.1	15.5	72.6	(8.8%)	53.6	15.5	69.1	(12.1%)	3.4	0.0	3.5	(1.4%)
廃油	12.2	0.0	12.2	(1.5%)	9.3	0.0	9.3	(1.6%)	2.9		2.9	(1.1%)
廃酸	3.4	0.0	3.5	(0.4%)	2.6	0.0	2.6	(0.5%)	0.8		0.8	(0.3%)
廃アルカリ	5.8	0.5	6.2	(0.8%)	4.2	0.5	4.7	(0.8%)	1.5		1.5	(0.6%)
廃プラスチック類	22.3	2.9	25.2	(3.1%)	14.1	2.9	17.0	(3.0%)	8.1		8.1	(3.2%)
紙くず	0.7	0.1	0.8	(0.1%)	0.7	0.1	0.8	(0.1%)	0.0		0.0	(0.0%)
木くず	42.2	3.7	45.8	(5.6%)	42.1	3.7	45.7	(8.0%)	0.1		0.1	(0.0%)
繊維くず	0.7	0.2	1.0	(0.1%)	0.7	0.2	1.0	(0.2%)				
動植物性残さ	3.6	0.0	3.6	(0.4%)	2.8	0.0	2.8	(0.5%)	0.7		0.7	(0.3%)
動物系不要固形物	0.4		0.4	(0.1%)	0.2		0.2	(0.0%)	0.2		0.2	(0.1%)
ゴムくず	0.0	0.0	0.0	(0.0%)	0.0	0.0	0.0	(0.0%)				
金属くず	12.3	0.5	12.7	(1.5%)	11.0	0.5	11.4	(2.0%)	1.3		1.3	(0.5%)
ガラス陶磁器くず	6.4	7.1	13.4	(1.6%)	5.5	7.1	12.6	(2.2%)	0.8		0.8	(0.3%)
鉱さい	5.3	9.9	15.2	(1.8%)	0.0	9.9	10.0	(1.7%)	5.2		5.2	(2.1%)
がれき類	305.5	1.9	307.4	(37.3%)	304.2	1.9	306.2	(53.4%)	1.2		1.2	(0.5%)
ばいじん	200.6	43.7	244.4	(29.6%)	0.0	43.7	43.8	(7.6%)	200.6		200.6	(79.7%)
その他	6.3	4.9	11.2	(1.4%)	6.3	4.9	11.2	(2.0%)	0.0	0.0	0.0	(0.0%)
合計	709.6	115.1	824.7	(100.0%)	457.7	115.1	572.8	(100.0%)	251.8	0.0	251.9	(100.0%)
	(86.0%)	(14.0%)	(100.0%)	12.126	(79.9%)	(20.1%)	(100.0%)		(100.0%)	(0.0%)	(100.0%)	

第３節　県外発生県内搬入産業廃棄物の移動状況

県外から県内に搬入される産業廃棄物のうち、関東ブロックからが 57.2%、北海道・東北ブロックからが 25.5%、中部ブロックからが 17.0%であり、この 3 ブロックでほぼ 100%となっている。

なお、中間処理目的では、関東ブロックからが 58.9%、北海道・東北ブロックからが 21.9%、中部ブロックからが 18.8%である。種類別では、繊維くずが 46.3 千ﾄﾝ、廃プラスチック類が 39.5 千ﾄﾝ、金属くずが 24.9 千ﾄﾝであり、この 3 つで中間処理目的の産業廃棄物の 7 割を占めている。

また、最終処分目的では、北海道・東北ブロックからが 58.9%、関東ブロックからが 41.0%であり、この 2 ブロックでほぼ 100%となっている。種類別では、汚泥が 11.0 千ﾄﾝであり、最終処分目的の産業廃棄物の 6 割を占めている。

表 5-3-1　県外発生県内搬入産業廃棄物の種類別地域別移動状況（全体）

（単位：千t/年）

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	合計
燃え殻	0.5							0.5 (0.3%)
汚泥	9.9	2.9		0.0				12.9 (7.2%)
廃油	0.2							0.2 (0.1%)
廃酸								
廃アルカリ								
廃プラスチック類	11.2	26.7	3.1	0.0	0.0			41.0 (22.9%)
紙くず	0.5	7.4	0.0					7.9 (4.4%)
木くず	1.4	5.6	0.5				0.0	7.5 (4.2%)
繊維くず	0.1	47.0						47.2 (26.3%)
動植物性残さ	1.5							1.5 (0.8%)
動物系固形不要物								
ゴムくず		0.9						0.9 (0.5%)
金属くず	12.2	1.1	11.4	0.5				25.2 (14.1%)
ガラス陶磁器くず	4.0	0.2	0.0					4.2 (2.4%)
鉱さい								
がれき類	3.2	1.5	14.7					19.5 (10.9%)
ばいじん								
その他	0.9	9.2	0.9					10.9 (6.1%)
合計	45.7 (25.5%)	102.5 (57.2%)	30.5 (17.0%)	0.6 (0.3%)	0.0 (0.0%)		0.0 (0.0%)	179.3 (100.0%) (100.0%)

※その他は感染性廃棄物と混合物である。

表 5-3-2　県外発生県内搬入産業廃棄物の種類別地域別移動状況（中間処理）

（単位：千t/年）

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	合計
燃え殻	0.4							0.4 (0.3%)
汚泥	1.6	0.3		0.0				1.9 (1.2%)
廃油	0.2							0.2 (0.1%)
廃酸								0.0 (0.0%)
廃アルカリ								0.0 (0.0%)
廃プラスチック類	10.6	25.8	3.1	0.0	0.0			39.5 (24.4%)
紙くず	0.2	6.5	0.0					6.7 (4.1%)
木くず	1.2	4.7	0.5				0.0	6.3 (3.9%)
繊維くず	0.1	46.1						46.3 (28.6%)
動植物性残さ	1.5							1.5 (0.9%)
動物系固形不要物								0.0 (0.0%)
ゴムくず		0.0						0.0 (0.0%)
金属くず	11.8	1.1	11.4	0.5				24.9 (15.4%)
ガラス陶磁器くず	3.7	0.2	0.0					3.9 (2.4%)
鉱さい								0.0 (0.0%)
がれき類	3.2	1.5	14.7					19.4 (12.0%)
ばいじん								0.0 (0.0%)
その他	0.9	9.2	0.9					10.9 (6.7%)
合計	35.5 (21.9%)	95.4 (58.9%)	30.5 (18.8%)	0.6 (0.4%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	161.9 (100.0%) (100.0%)

※その他は感染性廃棄物と混合物である。

表 5-3-3　県外発生県内搬入産業廃棄物の種類別地域別移動状況（最終処分）

（単位：千t/年）

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	合計
燃え殻	0.1							0.1　(0.4%)
汚泥	8.3	2.7						11.0　(63.0%)
廃油								
廃酸								
廃アルカリ								
廃プラスチック類	0.6	0.9						1.5　(8.8%)
紙くず	0.3	0.9						1.1　(6.6%)
木くず	0.3	0.9	0.0					1.2　(6.8%)
繊維くず	0.0	0.9						0.9　(5.1%)
動植物性残さ								
動物系固形不要物								
ゴムくず		0.9						0.9　(5.1%)
金属くず	0.4	0.0	0.0					0.4　(2.2%)
ガラス陶磁器くず	0.4	0.0						0.4　(2.0%)
鉱さい								
がれき類	0.0	0.0						0.0　(0.1%)
ばいじん								
その他								
合計	10.3 (58.9%)	7.2 (41.0%)	0.0 (0.1%)					17.4 (100.0%) (100.0%)

表 5-3-4　地域ブロック

ブロック名	都道府県名
北海道・東北	北海道　青森県　岩手県　宮城県　秋田県　山形県　福島県　新潟県
関東	茨城県　栃木県　群馬県　埼玉県　千葉県　東京都　神奈川県
中部	富山県　石川県　福井県　山梨県　長野県　岐阜県　静岡県　愛知県　三重県
近畿	滋賀県　京都府　大阪府　兵庫県　奈良県　和歌山県
中国	鳥取県　島根県　岡山県　広島県　山口県
四国	徳島県　香川県　愛媛県　高知県
九州・沖縄	福岡県　佐賀県　長崎県　熊本県　大分県　宮崎県　鹿児島県　沖縄県

第６章　産業廃棄物の推移

第１節　前回調査との比較

１　排出量

排出量は 123 千ﾄﾝ減少している。業種別では、製造業及び電気・水道業で増加しているが、建設業で大きく減少している。

種類別にみると、汚泥及びばいじんが増加し、がれき類、鉱さい及びその他が減少している。特にがれき類が大きく減少している。

表 6-1-1　排出量（業種別）

（単位：千t/年）

	平成21年度	平成22年度	増減
合　計	1,865	1,742	△ 123
建設業	593	407	△ 186
製造業	600	615	15
電気・水道業	644	692	49
その他	28	28	0

表 6-1-1　排出量（種類別）

（単位：千t/年）

	平成21年度	平成22年度	増減
合　計	1,865	1,742	△ 123
汚　泥	675	752	77
がれき類	524	342	△ 183
ばいじん	251	259	7
鉱さい	143	131	△ 13
その他	272	259	△ 13

２　再生利用

再生利用量は 136 千ﾄﾝ減少している。業種別では、電気・水道業で増加しているが、建設業及び製造業で減少している。特に建設業で大きく減少している。

種類別にみると、ばいじんと木くずが増加し、がれき類及び燃え殻が減少している。特にがれき類が大きく減少している。

表 6-1-2　再生利用量（業種別）

（単位：千t/年）

	平成21年度	平成22年度	増減
合　計	822	686	△ 136
建設業	515	372	△ 143
製造業	120	97	△ 23
電気・水道業	177	207	30
その他	10	10	0

表 6-1-2　再生利用量（種類別）

（単位：千t/年）

	平成21年度	平成22年度	増減
合　計	822	686	△ 136
がれき類	480	334	△ 146
ばいじん	175	201	26
木くず	38	56	17
燃え殻	37	25	△ 12
その他	91	70	△ 21

３　最終処分量

最終処分量は 83 千ﾄﾝ減少している。業種別では、全ての業種で減少している。

種類別にみると、鉱さい、ばいじん及び汚泥が減少し、燃え殻が増加している。

表 6-1-3　最終処分量（業種別）

（単位:千t/年）

	平成21年度	平成22年度	増減
合　　計	355	271	△ 83
建　設　業	65	28	△ 37
製　造　業	168	151	△ 17
電気・水道業	116	86	△ 30
そ　の　他	6	6	0

表 6-1-3　最終処分量（種類別）

（単位:千t/年）

	平成21年度	平成22年度	増減
合　　計	355	271	△ 83
鉱　さ　い	138	125	△ 12
ば い じ ん	76	58	△ 18
燃　え　殻	28	32	4
汚　　泥	43	22	△ 21
そ　の　他	70	35	△ 35

第２節　目標の達成状況

第２次秋田県廃棄物処理計画（平成 18 年 4 月策定）の平成 22 年度数値目標は次のとおりであり、今回調査結果（平成 22 年度実績）と平成 22 年度目標値を比較すると、排出量、再生利用・減量化量、最終処分量の全ての項目において目標を達成している。

＜数値目標（平成 22 年度）＞

- 産業廃棄物の排出量：2,310 千ﾄﾝ
- 産業廃棄物の排出量に対する再生利用量・減量化量の割合：75%
- 産業廃棄物の最終処分量：590 千ﾄﾝ

項目＼年度	実績 平成21年度	実績 平成22年度	目標 平成22年度
排出量	1,865	1,742	2,310
再生利用･減量化量（千t/年）	1,502 (81%)	1,470 (84%)	1,720 (75%)
再生利用量（千t/年）	822 (44%)	685 (39%)	710 (31%)
減量化量（千t/年）	680 (36%)	785 (45%)	1,010 (44%)
最終処分量（千t/年）	355 (19%)	271 (16%)	590 (25%)

※（ ）内は、排出量に対する割合

また、第 2 次秋田県循環型社会形成推進基本計画（平成 23 年 6 月策定）の平成 27 年度数値目標は次のとおりであり、今回調査結果（平成 22 年度実績）と平成 27 年度目標値を比較すると、最終処分量においては目標を達成しているが、再生利用率においては目標に達していない。

＜数値目標（平成 27 年度）＞

- 産業廃棄物の排出量に対する再生利用量の割合：45%
- 産業廃棄物の最終処分量：300 千ﾄﾝ

項目＼年度	平成21年度	平成22年度	目標 平成27年度
再生利用率（%）	44	39	45
最終処分量（千t/年）	355	271	300

第７章　産業廃棄物の将来の見込み

将来予測は、発生原単位及び処理形態が将来にわたり一定であると仮定して、各種経済指標等を将来推計し､推測した経済指標に平成 22 年の原単位を乗じて発生量等を予測した。

第１節　排出量の将来予測

業種別の将来予測方法は表 7-1-1 のとおりである。

表 7-1-1　業種別の将来予測方法

業種	各種経済指標の将来予測方法
建設業	過去からのトレンド（平成 12～22 年）で元請完成工事高を推計し、将来の活動量指標とした。
製造業	過去からのトレンド（平成 15～22 年）で製造品出荷額等を推計し、将来の活動量指標とした。
電気・水道業	電気業、ガス業、上水道業は、各施設の将来計画値を用いた。 下水道業の将来計画が無い自治体については、県の下水道普及率を用いて推計した。 電気業の将来計画が無い事業所については､平成 22 年度秋田県産業廃棄物実態調査時の将来計画から推計した。
その他	業種別に過去からのトレンド（平成 11,13,16,18,21 年）で従業者数を推計し、将来の活動量指標とした。

その結果、排出量は減少する予測となり、全体でみると平成 24 年度が 1,741 千㌧（平成 22 年度より 0.06％減)、平成 25 年度が 1,724 千㌧（平成 22 年度より 1.03％減）となっている。業種別では、製造業及び電気・水道業が増加し、建設業は減少すると見込まれる。種類別では、汚泥、ばいじん及び鉱さいが増加し、がれき類は減少すると見込まれる。

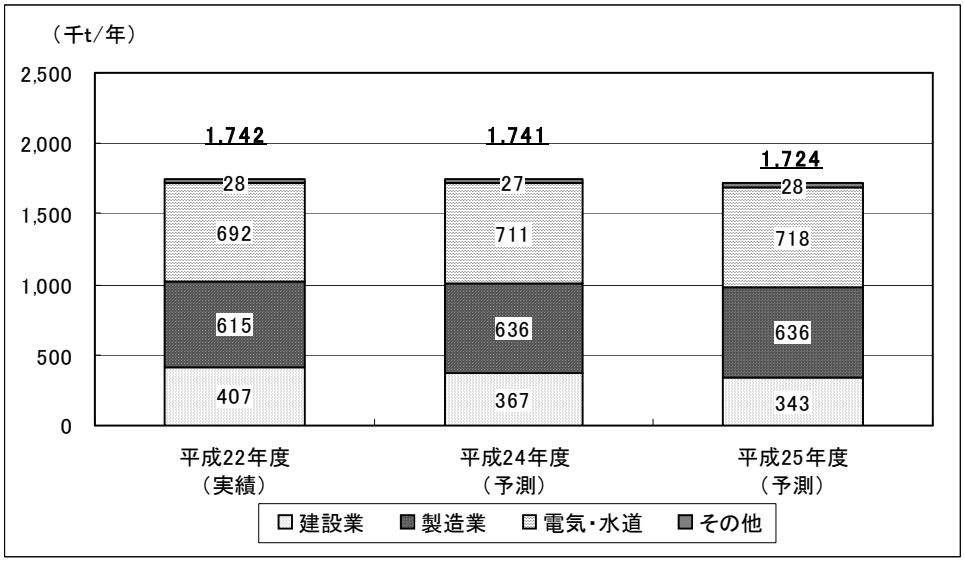


図 7-1-1　業種別排出量の将来見込み

表 7-1-2　業種別排出量の将来見込み

（単位：千t/年）

	実績		予測			
	平成22年度		平成24年度		平成25年度	
排出量	1,742	(100%)	1,741	(100%)	1,724	(100%)
建設業	407	(23%)	367	(21%)	343	(20%)
製造業	615	(35%)	636	(37%)	636	(37%)
電気・水道業	692	(40%)	711	(41%)	718	(42%)
その他	28	(2%)	27	(2%)	28	(2%)

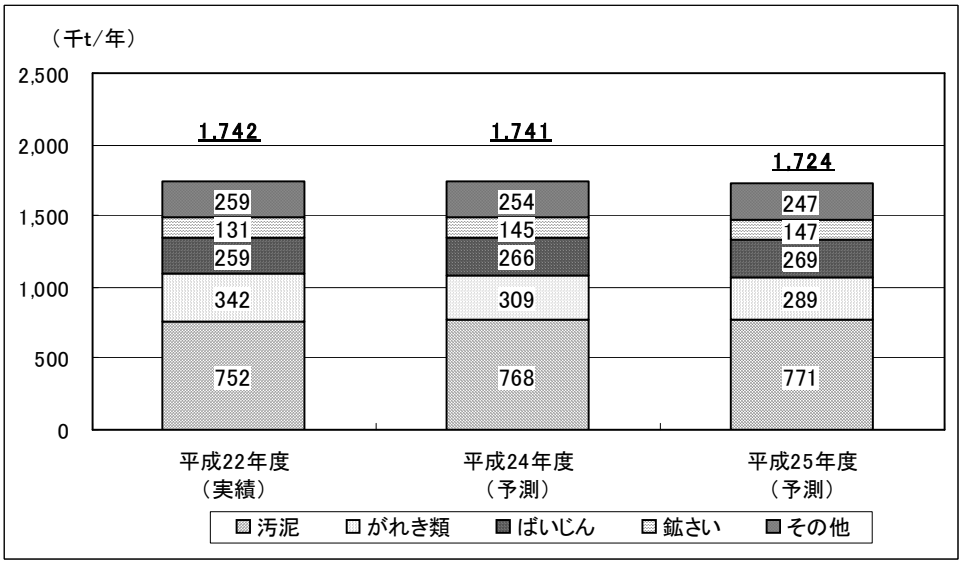


図 7-1-2　種類別排出量の将来見込み

表 7-1-3　種類別排出量の将来見込み

（単位：千t/年）

	実績		予測			
	平成22年度		平成24年度		平成25年度	
排出量	1,742	(100%)	1,741	(100%)	1,724	(100%)
汚泥	752	(43%)	768	(44%)	771	(45%)
がれき類	342	(20%)	309	(18%)	289	(38%)
ばいじん	259	(15%)	266	(15%)	269	(93%)
鉱さい	131	(8%)	145	(8%)	147	(55%)
その他	259	(15%)	254	(15%)	247	(14%)

第２節　処理量の将来予測

処理量の将来予測は、現状の業種別、種類別の発生量に対する処理方法等の割合が将来も一定であると仮定し、算出した。結果は図 7-2-1、表 7-2-1～3 のとおりである。

再生利用量をみると、減少傾向を示すと考えられる。これは、再生利用量の多い建設業が減少すると予測されるためである。

最終処分量をみると、増加傾向を示すと考えられる。これは、最終処分量の多い製造業及び電気・水道業が増加すると予測されるためである。

減量化量をみると、増加すると見込まれるが、これは、減量化量に大きく寄与する汚泥の発生量が増加するためである。

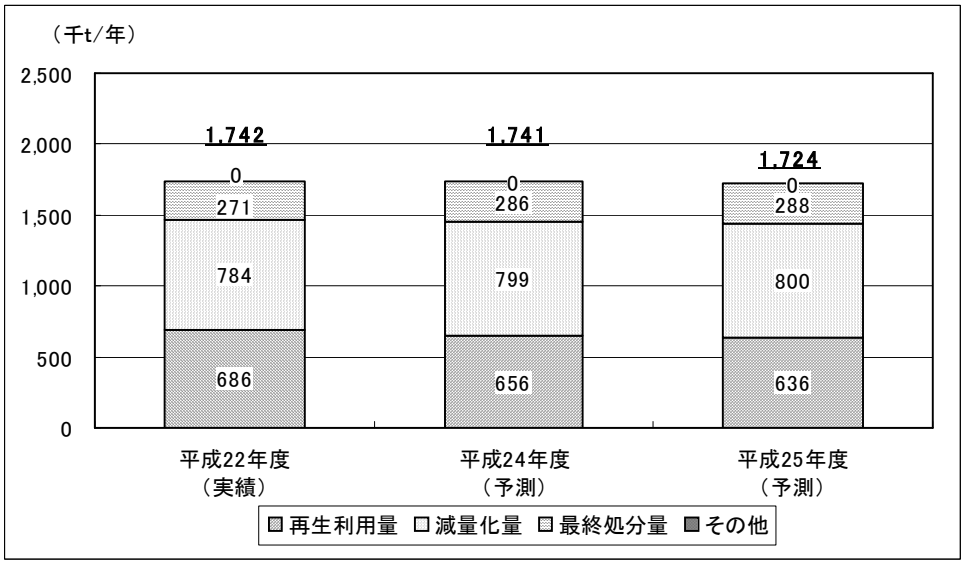


図 7-2-1　処理量の将来見込み

表 7-2-1　処理量の将来見込み

（単位：千t/年）

	実績		予測			
	平成22年度		平成24年度		平成25年度	
排出量	1,742	(100%)	1,741	(100%)	1,724	(100%)
再生利用量	686	(39%)	656	(38%)	636	(37%)
減量化量	784	(45%)	799	(46%)	800	(46%)
最終処分量	271	(16%)	286	(16%)	288	(17%)
その他量	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)

表 7-2-2　業種別再生利用量の将来見込み

（単位：千t/年）

	実績		予測			
	平成22年度		平成24年度		平成25年度	
再生利用量	685	(100%)	656	(100%)	635	(100%)
建設業	371	(54%)	335	(51%)	313	(49%)
製造業	97	(14%)	99	(15%)	98	(15%)
電気・水道業	207	(30%)	213	(32%)	215	(34%)
その他	10	(1%)	9	(1%)	9	(1%)

表 7-2-3　業種別最終処分量の将来見込み

（単位：千t/年）

	実績		予測			
	平成22年度		平成24年度		平成25年度	
最終処分量	271	(100%)	286	(100%)	288	(100%)
建設業	28	(10%)	26	(9%)	24	(8%)
製造業	151	(56%)	166	(58%)	169	(59%)
電気・水道業	86	(32%)	88	(31%)	89	(31%)
その他	6	(2%)	6	(2%)	6	(2%)

第８章　意識調査結果

意識調査は、産業廃棄物等に関する調査票に同封し、県内の排出事業者を対象に調査を実施した。その結果については、以下に示すとおりである。

第１節　産業廃棄物等の発生量の見込みについて

（設問１）貴事業所の産業廃棄物等の発生量の見込み（２１年度を基準に３年後を想定してください）について伺います。該当する番号を１つ選び、○を付けてください。なお、現在、有償あるいは無償で引き渡しているものも含めてください。

1. 発生量は今後大幅に減少する。
2. 発生量は今後少し減少する。
3. 発生量はほとんど変化しない。
4. 発生量は今後少し増加する。
5. 発生量は今後大幅に増加する。
6. その他

産業廃棄物等の発生量の見込みは、「発生量はほとんど変化しない」が 43%で最も高く、次いで、「発生量は今後少し減少する」が 27%となっている。

なお、業種別では、電気・水道業において「発生量は今後少し増加する」が最も高い割合となっている。

表 8-1-1　産業廃棄物等の発生量の見込み

	全体		建　設　業		製　造　業		電気･水道業	
		割合		割合		割合		割合
1. 発生量は今後大幅に減少する	32	7%	21	11%	9	4%	2	6%
2. 発生量は今後少し減少する	119	27%	48	26%	67	31%	4	11%
3. 発生量はほとんど変化しない	187	43%	69	37%	105	48%	13	37%
4. 発生量は今後少し増加する	67	15%	24	13%	29	13%	14	40%
5. 発生量は今後大幅に増加する	3	1%	2	1%	1	0%	0	0%
6. その他	32	7%	24	13%	6	3%	2	6%
合計	440	100%	188	100%	217	100%	35	100%

第２節　産業廃棄物の処理に関する課題について

（設問２）現在、貴事業所が排出する産業廃棄物の処理に関する課題について伺います。該当する番号を選び、○を付けてください。（複数回答可）
1. 排出量が増加している
2. 処理コストが増加している
3. リサイクルされる割合が減少している
4. 処理委託するルート（特にリサイクルルート）に関する情報が少ない
5. 課題は特にない
6. その他

産業廃棄物の処理に関する課題については、「特にない」が 40%で最も高く、業種別でも高い割合となっている。

なお、産業廃棄物の処理に関する課題としては、「処理コストが増加している」が 31%で最も高く、「処理委託するルート（特にリサイクルルート）に関する情報が少ない」が 14%となっている。

表 8-2-1　産業廃棄物の処理に関する課題

（複数回答）	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
1. 排出量が増加している	36	7%	16	8%	15	6%	5	13%
2. 処理コストが増加している	160	31%	73	35%	79	30%	8	20%
3. リサイクルされる割合が減少している	17	3%	6	3%	10	4%	1	3%
4. 処理委託するルート（特にリサイクルルート）に関する情報が少ない	71	14%	18	9%	48	18%	5	13%
5. 課題は特にない	203	40%	93	44%	93	36%	17	43%
6. その他	24	5%	5	2%	15	6%	4	10%
合計	511	100%	211	100%	260	100%	40	100%

第３節　処理困難な廃棄物について

（設問３－①）貴事業所において排出する産業廃棄物のうち、処理困難な廃棄物がありますか。該当する番号を１つ選び、○を付けてください。
1. 処理が困難な産業廃棄物はない
2. 処理が困難な産業廃棄物がある

処理が困難な産業廃棄物の有無については、「ない」が 89%であり、「あり」が 11%である。

表 8-3-1　処理困難な産業廃棄物の有無

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
1. 処理が困難な産業廃棄物はない	389	89%	172	92%	185	86%	32	91%
2. 処理が困難な産業廃棄物がある	49	11%	15	8%	31	14%	3	9%
合計	438	100%	187	100%	216	100%	35	100%

（設問３－②）①で２に○をつけた方は、以下の質問にお答えください。
主な処理困難な廃棄物の種類、性状及び原因（下記 ア～オから選択）を記載してください。
処理困難な原因（複数選択可）
ア　処理費用が高い
イ　委託先の確保が困難である
ウ　再利用ができない
エ　分別が困難である
オ　その他

処理が困難な産業廃棄物が「ある」事業者について、理由については、「処理費用が高い」、「委託先の確保が困難である」及び「再利用が出来ない」への割合が高かった。

回答が多い廃棄物の種類は、「有害物」の PCB や石綿を含んだ廃棄物、「複合材」の木くずや鉄くず等が混在している廃棄物、「廃プラスチック類」、「汚泥」であった。

表 8-3-2　処理困難な産業廃棄物の種類と理由

(複数回答)	全体		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	感染性廃棄物	その他				
		割合																	蛍光灯	バッテリー	複合材	有害物	その他
ア 処理費用が高い	24	28%	1	3	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	3	4	6
イ 委託先の確保が困難である	22	25%	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	2	2	2	5	3
ウ 再利用できない	20	23%	1	1	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1	0	0	2	1	5
エ 分別が困難である	11	13%	0	1	1	0	0	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	1	0
オ その他	10	11%	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	3	0
合計	87 (100%)	100% –	2 (2%)	10 (11%)	2 (2%)	2 (2%)	0 (0%)	8 (9%)	0 (0%)	2 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (3%)	7 (8%)	3 (3%)	4 (5%)	1 (1%)	3 (3%)	2 (2%)	10 (11%)	14 (16%)	14 (16%)

第４節　産業廃棄物の発生抑制や減量化に関する取り組みについて

（設問４）貴事業所において、産業廃棄物の発生抑制や減量化するために取り組んでいること、また、リサイクルのために取り組んでいることについてお伺いします。
取組内容毎に該当する欄に○を付けてください。また、「検討した結果から実施しない」場合は、その主な理由について、以下のア～キから選んで記号を「実施しない理由」欄に記入してください。
実施しない理由（複数選択可）
　ア　発生する産業廃棄物が非常に少ない
　イ　技術的に困難である
　ウ　施設又は取引できる業者が近くにいない
　エ　経費がかかる
　オ　人材の余裕がない
　カ　必要性を感じない
　キ　その他

1. 製造工程の改善や原材料の転換

「製造工程の改善や原材料の転換」といった取り組みについては、「実施中」及び「実施予定」が 44%であり、「実施していない」とする割合が高い。

「実施していない」理由としては、「技術的に困難である」が 33%、「発生する産業廃棄物が非常に少ない」が 20%、「必要性を感じない」が 18%となっている。

表 8-4-1-1　取り組みの状況

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
実施中	185	42%	57	30%	122	56%	6	17%
(今後1年ぐらいで)実施予定	8	2%	7	4%	0	0%	1	3%
検討していないので実施していない	114	26%	65	35%	30	14%	19	54%
検討した結果から実施しない	67	15%	21	11%	41	19%	5	14%
未回答(実施していない)	66	15%	38	20%	24	11%	4	11%
合計	440	100%	188	100%	217	100%	35	100%

表 8-4-1-2　取り組んでいない理由

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
ア　発生する産業廃棄物が非常に少ない	23	20%	12	29%	10	17%	1	8%
イ　技術的に困難である	38	33%	9	22%	25	42%	4	31%
ウ　施設又は取引できる業者が近くにいない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
エ　経費がかかる	9	8%	4	10%	4	7%	1	8%
オ　人材の余裕がない	1	1%	0	0%	1	2%	0	0%
カ　必要性を感じない	20	18%	9	22%	7	12%	4	31%
キ　その他	23	20%	7	17%	13	22%	3	23%
合計	114	100%	41	100%	60	100%	13	100%

2. 産業廃棄物の分別の徹底

「産業廃棄物の分別の徹底」といった取り組みについては、「実施中」及び「実施予定」が 85%であり、「実施していない」とする割合を大きく上回っている。

「実施していない」理由としては、「必要性を感じない」が 36%、「発生する産業廃棄物が非常に少ない」及び「技術的に困難である」が 18%となっている。

表 8-4-2-1　取り組みの状況

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
実施中	364	83%	162	86%	188	87%	14	40%
(今後1年ぐらいで)実施予定	7	2%	6	3%	1	0%	0	0%
検討していないので実施していない	23	5%	5	3%	6	3%	12	34%
検討した結果から実施しない	15	3%	4	2%	6	3%	5	14%
未回答(実施していない)	31	7%	11	6%	16	7%	4	11%
合計	440	100%	188	100%	217	100%	35	100%

表 8-4-2-2　取り組んでいない理由

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
ア　発生する産業廃棄物が非常に少ない	4	18%	4	57%	0	0%	0	0%
イ　技術的に困難である	4	18%	1	14%	2	33%	1	11%
ウ　施設又は取引できる業者が近くにいない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
エ　経費がかかる	1	5%	0	0%	1	17%	0	0%
オ　人材の余裕がない	1	5%	1	14%	0	0%	0	0%
カ　必要性を感じない	8	36%	1	14%	2	33%	5	56%
キ　その他	4	18%	0	0%	1	17%	3	33%
合計	22	100%	7	100%	6	100%	9	100%

3. 自社で減量化・再資源化施設を整備

「自社で減量化・再資源化施設を整備」といった取り組みについては、「実施中」及び「実施予定」が 25%であり、「実施していない」とする割合が高い。

「実施していない」理由としては、「経費がかかる」が 43%、『技術的に困難である』が 19%、「発生する産業廃棄物が非常に少ない」が 15%となっている。

表 8-4-3-1　取り組みの状況

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
実施中	95	22%	40	21%	48	22%	7	20%
(今後1年ぐらいで)実施予定	14	3%	7	4%	7	3%	0	0%
検討していないので実施していない	172	39%	74	39%	82	38%	16	46%
検討した結果から実施しない	96	22%	35	19%	53	24%	8	23%
未回答(実施していない)	63	14%	32	17%	27	12%	4	11%
合計	440	100%	188	100%	217	100%	35	100%

表 8-4-3-2　取り組んでいない理由

	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
ア　発生する産業廃棄物が非常に少ない	27	15%	11	16%	14	14%	2	13%
イ　技術的に困難である	36	19%	11	16%	22	21%	3	20%
ウ　施設又は取引できる業者が近くにいない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
エ　経費がかかる	79	43%	27	40%	46	45%	6	40%
オ　人材の余裕がない	7	4%	3	4%	4	4%	0	0%
カ　必要性を感じない	24	13%	8	12%	13	13%	3	20%
キ　その他	12	6%	7	10%	4	4%	1	7%
合計	185	100%	67	100%	103	100%	15	100%

4. 他事業所へ再生資源として提供

「他事業所へ再生資源として提供」といった取り組みについては、「実施中」及び「実施予定」が 51%であり、「実施していない」とする割合を若干上回っている。

「実施していない」理由としては、「施設又は取引できる業者が近くにいない」が 20%、「発生する産業廃棄物が非常に少ない」が 19%、「技術的に困難である」が 17%となっている。

表 8-4-4-1　取り組みの状況

	全体		建 設 業		製 造 業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
実施中	220	50%	109	58%	104	48%	7	20%
(今後1年ぐらいで)実施予定	6	1%	1	1%	4	2%	1	3%
検討していないので実施していない	104	24%	39	21%	51	24%	14	40%
検討した結果から実施しない	58	13%	14	7%	36	17%	8	23%
未回答(実施していない)	52	12%	25	13%	22	10%	5	14%
合計	440	100%	188	100%	217	100%	35	100%

表 8-4-4-2　取り組んでいない理由

	全体		建 設 業		製 造 業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
ア 発生する産業廃棄物が非常に少ない	19	19%	8	33%	9	15%	2	13%
イ 技術的に困難である	17	17%	1	4%	13	22%	3	20%
ウ 施設又は取引できる業者が近くにいない	20	20%	2	8%	14	23%	4	27%
エ 経費がかかる	8	8%	2	8%	5	8%	1	7%
オ 人材の余裕がない	4	4%	0	0%	4	7%	0	0%
カ 必要性を感じない	15	15%	1	4%	12	20%	2	13%
キ その他	16	16%	10	42%	3	5%	3	20%
合計	99	100%	24	100%	60	100%	15	100%

5. 再生資源（原料）・再生品を積極的に利用

「再生資源（原料）・再生品を積極的に利用」といった取り組みについては、「実施中」及び「実施予定」が 62%であり、「実施していない」とする割合を上回っている。

「実施していない」理由としては、「技術的に困難である」が 27%、「発生する産業廃棄物が非常に少ない」が 17%、「経費がかかる」及び「必要性を感じない」が 15%となっている。

表 8-4-5-1　取り組みの状況

	全体		建 設 業		製 造 業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
実施中	258	59%	136	72%	111	51%	11	31%
(今後1年ぐらいで)実施予定	11	3%	5	3%	6	3%	0	0%
検討していないので実施していない	81	18%	19	10%	48	22%	14	40%
検討した結果から実施しない	39	9%	8	4%	25	12%	6	17%
未回答(実施していない)	51	12%	20	11%	27	12%	4	11%
合計	440	100%	188	100%	217	100%	35	100%

表 8-4-5-2　取り組んでいない理由

	全体		建 設 業		製 造 業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
ア 発生する産業廃棄物が非常に少ない	13	17%	6	38%	6	13%	1	8%
イ 技術的に困難である	20	27%	3	19%	15	32%	2	17%
ウ 施設又は取引できる業者が近くにいない	2	3%	0	0%	1	2%	1	8%
エ 経費がかかる	11	15%	1	6%	8	17%	2	17%
オ 人材の余裕がない	1	1%	0	0%	1	2%	0	0%
カ 必要性を感じない	11	15%	2	13%	6	13%	3	25%
キ その他	17	23%	4	25%	10	21%	3	25%
合計	75	100%	16	100%	47	100%	12	100%

6. 減量化・再資源化・再利用の目標値を設定

「減量化・再資源化・再利用の目標値を設定」といった取り組みについては、「実施中」及び「実施予定」が 40%であり、「実施していない」とする割合が高い。

「実施していない」理由としては、「必要性を感じない」が 25%、「発生する産業廃棄物が非常に少ない」が 19%、「技術的に困難である」が 15%となっている。

表 8-4-6-1　取り組みの状況

	全体		建 設 業		製 造 業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
実施中	153	35%	43	23%	102	47%	8	23%
(今後1年ぐらいで)実施予定	22	5%	17	9%	4	2%	1	3%
検討していないので実施していない	144	33%	72	38%	55	25%	17	49%
検討した結果から実施しない	55	13%	24	13%	26	12%	5	14%
未回答(実施していない)	66	15%	32	17%	30	14%	4	11%
合計	440	100%	188	100%	217	100%	35	100%

表 8-4-6-2　取り組んでいない理由

	全体		建 設 業		製 造 業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
ア 発生する産業廃棄物が非常に少ない	22	19%	14	29%	7	13%	1	9%
イ 技術的に困難である	17	15%	6	13%	9	16%	2	18%
ウ 施設又は取引できる業者が近くにいない	1	1%	0	0%	0	0%	1	9%
エ 経費がかかる	7	6%	5	10%	2	4%	0	0%
オ 人材の余裕がない	8	7%	3	6%	5	9%	0	0%
カ 必要性を感じない	29	25%	9	19%	16	29%	4	36%
キ その他	31	27%	11	23%	17	30%	3	27%
合計	115	100%	48	100%	56	100%	11	100%

7. グリーン調達（環境に配慮した物品の優先的選択）

「グリーン調達」といった取り組みについては、「実施中」及び「実施予定」が 55%であり、「実施していない」とする割合を若干上回っている。

「実施していない」理由としては、「経費がかかる」が 26%、「必要性を感じない」が 24%、「発生する産業廃棄物が非常に少ない」及び「技術的に困難である」が 12%となっている。

表 8-4-7-1　取り組みの状況

	全体		建 設 業		製 造 業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
実施中	225	51%	89	47%	127	59%	9	26%
(今後1年ぐらいで)実施予定	17	4%	14	7%	3	1%	0	0%
検討していないので実施していない	99	23%	38	20%	45	21%	16	46%
検討した結果から実施しない	37	8%	15	8%	16	7%	6	17%
未回答(実施していない)	62	14%	32	17%	26	12%	4	11%
合計	440	100%	188	100%	217	100%	35	100%

表 8-4-7-2　取り組んでいない理由

	全体		建 設 業		製 造 業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
ア 発生する産業廃棄物が非常に少ない	9	12%	5	18%	3	9%	1	9%
イ 技術的に困難である	9	12%	1	4%	7	20%	1	9%
ウ 施設又は取引できる業者が近くにいない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
エ 経費がかかる	19	26%	10	36%	9	26%	0	0%
オ 人材の余裕がない	2	3%	1	4%	1	3%	0	0%
カ 必要性を感じない	18	24%	6	21%	6	17%	6	55%
キ その他	17	23%	5	18%	9	26%	3	27%
合計	74	100%	28	100%	35	100%	11	100%

8. 廃棄物や環境に関する専任部署の設置

「廃棄物や環境に関する専任部署の設置」といった取り組みについては、「実施中」及び「実施予定」が 40%であり、「実施していない」とする割合が高い。

「実施していない」理由としては、「人材の余裕がない」が 41%、「必要性を感じない」が 20%、「経費がかかる」が 17%となっている。

表 8-4-8-1　取り組みの状況

	全体		建　設　業		製　造　業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
実施中	158	36%	43	23%	113	52%	2	6%
(今後1年ぐらいで)実施予定	16	4%	13	7%	3	1%	0	0%
検討していないので実施していない	138	31%	69	37%	50	23%	19	54%
検討した結果から実施しない	65	15%	30	16%	25	12%	10	29%
未回答(実施していない)	63	14%	33	18%	26	12%	4	11%
合計	440	100%	188	100%	217	100%	35	100%

表 8-4-8-2　取り組んでいない理由

	全体		建　設　業		製　造　業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
ア　発生する産業廃棄物が非常に少ない	14	11%	9	16%	4	8%	1	6%
イ　技術的に困難である	5	4%	1	2%	3	6%	1	6%
ウ　施設又は取引できる業者が近くにいない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
エ　経費がかかる	22	17%	16	28%	4	8%	2	11%
オ　人材の余裕がない	52	41%	20	34%	26	50%	6	33%
カ　必要性を感じない	25	20%	9	16%	10	19%	6	33%
キ　その他	10	8%	3	5%	5	10%	2	11%
合計	128	100%	58	100%	52	100%	18	100%

9. 社員教育の徹底

「社員教育の徹底」といった取り組みについては、「実施中」及び「実施予定」が 76%であり、「実施していない」とする割合を大きく上回っている。

「実施していない」理由としては、「必要性を感じない」が 31%、「人材の余裕がない」が 26%となっている。

表 8-4-9-1　取り組みの状況

	全体		建　設　業		製　造　業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
実施中	303	69%	135	72%	157	72%	11	31%
(今後1年ぐらいで)実施予定	29	7%	18	10%	10	5%	1	3%
検討していないので実施していない	47	11%	12	6%	20	9%	15	43%
検討した結果から実施しない	15	3%	6	3%	5	2%	4	11%
未回答(実施していない)	46	10%	17	9%	25	12%	4	11%
合計	440	100%	188	100%	217	100%	35	100%

表 8-4-9-2　取り組んでいない理由

	全体		建　設　業		製　造　業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
ア　発生する産業廃棄物が非常に少ない	3	9%	3	33%	0	0%	0	0%
イ　技術的に困難である	3	9%	1	11%	0	0%	2	20%
ウ　施設又は取引できる業者が近くにいない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
エ　経費がかかる	3	9%	1	11%	2	13%	0	0%
オ　人材の余裕がない	9	26%	0	0%	7	44%	2	20%
カ　必要性を感じない	11	31%	4	44%	4	25%	3	30%
キ　その他	6	17%	0	0%	3	19%	3	30%
合計	35	100%	9	100%	16	100%	10	100%

第５節　県内の産業廃棄物処理施設について

（設問５）秋田県内に不足していると感じる廃棄物処理施設はありますか。該当する番号を選び、○を付けてください。（複数回答可）
1. 産業廃棄物最終処分場（安定型）
2. 産業廃棄物最終処分場（管理型）
3. 産業廃棄物焼却施設（感染性廃棄物の処理を含む）
4. 再資源化施設（再生利用可能な製品をつくることができる施設）
5. その他
6. 特に感じない

県内に不足していると感じる廃棄物処理施設は、「特に感じない」が 38%で最も高く、業種別でも建設業及び電気・水道業において高い割合となっている。一方、製造業においては、「再資源化施設」が 45%と最も高くなっている。

なお、県内に不足していると感じる廃棄物処理施設としては、「再資源化施設」が 32%で最も高く、業種別でも高い割合となっている。

表 8-5-1　県内に不足している廃棄物処理施設

（複数回答）	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
1. 産業廃棄物最終処分場（安定型）	54	10%	30	13%	21	8%	3	7%
2. 産業廃棄物最終処分場（管理型）	61	11%	32	14%	22	8%	7	16%
3. 産業廃棄物焼却施設（感染性廃棄物の処理を含む）	34	6%	16	7%	16	6%	2	4%
4. 再資源化施設（再生利用可能な製品を作ることができる施設）	174	32%	39	17%	119	45%	16	36%
5. その他	8	1%	1	0%	7	3%	0	0%
6. 特に感じない	206	38%	109	48%	80	30%	17	38%
合計	537	100%	227	100%	265	100%	45	100%

第６節　環境保全センターのあり方について

（設問６）県では、県内中小企業等の産業廃棄物の処理を補完する目的で、大仙市に環境保全センター（管理型最終処分場）を設置し、稼働させていますが、この環境保全センターの今後のあり方について伺います。（複数回答可）

1. 産業廃棄物処理は事業者責任が基本であり、県が積極的に関わるべきではない
2. 民業を圧迫しないよう民間が処理できない処理困難物に限定すべきである
3. 減量化・リサイクルを促進するため、受入物を原則として中間処理残さに限るべきである
4. 産業廃棄物最終処分場は、公共関与により整備することが望ましいので、県が引き続き環境保全センターの整備を図るべきである
5. 県は、環境保全センター以外の処理施設の整備も図り、産業廃棄物の処理に積極的に関わるべきである
6. その他

環境保全センターのあり方については、「産業廃棄物最終処分場は、公共関与により整備することが望ましいので、県が引き続き環境保全センターの整備を図るべきである」が 43%、「県は、環境保全センター以外の処理施設の整備も図り、産業廃棄物の処理に積極的に関わるべきである」が 37%となっており、公共関与の必要性を望む意見が多い。

表 8-6-1　環境保全センター（県営処分場）のあり方

（複数回答）	全体		建設業		製造業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
1. 産業廃棄物処理は事業者責任が基本であり、県が積極的に関わるべきではない	7	1%	4	2%	3	1%	0	0%
2. 民業は圧迫しないよう民間が処理できない処理困難物に限定すべきである	62	11%	24	10%	32	11%	6	13%
3. 減量化・リサイクルを促進するため、受入物を原則として中間処理残さに限るべきである	30	5%	11	5%	15	5%	4	9%
4. 産業廃棄物最終処分場は、公共関与により整備することが望ましいので、県が引き続き環境保全センターの整備を図るべきである	246	43%	110	47%	116	40%	20	44%
5. 県は、環境保全センター以外の処理施設の整備も図り、産業廃棄物の処理に積極的に関わるべきである	211	37%	78	33%	118	41%	15	33%
6. その他	13	2%	6	3%	7	2%	0	0%
合計	569	100%	233	100%	291	100%	45	100%

第７節　産業廃棄物税について

（設問７）県内の最終処分場へ産業廃棄物を搬入する際に排出事業者に課税される秋田県産業廃棄物税を平成 16 年から導入しておりますが、税制度は、貴事業所における廃棄物の発生抑制やリサイクルの取り組みに有効ですか。該当する番号を１つ選び、○を付けてください。
1. 有効であると思う
2. わからない
3. 有効であるとは思わない

廃棄物の発生抑制やリサイクルの取り組みに対する産業廃棄物税の有効性については、「わからない」が 61%と最も高く、業種別でも高い割合となっている。

なお、「有効であると思う」と「有効であるとは思わない」を比較した場合、「有効であると思う」が高い割合となっている。

表 8-7-1　産業廃棄物税

	全体		建　設　業		製　造　業		電気・水道業	
		割合		割合		割合		割合
1. 有効であると思う	135	32%	65	36%	55	26%	15	44%
2. わからない	261	61%	109	60%	136	64%	16	47%
3. 有効であるとは思わない	32	7%	9	5%	20	9%	3	9%
合計	428	100%	183	100%	211	100%	34	100%

第８節　県への要望について

（設問８）廃棄物の減量化・リサイクルや適正処理を進めるため、県ではどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。次のうち必要だと思われるものを次の A～J より 3 つまで選択し、下の回答欄に優先順位が高いものから順番にご記入してください。

A. 廃棄物の量を減らし、リサイクルを進める仕組みづくり
B. 地域で発生したものは、地域で処理する仕組みづくり
C. 企業、事業所などの排出者が適正な処理費用を負担するなど、処理責任の徹底
D. 優良な廃棄物処理業者の育成・支援
E. 公共関与の廃棄物処理施設の整備
F. 監視や指導の強化と、違反者への厳しい取締り・処分
G. 廃棄物の適正処理に関する技術指導
H. 環境負荷の少ない製品の開発や利用、リサイクル認定製品の普及等に対する支援
I. 廃棄物についての県民の知識・理解を深めるための啓発活動
J. その他

県への要望としては、「廃棄物の量を減らし、リサイクルを進める仕組みづくり」が加重合計及び単純合計ともに最も多く、次いで、「公共関与の廃棄物処理施設の整備」となっている。

表 8-8-1　県への要望

	加重合計		単純合計		回答内訳		
		割合		割合	1番	2番	3番
A. 廃棄物の量を減らし、リサイクルを進める仕組みづくり	584	23%	229	18%	157	41	31
B. 地域で発生したものは、地域で処理する仕組みづくり	244	10%	116	9%	40	48	28
C. 企業、事業所などの排出者が適正な処理費用を負担するなど、処理責任の徹底	121	5%	61	5%	19	22	20
D. 優良な廃棄物処理業者の育成・支援	320	13%	168	14%	38	76	54
E. 公共関与の廃棄物処理施設の整備	360	14%	173	14%	61	65	47
F. 監視や指導の強化と、違反者への厳しい取締り・処分	176	7%	90	7%	26	34	30
G. 廃棄物の適正処理に関する技術指導	186	7%	106	9%	17	46	43
H. 環境負荷の少ない製品の開発や利用、リサイクル認定製品の普及等に対する支援	284	11%	157	13%	31	65	61
I. 廃棄物についての県民の知識・理解を深めるための啓発活動	223	9%	136	11%	34	19	83
J. その他	11	0%	5	0%	3	0	2
合計	2509	100%	1241	100%	426	416	399

備考）加重合計を行うにあたって、1番を3点、2番を2点、3番を1点とした。

表 8-8-2　県への要望（業種別）

単純合計	建　設　業		製　造　業		電気・製造業	
		割合		割合		割合
A. 廃棄物の量を減らし、リサイクルを進める仕組みづくり	96	18%	118	20%	15	15%
B. 地域で発生したものは、地域で処理する仕組みづくり	57	11%	57	10%	2	2%
C. 企業、事業所などの排出者が適正な処理費用を負担するなど、処理責任の徹底	28	5%	24	4%	9	9%
D. 優良な廃棄物処理業者の育成・支援	62	12%	89	15%	17	17%
E. 公共関与の廃棄物処理施設の整備	66	12%	92	15%	15	15%
F. 監視や指導の強化と、違反者への厳しい取締り・処分	42	8%	35	6%	13	13%
G. 廃棄物の適正処理に関する技術指導	50	9%	47	8%	9	9%
H. 環境負荷の少ない製品の開発や利用、リサイクル認定製品の普及等に対する支援	68	13%	77	13%	12	12%
I. 廃棄物についての県民の知識・理解を深めるための啓発活動	67	12%	59	10%	10	10%
J. その他	3	1%	2	0%	0	0%
合計	539	100%	600	100%	102	100%

加重合計	建　設　業		製　造　業		電気・製造業	
		割合		割合		割合
A. 廃棄物の量を減らし、リサイクルを進める仕組みづくり	241	22%	306	25%	37	18%
B. 地域で発生したものは、地域で処理する仕組みづくり	123	11%	115	9%	6	3%
C. 企業、事業所などの排出者が適正な処理費用を負担するなど、処理責任の徹底	56	5%	47	4%	18	9%
D. 優良な廃棄物処理業者の育成・支援	121	11%	172	14%	27	13%
E. 公共関与の廃棄物処理施設の整備	131	12%	192	16%	37	18%
F. 監視や指導の強化と、違反者への厳しい取締り・処分	80	7%	68	6%	28	14%
G. 廃棄物の適正処理に関する技術指導	84	8%	88	7%	14	7%
H. 環境負荷の少ない製品の開発や利用、リサイクル認定製品の普及等に対する支援	132	12%	130	11%	22	11%
I. 廃棄物についての県民の知識・理解を深めるための啓発活動	114	10%	94	8%	15	7%
J. その他	5	0%	6	0%	0	0%
合計	1087	1	1218	100%	204	100%

備考）加重合計を行うにあたって、1番を3点、2番を2点、3番を1点とした。

参　考　資　料

＜統計表＞

統計表目次

表１　業種別種類別の結果表【平成 22 年度】

表 1-1　発生量　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68

表 1-2　有償物量　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69

表 1-3　排出量　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70

表 1-4　搬出量　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71

表 1-5　自己最終処分量　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72

表 1-6　委託処理量　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73

表 1-7　委託中間処理量　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74

表 1-8　委託直接最終処分量　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75

表 1-9　委託最終処分量　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76

表 1-10　最終処分量　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77

表 1-11　再生利用量　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78

表 1-12　資源化量　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79

表 1-13　排出量＜秋田市＞　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80

表 1-14　排出量＜県北地域＞　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81

表 1-15　排出量＜県央地域＞　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82

表 1-16　排出量＜県南地域＞　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83

表２　発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）＜業種別＞【平成 22 年度】

表 2-1　全業種　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85

表 2-2　建設業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87

表 2-3　製造業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89

表 2-4　電気・水道業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91

表 2-5　その他の業種　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 93

表３　発生量及び処理・処分状況（種類別：無変換）【平成 22 年度】

表 3-1　全業種　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95

表 3-2　建設業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97

表 3-3　製造業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99

表 3-4　電気・水道業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・101

表 3-5　その他の業種　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・103

表４　発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）＜地域別＞【平成 22 年度】
表 4-1　秋田市　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・105
表 4-2　県北地域　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・107
表 4-3　県央地域　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・109
表 4-4　県南地域　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・111

表５　発生量及び処理・処分状況（業種別）＜地域別＞【平成 22 年度】
表 5-1　全地域　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・113
表 5-2　秋田市　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・115
表 5-3　県北地域　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・117
表 5-4　県央地域　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・119
表 5-5　県南地域　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・121

表６　発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）
表 6-1　将来予測結果（平成 24 年度）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・123
表 6-2　将来予測結果（平成 25 年度）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・125

表７　発生量及び処理・処分状況（業種別）
表 7-1　将来予測結果（平成 24 年度）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・127
表 7-2　将来予測結果（平成 25 年度）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・129

表８　鉱業の発生量及び処理・処分状況（種類別）【平成 21 年度】
表 8-1　変換　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・131
表 8-2　無変換　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・133

表1-1　発生量（業種別・種類別）＜平成22年度＞

（単位：千ｔ/年）

種類＼業種	合計	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	一般機器	電気機器	情報通信機器	電子部品	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	ガス業	上水道業	下水道業	その他の業種
合計	1,859	410	629	16	8	2	85	2	276	0	8	0	3	0		21	9	126	6	11	1	11	30	12	0	785	366	0	42	377	34
燃え殻	37		6		0		2		4							0				0						31	31			0	0
汚泥	824	13	315	13	4	1		0	252	0	7	0	0			10	0	3	2	2	1	6	13	1		488	74	0	37	377	9
有機性汚泥	655	0	274	13	4	1			251		2		0							0		1	3			377			0	377	4
無機性汚泥	170	12	42			0		0	1	0	5	0	0			10	0	3	2	2	1	5	11	1		111	74	0	37		5
廃油	20	0	10	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	2	0	1	5	1		0	0			0	9
一般廃油	16	0	7	0				0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	2	0	1	3	1		0	0			0	9
廃溶剤	2		2				0				0						0	0	0	0		0	2								0
その他	1	0	1			0	0	0		0							0	0	0	0			0	1							0
廃酸	4		3							0	0	0				0	0	0	1	0		1	1	0		0			0		0
廃アルカリ	7		6							0	0		0			0	0	0	0	1	0	2	2	0		0			0		0
廃プラスチック類	26	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0		0	0	0	0	4	0	0	5	0	0	0	0	0		0	8
廃プラスチック	20	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0		0	0	0	0	4	0	0	5	0	0	0	0	0		0	2
廃タイヤ	5	0	0								0																				5
紙くず	1	0	0						0																						0
木くず	125	40	85	0			83	1			0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0			0
繊維くず	1	0	1			1																									
動植物性残さ	5		5	2	2																										
動物系固形不要物	0		0	0	0																										
ゴムくず	0	0	0			0											0														0
金属くず	27	5	19	0		0	0		3	0	0	0		0		0	0	1	1	1	0	0	2	9		0	0	0		0	3
ガラス陶磁器くず	17	8	9	0	1	0		0			0	0				6		0	0	1		0	1	0		0	0	0		0	0
鉱さい	131	0	131								0					0	8	121	2	0			0	0		0	0				
がれき類	344	335	4	0								0				4		0	0	0	0					5			5		0
コンクリート片	184	179	4													4		0			0					0			0		0
廃アスファルト	158	153	0															0								5			5		0
その他	2	2	0	0								0							0	0											
ばいじん	279		17						17								0									261	261				
その他の産業廃棄物	11	6	1	0	1	0			0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0				4
感染性廃棄物	2		0	0					0		0									0			0	0							2
混合物等	10	6	1	0	1	0			0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0				2

表1-2　有償物量（業種別・種類別）＜平成22年度＞

（単位：千ｔ/年）

業種 / 種類	合計	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	一般機器	電気機器	情報通信機器	電子部品	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	ガス業	上水道業	下水道業	その他の業種
合計	117	4	14	0	0	0	0		3		0					0	0	0	1	1	0	0	2	6		93	93	0			6
燃え殻																															
汚泥	73																									73	73				0
有機性汚泥																															
無機性汚泥	73																									73	73				0
廃油	6		1	0												0				0		0	1	0		0	0				6
一般廃油	6		0	0												0				0		0	0	0		0	0				6
廃溶剤	1		1																	0		0	1								
その他																															
廃酸																															
廃アルカリ	0																														0
廃プラスチック類	1		0																			0	0	0							0
廃プラスチック	0		0																			0	0	0							0
廃タイヤ	0																														0
紙くず	0	0																													
木くず	0	0	0				0										0														
繊維くず	0		0			0																									
動植物性残さ	0		0	0	0																										
動物系固形不要物																															
ゴムくず																															
金属くず	14	1	12	0			0		3		0					0	0	0	1	1	0	0	1	5		0		0			0
ガラス陶磁器くず	0		0													0							0								
鉱さい	0		0																0												
がれき類	2	2																													
コンクリート片	1	1																													
廃アスファルト	1	1																													
その他																															
ばいじん	20																									20	20				
その他の産業廃棄物	0		0																			0									0
感染性廃棄物																															
混合物等	0		0																			0									0

表1-3　排出量（業種別・種類別）＜平成22年度＞

（単位：千ｔ/年）

業種 / 種類	合計	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	一般機器	電気機器	情報通信機器	電子部品	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	ガス業	上水道業	下水道業	その他の業種
合計	1,742	407	615	16	8	2	85	2	273	0	8	0	3	0		21	9	126	5	10	1	11	28	6	0	692	273	0	42	377	28
燃え殻	37		6		0		2		4							0				0						31	31			0	0
汚泥	752	13	315	13	4	1		0	252	0	7	0	0			10	0	3	2	2	1	6	13	1		415	1	0	37	377	9
有機性汚泥	655	0	274	13	4	1			251		2		0							0		1	3			377			0	377	4
無機性汚泥	97	12	42			0		0	1	0	5	0	0			10	0	3	2	2	1	5	11	1		38	1	0	37		5
廃油	13	0	9	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	2	0	1	5	1		0	0			0	4
一般廃油	10	0	7	0				0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	2	0	1	3	1		0	0			0	3
廃溶剤	2		2				0				0						0	0	0	0		0	2								0
その他	1	0	1			0	0	0		0							0	0	0	0			0	1							0
廃酸	4		3							0	0	0				0	0	0	1	0		1	1	0		0			0		0
廃アルカリ	6		6							0	0		0			0	0	0	0	1	0	2	2	0		0			0		0
廃プラスチック類	25	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0		0	0	0	0	4	0	0	5	0	0	0	0	0		0	8
廃プラスチック	20	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0		0	0	0	0	4	0	0	5	0	0	0	0	0		0	2
廃タイヤ	5	0	0								0																				5
紙くず	1	0	0						0																						0
木くず	125	40	85	0			83	1			0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0			0
繊維くず	1	0	1			1																									
動植物性残さ	4		4	2	2																										
動物系固形不要物	0		0	0	0																										
ゴムくず	0	0	0			0											0														0
金属くず	13	4	6	0		0	0			0	0	0		0			0	0	0	1	0	0	1	4		0	0	0		0	3
ガラス陶磁器くず	17	8	9	0	1	0		0			0	0				6		0	0	1		0	1	0		0	0	0		0	0
鉱さい	131	0	131								0					0	8	121	2	0			0	0		0	0				
がれき類	342	332	4	0								0				4		0	0	0	0					5			5		0
コンクリート片	183	178	4													4		0			0					0			0		0
廃アスファルト	156	152	0															0								5			5		0
その他	2	2	0	0								0							0	0											
ばいじん	259		17						17								0									241	241				
その他の産業廃棄物	11	6	1	0	1	0			0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0				4
感染性廃棄物	2		0	0					0		0									0			0	0							2
混合物等	10	6	1	0	1	0			0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0				2

表1-4　搬出量（業種別・種類別：変換）＜平成22年度＞

（単位：千ｔ/年）

業種 / 種類	合計	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	一般機器	電気機器	情報通信機器	電子部品	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	ガス業	上水道業	下水道業	その他の業種
合計	957	371	249	4	4	2	9	0	33	0	4	0	3	0		11	9	126	4	9	1	5	19	5	0	314	273	0	6	35	24
燃え殻	49		17	0	0		3	0	14							0				0						32	31			1	0
汚泥	76	12	23	2	0	1		0	1	0	3	0	0			4	0	3	1	1	0	1	4	1		36	0	0	1	34	5
有機性汚泥	39	0	4	2	0	0			1		0		0							0		0	0			34			0	34	0
無機性汚泥	36	12	19			0		0	1	0	3	0	0			4	0	3	1	1	0	1	4	1		1	0	0	1		5
廃油	12	0	9	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	2	0	1	5	1		0	0			0	3
一般廃油	10	0	7	0				0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	2	0	1	3	1		0	0			0	3
廃溶剤	2		2				0				0						0	0	0	0		0	2								0
その他	0	0	0			0	0	0		0							0	0	0	0			0	0							0
廃酸	3		3							0	0	0				0	0	0	1	0		1	1	0		0			0		0
廃アルカリ	6		6							0	0		0			0	0	0	0	1	0	2	2	0		0			0		0
廃プラスチック類	25	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0		0	0	0	0	4	0	0	5	0	0	0	0	0		0	8
廃プラスチック	20	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0		0	0	0	0	4	0	0	5	0	0	0	0	0		0	2
廃タイヤ	5	0	0								0																				5
紙くず	1	0	0						0																						0
木くず	46	39	7	0			6	0			0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0			0
繊維くず	1	0	1			1																									
動植物性残さ	4		4	1	2																										
動物系固形不要物	0		0	0	0																										
ゴムくず	0	0	0			0											0														0
金属くず	13	4	6	0		0	0			0	0	0		0			0	0	0	1	0	0	1	4		0	0	0		0	3
ガラス陶磁器くず	13	8	5	0	1	0		0			0	0				3		0	0	1		0	1	0		0	0	0		0	0
鉱さい	131	0	131								0					0	8	121	2	0			0	0		0	0				
がれき類	308	298	4	0								0				4		0	0	0	0					5			5		0
コンクリート片	166	162	4													4		0			0					0			0		0
廃アスファルト	139	134	0															0								5			5		0
その他	2	2	0	0								0							0	0											
ばいじん	259		17						17								0									241	241				
その他の産業廃棄物	11	6	1	0	1	0			0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0				3
感染性廃棄物	2		0	0					0		0									0			0	0							2
混合物等	9	6	1	0	1	0			0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0				2

表1-5　自己最終処分量（業種別・種類別：変換）＜平成22年度＞

（単位：千ｔ/年）

種類＼業種	合計	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	一般機器	電気機器	情報通信機器	電子部品	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	ガス業	上水道業	下水道業	その他の業種
合計	132		118					0			3							115								14	14				0
燃え殻	0		0					0																							
汚泥	3		3								3																				0
有機性汚泥																															
無機性汚泥	3		3								3																				0
廃油																															
一般廃油																															
廃溶剤																															
その他																															
廃酸																															
廃アルカリ																															
廃プラスチック類																															
廃プラスチック																															
廃タイヤ																															
紙くず																															
木くず																															
繊維くず																															
動植物性残さ																															
動物系固形不要物																															
ゴムくず																															
金属くず																															
ガラス陶磁器くず																															
鉱さい	115		115															115													
がれき類																															
コンクリート片																															
廃アスファルト																															
その他																															
ばいじん	14																									14	14				
その他の産業廃棄物																															
感染性廃棄物																															
混合物等																															

表1-6　委託処理量（業種別・種類別：変換）＜平成22年度＞

（単位：千ｔ/年）

業種 / 種類	合計	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	一般機器	電気機器	情報通信機器	電子部品	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	ガス業	上水道業	下水道業	その他の業種
合計	825	371	131	4	4	2	9	0	33	0	2	0	3	0		11	9	10	4	9	1	5	19	5	0	299	259	0	6	35	24
燃え殻	49		17	0	0		3	0	14							0				0						32	31			1	0
汚泥	73	12	20	2	0	1		0	1	0	0	0	0			4	0	3	1	1	0	1	4	1		35	0	0	1	34	5
有機性汚泥	39	0	4	2	0	0			1		0		0							0		0	0			34			0	34	0
無機性汚泥	33	12	16			0		0	1	0	0	0	0			4	0	3	1	1	0	1	4	1		1	0	0	1		5
廃油	12	0	9	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	2	0	1	5	1		0	0			0	3
一般廃油	10	0	7	0				0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	2	0	1	3	1		0	0			0	3
廃溶剤	2		2				0				0						0	0	0	0		0	2								0
その他	0	0	0			0	0	0		0							0	0	0	0			0	0							0
廃酸	3		3							0	0	0				0	0	0	1	0		1	1	0		0			0		0
廃アルカリ	6		6							0	0		0			0	0	0	0	1	0	2	2	0		0			0		0
廃プラスチック類	25	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0		0	0	0	0	4	0	0	5	0	0	0	0	0		0	8
廃プラスチック	20	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0		0	0	0	0	4	0	0	5	0	0	0	0	0		0	2
廃タイヤ	5	0	0								0																				5
紙くず	1	0	0						0																						0
木くず	46	39	7	0			6	0			0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0			0
繊維くず	1	0	1			1																									
動植物性残さ	4		4	1	2																										
動物系固形不要物	0		0	0	0																										
ゴムくず	0	0	0			0											0														0
金属くず	13	4	6	0		0	0			0	0	0		0			0	0	0	1	0	0	1	4		0	0	0		0	3
ガラス陶磁器くず	13	8	5	0	1	0		0			0	0				3		0	0	1		0	1	0		0	0	0		0	0
鉱さい	15	0	15								0					0	8	5	2	0			0	0		0	0				
がれき類	307	298	4	0								0				4		0	0	0	0					5			5		0
コンクリート片	166	162	4													4		0			0					0			0		0
廃アスファルト	138	134	0															0								5			5		0
その他	2	2	0	0								0							0	0											
ばいじん	244		17						17								0									227	227				
その他の産業廃棄物	11	6	1	0	1	0			0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0				3
感染性廃棄物	2		0	0					0		0									0			0	0							2
混合物等	9	6	1	0	1	0			0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0				2

表1-7　委託中間処理量（業種別・種類別：変換）＜平成22年度＞

（単位：千ｔ/年）

種類＼業種	合計	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	一般機器	電気機器	情報通信機器	電子部品	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	ガス業	上水道業	下水道業	その他の業種
合計	710	351	103	3	4	1	6	0	31	0	2	0	3	0		8	4	1	3	8	0	5	18	5		233	196	0	5	33	22
燃え殻	25		13						13							0										12	12			0	0
汚泥	57	10	10	1		0		0	1	0	0	0	0			1		0	1	1	0	1	4	1		33	0	0	0	33	5
有機性汚泥	35	0	2	1		0					0		0							0		0	0			33			0	33	0
無機性汚泥	22	10	8					0	1	0	0	0	0			1		0	1	1	0	1	4	1		0	0	0	0		4
廃油	12	0	9	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	2	0	1	5	1		0	0			0	3
一般廃油	10	0	7	0				0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	2	0	1	3	1		0	0			0	3
廃溶剤	2		2				0				0						0	0	0	0		0	2								0
その他	0	0	0			0	0	0		0							0	0	0	0			0	0							0
廃酸	3		3							0	0	0				0	0	0	1	0		1	1	0		0			0		0
廃アルカリ	6		6							0	0		0			0	0	0	0	1	0	2	2	0		0			0		0
廃プラスチック類	22	1	14	0		0	0	0	0	0	0	0	3			0	0	0	0	4	0	0	4	0		0	0	0		0	7
廃プラスチック	17	1	14	0		0	0	0	0	0	0	0	3			0	0	0	0	4	0	0	4	0		0	0	0		0	2
廃タイヤ	5	0	0								0																				5
紙くず	1	0	0						0																						0
木くず	42	35	7	0			6				0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0			0
繊維くず	1	0	1			1																									
動植物性残さ	4		4	1	2																										
動物系固形不要物	0		0	0	0																										
ゴムくず	0		0														0														0
金属くず	12	4	6	0		0	0			0	0	0					0	0	0	1	0	0	1	4		0	0	0		0	3
ガラス陶磁器くず	6	2	4	0	1						0	0				2		0	0	0		0	1	0		0	0			0	0
鉱さい	5		5								0					0	4		1				0	0		0	0				
がれき類	305	296	4									0				4		0	0							5			5		0
コンクリート片	166	162	4													4										0			0		0
廃アスファルト	138	134	0															0								5			5		0
その他	1	1	0									0							0												
ばいじん	201		17						17																	184	184				
その他の産業廃棄物	6	2	1	0	1				0	0	0		0			0			0	0	0	0	0	0							3
感染性廃棄物	2		0						0		0									0			0	0							2
混合物等	5	2	1	0	1				0	0	0		0			0			0	0	0	0	0	0							2

表1-8　委託直接最終処分量（業種別・種類別：変換）＜平成22年度＞

（単位：千ｔ/年）

業種 / 種類	合計	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	一般機器	電気機器	情報通信機器	電子部品	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	ガス業	上水道業	下水道業	その他の業種
合計	115	20	28	1	0	1	3	0	2	0	0			0		4	4	9	1	1	0	0	1	0	0	66	63	0	1	3	1
燃え殻	24		4	0	0		3	0	1											0						20	19			1	0
汚泥	16	2	11	1	0	1			1		0					3	0	3	0	0	0		0	0		3	0		1	2	0
有機性汚泥	4	0	2	1	0	0			1		0															2				2	0
無機性汚泥	11	2	8			0					0					3	0	3	0	0	0		0	0		1	0		1		0
廃油	0		0																	0			0								
一般廃油																															
廃溶剤																															
その他	0		0																	0			0								
廃酸	0		0														0														
廃アルカリ	0		0														0						0								
廃プラスチック類	3	1	1	0	0	0		0		0	0			0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
廃プラスチック	3	1	1	0	0	0		0		0	0			0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
廃タイヤ																															
紙くず	0	0																													
木くず	4	4	0					0												0				0							0
繊維くず	0	0	0			0																									
動植物性残さ	0		0	0																											
動物系固形不要物																															
ゴムくず	0	0	0			0																									
金属くず	0	0	0			0					0			0						0			0			0	0				0
ガラス陶磁器くず	7	6	1			0		0			0					0		0	0	0		0	0	0		0		0			0
鉱さい	10	0	10														4	5	1	0											
がれき類	2	2	0	0														0	0	0	0										0
コンクリート片	0	0	0															0			0										0
廃アスファルト	0	0																													
その他	1	1	0	0															0	0											
ばいじん	44		0														0									43	43				
その他の産業廃棄物	5	4	1	0		0										0	0	0	0	0	0		0			0	0				0
感染性廃棄物	0		0	0																											
混合物等	5	4	1	0		0										0	0	0	0	0	0		0			0	0				0

表1-9　委託最終処分量（業種別・種類別：変換）＜平成22年度＞

（単位：千ｔ/年）

種類＼業種	合計	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	一般機器	電気機器	情報通信機器	電子部品	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	ガス業	上水道業	下水道業	その他の業種
合計	139	28	33	1	1	1	3	0	2	0	0	0	0	0		4	4	9	1	2	0	0	2	0	0	72	63	0	1	8	6
燃え殻	32	0	6	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		25	19	0	0	6	0
汚泥	19	3	11	1	0	1			1		0		0			4	0	3	0	1	0		1	0		3	0		1	2	2
有機性汚泥	5	0	2	1	0	0			1		0		0							0			0			2				2	0
無機性汚泥	14	2	9			0					0					4	0	3	0	1	0		0	0		1	0		1		2
廃油	0		0	0													0			0			0								
一般廃油	0		0	0																0			0								
廃溶剤	0		0																	0											
その他	0		0														0			0			0								
廃酸	0		0								0					0	0	0	0	0			0								
廃アルカリ	1		1							0						0	0		0	0			1								
廃プラスチック類	5	2	2	0	0	0	0	0		0	0		0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			2
廃プラスチック	4	2	2	0	0	0	0	0		0	0		0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			1
廃タイヤ	1																														1
紙くず	0	0																													
木くず	5	5	0					0												0			0	0							0
繊維くず	0	0	0			0																									
動植物性残さ	0		0	0																											
動物系固形不要物																															
ゴムくず	0	0	0			0																									0
金属くず	2	1	0			0	0				0			0				0		0			0			0	0			0	1
ガラス陶磁器くず	9	7	1		1	0		0			0					0		0	0	0		0	0	0		0	0	0			0
鉱さい	10	0	10								0						4	5	1	0			0	0		0	0				
がれき類	4	4	0	0								0						0	0	0	0										0
コンクリート片	1	1	0															0			0										0
廃アスファルト	2	2	0															0													
その他	2	2	0	0								0							0	0											
ばいじん	44		0														0									43	43				
その他の産業廃棄物	8	6	1	0	1	0							0			0	0	0	0	0	0		0			0	0				0
感染性廃棄物	0		0	0																											
混合物等	8	6	1	0	1	0							0			0	0	0	0	0	0		0			0	0				0

表1-10　最終処分量（業種別・種類別：変換）＜平成22年度＞

（単位：千ｔ/年）

業種 / 種類	合計	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	一般機器	電気機器	情報通信機器	電子部品	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	ガス業	上水道業	下水道業	その他の業種
合計	271	28	151	1	1	1	3	0	2	0	3	0	0	0		4	4	124	1	2	0	0	2	0	0	86	77	0	1	8	6
燃え殻	32	0	6	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		25	19	0	0	6	0
汚泥	22	3	14	1	0	1			1		3		0			4	0	3	0	1	0		1	0		3	0		1	2	2
有機性汚泥	5	0	2	1	0	0			1		0		0							0			0			2				2	0
無機性汚泥	17	2	12			0					3					4	0	3	0	1	0		0	0		1	0		1		2
廃油	0		0	0													0			0			0								
一般廃油	0		0	0																0			0								
廃溶剤	0		0																	0											
その他	0		0														0			0			0								
廃酸	0		0								0					0	0	0	0	0			0								
廃アルカリ	1		1							0						0	0		0	0			1								
廃プラスチック類	5	2	2	0	0	0	0	0		0	0		0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			2
廃プラスチック	4	2	2	0	0	0	0	0		0	0		0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			1
廃タイヤ	1																														1
紙くず	0	0																													
木くず	5	5	0					0												0			0	0							0
繊維くず	0	0	0			0																									
動植物性残さ	0		0	0																											
動物系固形不要物																															
ゴムくず	0	0	0			0																									0
金属くず	2	1	0			0	0				0			0				0		0			0			0	0			0	1
ガラス陶磁器くず	9	7	1		1	0		0			0					0		0	0	0		0	0	0		0	0	0			0
鉱さい	125	0	125								0						4	121	1	0			0	0		0	0				
がれき類	4	4	0	0								0						0	0	0	0										0
コンクリート片	1	1	0															0			0										0
廃アスファルト	2	2	0															0													
その他	2	2	0	0								0							0	0											
ばいじん	58		0														0									58	58				
その他の産業廃棄物	8	6	1	0	1	0							0			0	0	0	0	0	0		0			0	0				0
感染性廃棄物	0		0	0																											
混合物等	8	6	1	0	1	0							0			0	0	0	0	0	0		0			0	0				0

表1-11　再生利用量（業種別・種類別：変換）＜平成22年度＞

（単位：千ｔ/年）

種類＼業種	合計	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	一般機器	電気機器	情報通信機器	電子部品	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	ガス業	上水道業	下水道業	その他の業種
合計	686	372	97	3	3	0	22	0	30	0	0	0	1			12	4	1	1	4	0	3	8	4		207	196	0	7	5	10
燃え殻	25	0	13	0					13		0	0				0			0	0		0	0	0		12	12				0
汚泥	18	8	4	0					1		0	0				1			0	0		0	2	0		6	0		2	5	0
有機性汚泥	5	0	0	0							0												0			5			0	5	0
無機性汚泥	13	8	4						1			0				1			0	0		0	2	0		2	0		2		0
廃油	5	0	3	0					0		0	0					0	0		1		1	1	0							2
一般廃油	4	0	2	0					0		0	0					0	0		1		1	0	0							2
廃溶剤	1		1														0	0				0	1								
その他	0		0																				0	0							0
廃酸	1		1							0							0		0	0		0	0								0
廃アルカリ	2		2							0									0	0		2	0			0			0		0
廃プラスチック類	14	1	8	0		0	0	0			0		1			0	0	0	0	2		0	3	0							5
廃プラスチック	9	1	8	0		0	0	0			0		1			0	0	0	0	2		0	3	0							1
廃タイヤ	4	0	0								0																				4
紙くず	0	0																													0
木くず	56	33	23	0			22				0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0			0
繊維くず	0	0	0			0																									
動植物性残さ	4		4	2	2																										
動物系固形不要物	0		0	0	0																										
ゴムくず	0		0														0														
金属くず	11	3	6	0		0	0			0	0	0					0	0	0	1	0	0	1	4		0	0	0			2
ガラス陶磁器くず	7	1	7		0						0					5				0		0	1	0		0	0				0
鉱さい	5		5													0	4		1				0								
がれき類	334	325	4													4										5			5		0
コンクリート片	180	176	4													4										0			0		0
廃アスファルト	154	149																								5			5		0
その他	1	1																													
ばいじん	201		17						17																	184	184				
その他の産業廃棄物	3	1	1	0					0		0					1				0	0	0	0	0							0
感染性廃棄物																															
混合物等	3	1	1	0					0		0					1				0	0	0	0	0							0

表1-12　資源化量（業種別・種類別：変換）＜平成22年度＞

（単位：千ｔ/年）

業種 / 種類	合計	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	一般機器	電気機器	情報通信機器	電子部品	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	ガス業	上水道業	下水道業	その他の業種
合計	803	375	112	3	3	0	22	0	33	0	1	0	1			12	4	1	3	5	0	3	11	10		300	288	0	7	5	16
燃え殻	25	0	13	0					13		0	0				0			0	0		0	0	0		12	12				0
汚泥	91	8	4	0					1		0	0				1			0	0		0	2	0		79	73		2	5	0
有機性汚泥	5	0	0	0							0												0			5			0	5	0
無機性汚泥	86	8	4						1			0				1			0	0		0	2	0		75	73		2		0
廃油	11	0	4	0					0		0	0				0	0	0		1		1	2	0		0	0				7
一般廃油	10	0	2	0					0		0	0				0	0	0		1		1	0	0		0	0				7
廃溶剤	2		2														0	0		0		0	2								
その他	0		0																				0	0							0
廃酸	1		1							0							0		0	0		0	0								0
廃アルカリ	2		2							0									0	0		2	0			0			0		0
廃プラスチック類	14	1	8	0		0	0	0			0		1			0	0	0	0	2		0	3	0							5
廃プラスチック	10	1	8	0		0	0	0			0		1			0	0	0	0	2		0	3	0							1
廃タイヤ	4	0	0								0																				4
紙くず	0	0																													0
木くず	56	33	23	0			22				0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0			0
繊維くず	0	0	0			0																									
動植物性残さ	4		4	2	2																										
動物系固形不要物	0		0	0	0																										
ゴムくず	0		0														0														
金属くず	25	4	19	0		0	0		3	0	0	0				0	0	1	1	1	0	0	2	9		0	0	0			2
ガラス陶磁器くず	7	1	7		0						0					5				0		0	1	0		0	0				0
鉱さい	5		5													0	4		1				0								
がれき類	337	327	4													4										5			5		0
コンクリート片	181	177	4													4										0			0		0
廃アスファルト	155	150																								5			5		0
その他	1	1																													
ばいじん	221		17						17																	204	204				
その他の産業廃棄物	3	1	1	0					0		0					1				0	0	0	0	0							0
感染性廃棄物																															
混合物等	3	1	1	0					0		0					1				0	0	0	0	0							0

表1-13　排出量（秋田市　業種別・種類別）＜平成22年度＞

（単位：千ｔ/年）

業種 / 種類	合計	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	一般機器	電気機器	情報通信機器	電子部品	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	ガス業	上水道業	下水道業	その他の業種
合計	767	122	394	8	4	0	66		271	0	6					5	7	3	4	0		8	12	0		235	1	0	29	205	16
燃え殻	4		4		0		1		3							0															0
汚泥	532	4	287	7	4	0			250		6					0		3	1			6	9			235	1	0	29	205	6
有機性汚泥	473	0	264	7	4				249		0											1	3			205				205	4
無機性汚泥	59	4	23			0			1		5					0		3	1			5	7			30	1	0	29		2
廃油	3	0	1	0					0	0	0						0	0	0	0		1	0	0							2
一般廃油	3	0	1	0					0	0	0						0	0	0	0		1	0	0							2
廃溶剤	0		0								0						0					0	0								0
その他	0	0	0							0									0				0								0
廃酸	2		2							0	0					0	0		1			0	1								0
廃アルカリ	1		1							0	0					0	0		0			0	0								0
廃プラスチック類	6	1	1	0		0			0	0	0					0	0	0	0	0		0	0			0	0	0			4
廃プラスチック	3	1	1	0		0			0	0	0					0	0	0	0	0		0	0			0	0	0			1
廃タイヤ	3	0	0								0																				3
紙くず	1	0	0						0																						0
木くず	78	12	66				65				0					0	0	0	0	0			0	0		0		0			0
繊維くず	0	0	0			0																									
動植物性残さ	0		0	0	0																										
動物系固形不要物	0		0	0																											
ゴムくず	0	0	0			0											0														0
金属くず	4	1	1	0		0	0			0	0						0		0	0		0	0			0	0	0			2
ガラス陶磁器くず	8	2	5		0						0					4		0	0			0	0			0	0	0			0
鉱さい	9	0	9								0					0	7		2				0								
がれき類	100	100																													0
コンクリート片	54	54																													0
廃アスファルト	45	45																													
その他	1	1																													
ばいじん	17		17						17																	0	0				
その他の産業廃棄物	4	2	0						0	0	0					0			0	0		0	0	0							1
感染性廃棄物	0		0						0		0												0								0
混合物等	3	2	0						0	0	0					0			0	0		0	0	0							1

表1-14　排出量（県北地域　業種別・種類別）＜平成22年度＞

（単位：千ｔ/年）

業種 / 種類	合計	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	一般機器	電気機器	情報通信機器	電子部品	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	ガス業	上水道業	下水道業	その他の業種
合計	600	94	155	2		1	7	1	2		2		3	0		7	1	122	0	4	0		1			347	272		6	69	4
燃え殻	32		1				0		1																	31	31			0	0
汚泥	89	3	11	2		1		0	2		1		0			5		0	0	0	0		0			75	0		6	69	0
有機性汚泥	75	0	6	2		1			2		1		0							0						69				69	0
無機性汚泥	15	3	5					0			0					5		0	0		0		0			6	0		6		0
廃油	1	0	1	0		0	0	0			0		0	0			0	0	0	0	0		0			0	0			0	1
一般廃油	1	0	1	0				0			0		0	0			0	0	0	0	0		0			0	0			0	0
廃溶剤	0		0				0				0												0								
その他	0	0	0			0		0										0		0											0
廃酸	0		0								0							0	0												0
廃アルカリ	1		1								0							0	0				0								0
廃プラスチック類	10	1	8	0		0	0	0			0		3	0			0	0	0	4	0		0			0	0			0	1
廃プラスチック	9	1	8	0		0	0	0			0		3	0			0	0	0	4	0		0			0	0			0	1
廃タイヤ	1	0																													1
紙くず	0	0																													0
木くず	18	9	8	0			7	1										0		0			0								0
繊維くず	0	0	0			0																									
動植物性残さ	1		1	1																											
動物系固形不要物	0		0	0																											
ゴムくず	0	0																													
金属くず	2	1	0	0		0	0				0			0				0		0			0			0	0			0	1
ガラス陶磁器くず	2	2	0			0		0			0					0		0		0			0			0	0			0	0
鉱さい	122	0	122														1	121								0	0				
がれき類	78	76	2													2		0		0											0
コンクリート片	43	41	2													2		0													0
廃アスファルト	35	35	0															0													
その他	1	1	0																	0											
ばいじん	241		0														0									241	241				
その他の産業廃棄物	3	1	0								0		0			0	0	0		0			0								1
感染性廃棄物	1		0								0									0											1
混合物等	2	1	0										0			0	0	0					0								0

表1-15　排出量（県央地域　業種別・種類別）＜平成22年度＞

（単位：千ｔ/年）

業種 / 種類	合計	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	一般機器	電気機器	情報通信機器	電子部品	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	ガス業	上水道業	下水道業	その他の業種
合計	160	77	46	2	3	1	11	0				0	0			9	1		1	3	0	0	14	0		34	0		1	33	2
燃え殻	1		1				1																								
汚泥	49	2	12	2	0							0	0			5	0		1	1		0	4	0		34			1	33	0
有機性汚泥	35	0	2	2	0															0			0			33			0	33	0
無機性汚泥	14	2	10									0	0			5	0		1	1		0	4	0		1			1		0
廃油	6	0	6	0			0					0	0				0		0	1	0	0	4	0							0
一般廃油	4	0	4	0								0	0				0		0	1	0	0	3	0							0
廃溶剤	2		2														0		0	0		0	2								0
その他	0	0	0				0										0		0	0			0								0
廃酸	1		1									0					0		0	0			0	0		0			0		0
廃アルカリ	2		2										0				0		0	0	0	0	2	0		0			0		0
廃プラスチック類	5	1	4	0		0	0	0				0	0				0		0	0		0	3	0							1
廃プラスチック	4	1	4	0		0	0	0				0	0				0		0	0		0	3	0							0
廃タイヤ	1	0																													1
紙くず	0	0																													
木くず	18	8	10				10	0					0			0			0	0		0	0	0							0
繊維くず	0	0	0			0																									
動植物性残さ	2		2	0	2																										
動物系固形不要物																															
ゴムくず	0	0																													0
金属くず	2	1	1	0		0	0					0					0		0	0		0	1								0
ガラス陶磁器くず	4	2	3	0	1							0				2			0	0		0	0	0		0	0				0
鉱さい	0	0	0																				0								
がれき類	66	63	2									0				2			0							0			0		0
コンクリート片	36	34	2													2										0			0		0
廃アスファルト	29	29																								0			0		
その他	0	0	0									0							0												
ばいじん																															
その他の産業廃棄物	3	1	1	0	1	0							0							0	0	0	0								1
感染性廃棄物	0																														0
混合物等	2	1	1	0	1	0							0							0	0	0	0								0

表1-16　排出量（県南地方　業種別・種類別）＜平成22年度＞

（単位：千ｔ/年）

業種 / 種類	合計	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	一般機器	電気機器	情報通信機器	電子部品	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	ガス業	上水道業	下水道業	その他の業種
合計	215	114	20	4	0	0		1		0								0	0	3	1	3	2	6	0	76	0		6	70	5
燃え殻	0		0																	0											
汚泥	82	4	6	2	0			0		0								0	0	1	1	0	0	1		71	0		1	70	2
有機性汚泥	73	0	3	2	0																	0	0			70				70	0
無機性汚泥	9	3	3					0		0								0	0	1	1	0	0	1		1	0		1		2
廃油	2	0	2															0	0	0	0	0	0	1							1
一般廃油	2	0	1															0	0	0	0	0	0	0							1
廃溶剤	0		0															0		0		0	0								
その他	1	0	1																	0				1							0
廃酸	0		0							0								0	0	0		0	0								0
廃アルカリ	2		2							0								0		0		2	0	0							0
廃プラスチック類	4	1	2	0	0			0		0								0	0	0	0	0	1	0	0	0	0				1
廃プラスチック	3	1	2	0	0			0		0								0	0	0	0	0	1	0	0	0	0				1
廃タイヤ	1	0																													1
紙くず	0	0																													
木くず	12	11	1					0											0	0	0	0	0	0		0	0				0
繊維くず	0	0	0			0																									
動植物性残さ	1		1	1																											
動物系固形不要物	0		0		0																										
ゴムくず	0	0																													
金属くず	6	1	4	0														0		0	0	0	0	4		0	0				0
ガラス陶磁器くず	3	2	1		0															0		0	0	0							0
鉱さい	0	0	0																	0				0							
がれき類	98	93	0	0															0		0					5			5		0
コンクリート片	50	50	0																		0					0			0		0
廃アスファルト	47	42																								5			5		0
その他	1	1	0	0															0												
ばいじん																															
その他の産業廃棄物	3	2	0	0																0	0	0	0	0		0	0				1
感染性廃棄物	0		0	0																				0							0
混合物等	2	2	0	0																0	0	0	0	0		0	0				0

表2-1　発生量及び処理・処分状況（全業種　種類別：変換　）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	県内	県外
						（自己中間処理後の処理内訳）						（自己未処理の処理内訳）							（処理先地域の内訳）	
合計	1859	117	1742	834	109	48	3	45	13	0	907	10	130	665	102	0	957	132	132	
燃え殻	37		37		12	0	0	10	2	0	37			15	22		49	0	0	
汚泥	824	73	752	713	40	3	3	26	9	0	39	0	0	31	7	0	76	3	3	
有機性汚泥	655		655	644	29	0		25	4		11			10	1		39			
無機性汚泥	170	73	97	69	11	3	3	1	5	0	28	0	0	21	6	0	36	3	3	
廃油	20	6	13	1	0	0		0			12	0		12	0	0	12			
一般廃油	16	6	10	0	0	0		0			10	0		10		0	10			
廃溶剤	2	1	2								2			2			2			
その他	1		1	1	0			0			0			0	0		0			
廃酸	4		4	0	0				0		3			3			3			
廃アルカリ	7	0	6	0	0			0	0		6			6	0	0	6			
廃プラスチック類	26	1	25	0	0	0		0	0		25			22	3	0	25			
廃プラスチック	20	0	20	0	0	0		0	0		20			17	3		20			
廃タイヤ	5	0	5	0	0			0			5			5		0	5			
紙くず	1	0	1	0	0	0					1			1	0		1			
木くず	125	0	125	75	13	9		2	2		51	9		40	2		46			
繊維くず	1	0	1								1			1	0		1			
動植物性残さ	5	0	4	1	1	0		1			4	1		3	0		4			
動物系固形不要物	0		0								0			0			0			
ゴムくず	0		0								0			0	0		0			
金属くず	27	14	13	0	0	0		0	0		13	0		12	0		13			
ガラス陶磁器くず	17	0	17	4	4	4			0		13			6	7		13			
鉱さい	131	0	131								131		115	5	10		131	115	115	
がれき類	344	2	342	40	39	33		6			301			299	2	0	308			
コンクリート片	184	1	183	20	19	15		4			163			162	0		166			
廃アスファルト	158	1	156	20	20	18		2			136			136	0	0	139			
その他	2		2								2			1	1		2			
ばいじん	279	20	259								259		14	201	44		259	14	14	
その他の産業廃棄物	11	0	11	0	0			0	0		11			6	5	0	11			
感染性廃棄物	2		2	0	0			0			2			2	0		2			
混合物等	10	0	10	0	0				0		9			5	5	0	9			

表2-1　発生量表2-1　発生量及び処理・処分状況（全業種　種類別：変換　）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	825	115	94	21	115	0	710	690	19	458	252	651	627	24	686	271	132	25	114	0	803
燃え殻	49	24	15	10	24		25	25		0	25	32	25	7	25	32	0	13	18	0	25
汚泥	73	16	12	4	15	0	57	39	18	54	3	18	15	3	18	22	3	4	15	0	91
有機性汚泥	39	4	2	3	4	0	35	17	18	34	1	5	4	0	5	5		3	2		5
無機性汚泥	33	11	10	1	11	0	22	22		20	2	13	10	3	13	17	3	1	13	0	86
廃油	12	0	0		0		12	12	0	9	3	5	5	0	5	0			0	0	11
一般廃油	10						10	10	0	8	2	4	4	0	4	0			0	0	10
廃溶剤	2						2	2		1	0	1	1	0	1	0			0		2
その他	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃酸	3	0		0	0		3	3		3	1	1	1	0	1	0		0	0		1
廃アルカリ	6	0	0	0	0		6	6	0	4	2	2	2	0	2	1		0	1	0	2
廃プラスチック類	25	3	2	1	3		22	22	0	14	8	16	13	2	14	5		1	4	0	14
廃プラスチック	20	3	2	1	3		17	17	0	9	8	11	9	2	9	4		1	4		10
廃タイヤ	5						5	5	0	5		5	4	1	4	1			1	0	4
紙くず	1	0	0	0	0		1	1		1	0	0	0	0	0	0		0	0		0
木くず	46	4	3	1	4		42	42	0	42	0	39	38	1	56	5		1	4		56
繊維くず	1	0	0	0	0		1	1	0	1		0	0	0	0	0		0	0		0
動植物性残さ	4	0	0		0		4	4		3	1	3	3		4	0			0		4
動物系固形不要物	0						0	0		0	0	0	0		0						0
ゴムくず	0	0	0	0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
金属くず	13	0	0	0	0		12	12	0	11	1	12	10	2	11	2		0	2		25
ガラス陶磁器くず	13	7	3	4	7		6	6	0	6	1	5	3	2	7	9		4	5		7
鉱さい	15	10	10	0	10		5	5		0	5	5	5	0	5	125	115	0	10		5
がれき類	307	2	1	0	2		305	305	0	304	1	304	302	2	334	4		0	4	0	337
コンクリート片	166	0	0	0	0		166	166	0	166	0	165	165	0	180	1		0	0		181
廃アスファルト	138	0	0	0	0		138	138		137	1	138	136	2	154	2		0	2	0	155
その他	2	1	1	0	1		1	1		1	0	1	1	0	1	2		0	1		1
ばいじん	244	44	44		44		201	201		0	201	201	201	0	201	58	14		44		221
その他の産業廃棄物	11	5	4	1	5	0	6	6	0	6	0	5	3	3	3	8		1	7	0	3
感染性廃棄物	2	0	0		0		2	2	0	2						0			0		
混合物等	9	5	4	1	5	0	5	4	0	5	0	5	3	3	3	8		1	7	0	3

表2-2　発生量及び処理・処分状況（建設業　種類別：変換）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	県内	県外
					（自己中間処理後の処理内訳）						（自己未処理の処理内訳）							（処理先地域の内訳）		
合計	410	4	407	43	41	35		5	2		364	0		346	18	0	371			
燃え殻																				
汚泥	13		13	1	1	1					12			10	2		12			
有機性汚泥	0		0								0			0	0		0			
無機性汚泥	12		12	1	1	1					12			10	2		12			
廃油	0		0								0			0			0			
一般廃油	0		0								0			0			0			
廃溶剤																				
その他	0		0								0			0			0			
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	3		3	0	0	0			0		3			1	1		3			
廃プラスチック	3		3	0	0	0			0		3			1	1		3			
廃タイヤ	0		0								0			0			0			
紙くず	0	0	0	0	0	0					0			0	0		0			
木くず	40	0	40	4	4	1		1	2		37	0		35	2		39			
繊維くず	0		0								0			0	0		0			
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0		0								0				0		0			
金属くず	5	1	4								4			4	0		4			
ガラス陶磁器くず	8		8	0	0	0			0		8			2	6		8			
鉱さい	0		0								0				0		0			
がれき類	335	2	332	39	37	33		4			294			292	2	0	298			
コンクリート片	179	1	178	19	17	15		2			160			159	0		162			
廃アスファルト	153	1	152	20	20	18		2			132			131	0	0	134			
その他	2		2								2			1	1		2			
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	6		6								6			2	4		6			
感染性廃棄物																				
混合物等	6		6								6			2	4		6			

表2-2　発生量表2-2　発生量及び処理・処分状況（建設業　種類別：変換）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	371	20	12	7	20	0	351	351		349	2	346	337	9	372	28		7	21	0	375
燃え殻												0	0	0	0	0			0		0
汚泥	12	2	1	1	2		10	10		10		8	7	1	8	3		1	2		8
有機性汚泥	0	0	0	0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
無機性汚泥	12	2	1	0	2		10	10		10		8	7	1	8	2		0	2		8
廃油	0						0	0		0		0	0		0						0
一般廃油	0						0	0		0		0	0		0						0
廃溶剤																					
その他	0						0	0		0											
廃酸																					
廃アルカリ																					
廃プラスチック類	3	1	1	1	1		1	1		1	0	1	1	0	1	2		1	1		1
廃プラスチック	3	1	1	1	1		1	1		1	0	1	1	0	1	2		1	1		1
廃タイヤ	0						0	0		0		0	0		0						0
紙くず	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
木くず	39	4	3	1	4		35	35		35	0	33	31	1	33	5		1	4		33
繊維くず	0	0	0	0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0	0		0	0											0		0			
金属くず	4	0	0	0	0		4	4		3	0	4	3	1	3	1		0	1		4
ガラス陶磁器くず	8	6	3	4	6		2	2		2	0	2	1	1	1	7		4	4		1
鉱さい	0	0		0	0											0		0			
がれき類	298	2	1	0	2		296	296		295	1	295	293	2	325	4		0	4	0	327
コンクリート片	162	0	0	0	0		162	162		162	0	161	161	0	176	1		0	0		177
廃アスファルト	134	0	0	0	0		134	134		132	1	133	131	2	149	2		0	2	0	150
その他	2	1	1	0	1		1	1		1	0	1	1	0	1	2		0	1		1
ばいじん																					
その他の産業廃棄物	6	4	3	1	4	0	2	2		2	0	3	1	2	1	6		1	5		1
感染性廃棄物																					
混合物等	6	4	3	1	4	0	2	2		2	0	3	1	2	1	6		1	5		1

表2-3　発生量及び処理・処分状況（製造業　種類別：変換）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	県内	県外
					（自己中間処理後の処理内訳）						（自己未処理の処理内訳）							（処理先地域の内訳）		
合計	629	14	615	381	38	12	3	15	8		234	10	115	88	20		249	118	118	
燃え殻	6		6		12	0	0	10	2		6			3	3		17	0	0	
汚泥	315		315	303	11	1	3	1	6		13			9	4		23	3	3	
有機性汚泥	274		274	272	2			0	2		2			2	0		4			
無機性汚泥	42		42	31	8	1	3	1	4		11			7	4		19	3	3	
廃油	10	1	9	1	0	0		0			9	0		9	0		9			
一般廃油	7	0	7	0	0	0					7	0		7			7			
廃溶剤	2	1	2								2			2			2			
その他	1		1	1	0			0			0			0	0		0			
廃酸	3		3	0	0				0		3			3			3			
廃アルカリ	6		6	0	0				0		6			6	0		6			
廃プラスチック類	15	0	15	0	0			0	0		15			14	1		15			
廃プラスチック	15	0	15	0	0			0	0		15			14	1		15			
廃タイヤ	0		0								0			0			0			
紙くず	0		0								0			0			0			
木くず	85	0	85	71	9	8		2			14	9		5	0		7			
繊維くず	1	0	1								1			1	0		1			
動植物性残さ	5	0	4	1	1	0		1			4	1		3	0		4			
動物系固形不要物	0		0								0			0			0			
ゴムくず	0		0								0			0	0		0			
金属くず	19	12	6	0	0			0	0		6	0		6	0		6			
ガラス陶磁器くず	9	0	9	4	4	4					5			4	1		5			
鉱さい	131	0	131								131		115	5	10		131	115	115	
がれき類	4		4	2	2			2			2			2	0		4			
コンクリート片	4		4	2	2			2			2			2	0		4			
廃アスファルト	0		0								0			0			0			
その他	0		0								0			0	0		0			
ばいじん	17		17								17			17	0		17			
その他の産業廃棄物	1	0	1								1			1	1		1			
感染性廃棄物	0		0								0			0	0		0			
混合物等	1	0	1								1			1	1		1			

表2-3　発生量表2-3　発生量及び処理・処分状況（製造業　種類別：変換）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	131	28	26	3	28	0	103	102	0	49	54	80	75	5	97	151	118	3	31		112
燃え殻	17	4	4	0	4		13	13			13	14	13	1	13	6	0	0	5		13
汚泥	20	11	9	2	10	0	10	10		7	2	4	3	1	4	14	3	2	10		4
有機性汚泥	4	2	1	1	2	0	2	2		2	0	1	0	0	0	2		1	2		0
無機性汚泥	16	8	7	1	8	0	8	8		5	2	4	3	1	4	12	3	1	8		4
廃油	9	0	0		0		9	9		6	3	3	3	0	3	0			0		4
一般廃油	7						7	7		4	2	2	2	0	2	0			0		2
廃溶剤	2						2	2		1	0	1	1	0	1	0			0		2
その他	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃酸	3	0		0	0		3	3		2	1	1	1	0	1	0		0	0		1
廃アルカリ	6	0	0	0	0		6	6		4	2	2	2	0	2	1		0	1		2
廃プラスチック類	15	1	1	0	1		14	14	0	5	8	8	8	1	8	2		0	2		8
廃プラスチック	15	1	1	0	1		14	14	0	5	8	8	8	1	8	2		0	2		8
廃タイヤ	0						0	0		0		0	0		0						0
紙くず	0						0	0		0											
木くず	7	0	0		0		7	7		7	0	6	6	0	23	0			0		23
繊維くず	1	0	0	0	0		1	1	0	1		0	0		0	0		0	0		0
動植物性残さ	4	0	0		0		4	4		3	1	3	3		4	0			0		4
動物系固形不要物	0						0	0		0	0	0	0		0						0
ゴムくず	0	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0			0		0
金属くず	6	0	0	0	0		6	6	0	5	1	6	6	0	6	0		0	0		19
ガラス陶磁器くず	5	1	0	0	1		4	4		4	1	3	3	1	7	1		0	1		7
鉱さい	15	10	10	0	10		5	5		0	5	5	5	0	5	125	115	0	10		5
がれき類	4	0	0	0	0		4	4		4		4	4	0	4	0		0	0		4
コンクリート片	4	0	0		0		4	4		4		4	4		4	0			0		4
廃アスファルト	0						0	0		0		0		0		0			0		
その他	0	0	0	0	0		0	0		0		0		0		0		0	0		
ばいじん	17	0	0		0		17	17			17	17	17		17	0			0		17
その他の産業廃棄物	1	1	1	0	1		1	1		1	0	2	1	1	1	1		0	1		1
感染性廃棄物	0	0	0		0		0	0		0						0			0		
混合物等	1	1	1	0	1		1	1		1	0	2	1	1	1	1		0	1		1

表2-4　発生量及び処理・処分状況（電気・水道業　種類別：変換）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後の処理内訳 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	自己未処理の処理内訳 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	処理先地域の内訳 県外
合計	785	93	692	406	30	2		25	3	0	286	0	14	209	63		314	14	14	
燃え殻	31		31		1				1		31			12	19		32			
汚泥	488	73	415	406	29	2		25	2	0	9	0		8	1		36			
有機性汚泥	377		377	369	27	0		25	2		8			8	0		34			
無機性汚泥	111	73	38	37	2	1		0	0	0	1	0		0	0		1			
廃油	0	0	0								0			0			0			
一般廃油	0	0	0								0			0			0			
廃溶剤																				
その他																				
廃酸	0		0								0			0			0			
廃アルカリ	0		0								0			0			0			
廃プラスチック類	0		0								0			0	0		0			
廃プラスチック	0		0								0			0	0		0			
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	0		0								0			0			0			
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0	0	0								0			0	0		0			
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0	0		0			
鉱さい	0		0								0			0			0			
がれき類	5		5								5			5			5			
コンクリート片	0		0								0			0			0			
廃アスファルト	5		5								5			5			5			
その他																				
ばいじん	261	20	241								241		14	184	43		241	14	14	
その他の産業廃棄物	0		0								0				0		0			
感染性廃棄物																				
混合物等	0		0								0				0		0			

表2-4　発生量表2-4　発生量及び処理・処分状況（電気・水道業　種類別：変換）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	299	66	55	11	66		233	215	18	37	197	211	205	6	207	86	14	15	57	0	300
燃え殻	32	20	10	9	20		12	12		0	12	17	12	6	12	25		13	12		12
汚泥	35	3	1	2	3		33	14	18	32	1	4	4	0	6	3		2	1	0	79
有機性汚泥	34	2		2	2		33	14	18	32	1	4	4	0	5	2		2	0		5
無機性汚泥	1	1	1	0	1		0	0		0	0	0	0	0	2	1		0	1	0	75
廃油	0						0	0		0											0
一般廃油	0						0	0		0											0
廃溶剤																					
その他																					
廃酸	0						0	0			0										
廃アルカリ	0						0	0			0	0	0		0						0
廃プラスチック類	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0		
廃プラスチック	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0		
廃タイヤ																					
紙くず																					
木くず	0						0	0		0		0	0		0						0
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
ガラス陶磁器くず	0	0		0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
鉱さい	0						0	0		0		0		0		0			0		
がれき類	5						5	5		5		5	5		5						5
コンクリート片	0						0	0		0		0	0		0						0
廃アスファルト	5						5	5		5		5	5		5						5
その他																					
ばいじん	227	43	43		43		184	184		0	184	184	184	0	184	58	14		43		204
その他の産業廃棄物	0	0	0		0											0			0		
感染性廃棄物																					
混合物等	0	0	0		0											0			0		

表2-5　発生量及び処理・処分状況（その他の業種　種類別：変換）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後の処理内訳 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	自己未処理の処理内訳 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	県外
合計	34	6	28	4	0	0	0	0	0	0	23	0	0	22	1	0	24	0	0	
燃え殻	0		0		0	0		0	0	0	0			0	0		0			
汚泥	9	0	9	4	0		0	0		0	5		0	5	0	0	5	0	0	
有機性汚泥	4		4	4	0			0			0			0	0		0			
無機性汚泥	5	0	5	0	0		0	0		0	5		0	4	0	0	5	0	0	
廃油	9	6	4	0	0	0		0			3	0		3		0	3			
一般廃油	9	6	3	0	0	0		0			3	0		3		0	3			
廃溶剤	0		0								0			0			0			
その他	0		0								0			0			0			
廃酸	0		0								0			0			0			
廃アルカリ	0	0	0	0	0			0			0			0		0	0			
廃プラスチック類	8	0	8	0	0			0			8			7	0	0	8			
廃プラスチック	2	0	2	0	0			0			2			2	0		2			
廃タイヤ	5	0	5	0	0			0			5			5		0	5			
紙くず	0		0								0			0			0			
木くず	0		0								0			0	0		0			
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0		0								0			0			0			
金属くず	3	0	3	0	0	0					3	0		3	0		3			
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0	0		0			
鉱さい																				
がれき類	0		0								0			0	0		0			
コンクリート片	0		0								0			0	0		0			
廃アスファルト	0		0								0			0			0			
その他																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	4	0	4	0	0			0	0		3			3	0	0	3			
感染性廃棄物	2		2	0	0			0			2			2			2			
混合物等	2	0	2	0	0				0		2			2	0	0	2			

表2-5　発生量表2-5　発生量及び処理・処分状況（その他の業種　種類別：変換）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	24	1	1	0	1		22	22	1	22	0	14	10	5	10	6	0	0	6	0	16
燃え殻	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0	0	0
汚泥	5	0	0	0	0		5	5		5	0	2	0	2	0	2	0	0	2	0	0
有機性汚泥	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
無機性汚泥	5	0	0	0	0		4	4		4	0	2	0	2	0	2	0	0	2	0	0
廃油	3						3	3	0	3		2	2		2					0	7
一般廃油	3						3	3	0	3		2	2		2					0	7
廃溶剤	0						0	0		0											
その他	0						0	0	0	0		0	0		0						0
廃酸	0						0	0		0		0	0		0						0
廃アルカリ	0						0	0	0	0		0	0		0					0	0
廃プラスチック類	8	0	0		0		7	7	0	7		6	5	1	5	2			2	0	5
廃プラスチック	2	0	0		0		2	2	0	2		1	1	0	1	1			1		1
廃タイヤ	5						5	5	0	5		5	4	1	4	1			1	0	4
紙くず	0						0	0		0		0	0		0						0
木くず	0	0	0		0		0	0	0	0		0	0	0	0	0			0		0
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0						0	0		0		0		0		0			0		
金属くず	3	0	0		0		3	3	0	3	0	3	2	1	2	1			1		2
ガラス陶磁器くず	0	0	0		0		0	0	0	0		0	0	0	0	0			0		0
鉱さい																					
がれき類	0	0	0		0		0	0	0	0		0	0	0	0	0			0		0
コンクリート片	0	0	0		0		0	0	0	0		0	0	0	0	0			0		0
廃アスファルト	0						0	0		0		0	0		0						0
その他																					
ばいじん																					
その他の産業廃棄物	3	0	0		0		3	3	0	3		1	0	0	0	0			0	0	0
感染性廃棄物	2						2	2	0	2											
混合物等	2	0	0		0		2	1	0	2		1	0	0	0	0			0	0	0

表3-1　発生量及び処理・処分状況（全業種　種類別：無変換）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	県内	県外
						（自己中間処理後の処理内訳）						（自己未処理の処理内訳）							（処理先地域の内訳）	
合計	1859	117	1742	834	109	48	3	45	13	0	907	10	130	665	102	0	957	132	132	
燃え殻	37		37								37			15	22		37			
汚泥	824	73	752	713	51	3	3	36	9	0	39	0	0	31	7	0	86	3	3	
有機性汚泥	655		655	644	40	0		35	4		11			10	1		50			
無機性汚泥	170	73	97	69	11	3	3	1	5	0	28	0	0	21	6	0	36	3	3	
廃油	20	6	13	1	0	0		0		0	12	0		12	0	0	12			
一般廃油	16	6	10	0	0	0		0		0	10	0		10		0	10			
廃溶剤	2	1	2								2			2			2			
その他	1		1	1	0			0			0			0	0		0			
廃酸	4		4	0	0				0		3			3			3			
廃アルカリ	7	0	6	0	0			0	0	0	6			6	0	0	6			
廃プラスチック類	26	1	25	0	0	0		0	0		25			22	3	0	25			
廃プラスチック	20	0	20	0	0	0		0	0		20			17	3		20			
廃タイヤ	5	0	5	0	0			0			5			5		0	5			
紙くず	1	0	1	0	0	0					1			1	0		1			
木くず	125	0	125	75	15	9	0	2	3		51	9		40	2		48	0	0	
繊維くず	1	0	1								1			1	0		1			
動植物性残さ	5	0	5	1	1	0		1			4	1		3	0		4			
動物系固形不要物	0		0								0			0			0			
ゴムくず	0		0								0			0	0		0			
金属くず	27	14	13	0	0	0		0	0		13	0		12	0		13			
ガラス陶磁器くず	17	0	17	4	4	4			0		13			6	7		13			
鉱さい	131	0	131								131		115	5	10		131	115	115	
がれき類	344	2	342	40	39	33		6			301			299	2	0	308			
コンクリート片	184	1	183	20	19	15		4			163			162	0		166			
廃アスファルト	158	1	156	20	20	18		2			136			136	0	0	139			
その他	2		2								2			1	1		2			
ばいじん	279	20	259								259		14	201	44		259	14	14	
その他の産業廃棄物	11	0	11	0	0			0	0		11			6	5	0	11			
感染性廃棄物	2		2	0	0			0			2			2	0		2			
混合物等	9	0	9	0	0				0		9			4	5	0	9			

表3-1　発生量表3-1　発生量及び処理・処分状況（全業種　種類別：無変換）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分	委託処理量						委託中間処理量								再生利用量	最終処分量				その他量	資源化量
		委託直接最終処分量										委託中間処理後量									
			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（委託処理後の処理内訳）				処理主体の内訳				
			業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量			事業者	自治体	処理業者		
種類	(K) (O+L)	(O)					(L)					(M)	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)
合計	825	115	94	21	115	0	710	690	19	458	252	651	627	24	686	271	132	25	114	0	803
燃え殻	37	22	13	9	22		15	15		0	15	15	15	0	15	22		9	13		15
汚泥	83	16	12	5	16	0	67	49	18	54	13	34	25	9	28	28	3	8	17	0	101
有機性汚泥	50	5	2	3	5	0	45	27	18	34	11	20	14	6	15	11		7	4		15
無機性汚泥	33	11	10	1	11	0	22	22		20	2	13	10	3	13	17	3	1	13	0	86
廃油	12	0	0		0		12	12	0	9	3	5	5	0	5	0			0	0	11
一般廃油	10						10	10	0	8	2	4	4	0	4	0			0	0	10
廃溶剤	2						2	2		1	0	1	1	0	1	0			0		2
その他	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃酸	3	0		0	0		3	3		3	1	1	1	0	1	0		0	0		1
廃アルカリ	6	0	0	0	0		6	6	0	4	2	2	2	0	2	1		0	1	0	2
廃プラスチック類	25	3	2	1	3		22	22	0	14	8	16	14	3	14	6		1	5	0	14
廃プラスチック	20	3	2	1	3		17	17	0	9	8	11	9	2	9	5		1	4		10
廃タイヤ	5						5	5	0	5		5	4	1	4	1			1	0	4
紙くず	1	0	0	0	0		1	1		1	0	0	0	0	0	0		0	0		0
木くず	48	5	4	1	5		42	42	0	42	0	39	38	1	56	7	0	1	5		56
繊維くず	1	0	0	0	0		1	1	0	1		0	0	0	0	0		0	0		0
動植物性残さ	4	0	0		0		4	4		3	1	3	3	0	4	0			0		5
動物系固形不要物	0						0	0			0	0	0	0	0	0			0		0
ゴムくず	0	0	0	0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
金属くず	13	0	0	0	0		12	12	0	11	1	12	10	2	11	2		0	2		25
ガラス陶磁器くず	13	7	3	4	7		6	6	0	6	1	6	4	2	8	9		4	5		8
鉱さい	15	10	10	0	10		5	5		0	5	5	5	0	5	125	115	0	10		5
がれき類	307	2	1	0	2		305	305	0	304	1	305	303	2	336	4		0	4	0	338
コンクリート片	166	0	0	0	0		166	166	0	166	0	166	166	0	181	1		0	0		182
廃アスファルト	138	0	0	0	0		138	138		137	1	138	136	2	154	2		0	2	0	155
その他	2	1	1	0	1		1	1		1	0	1	1	0	1	2		0	1		1
ばいじん	244	44	44		44		201	201		0	201	201	201	0	201	58	14		44		221
その他の産業廃棄物	11	5	4	1	5	0	6	6	0	6	0	4	1	3	1	8		1	7	0	1
感染性廃棄物	2	0	0		0		2	2	0	2		0	0	0	0	0		0	0		0
混合物等	9	5	4	1	5	0	4	4	0	4	0	4	1	3	1	8		1	7	0	1

表3-2　発生量及び処理・処分状況（建設業　種類別：無変換）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	県内	県外
						（自己中間処理後の処理内訳）						（自己未処理の処理内訳）							（処理先地域の内訳）	
合計	410	4	407	43	41	35		5	2		364	0		346	18	0	371			
燃え殻																				
汚泥	13		13	1	1	1					12			10	2		12			
有機性汚泥	0		0								0			0	0		0			
無機性汚泥	12		12	1	1	1					12			10	2		12			
廃油	0		0								0			0			0			
一般廃油	0		0								0			0			0			
廃溶剤																				
その他	0		0								0			0			0			
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	3		3	0	0	0			0		3			1	1		3			
廃プラスチック	3		3	0	0	0			0		3			1	1		3			
廃タイヤ	0		0								0			0			0			
紙くず	0	0	0	0	0	0					0			0	0		0			
木くず	40	0	40	4	4	1		1	2		37	0		35	2		39			
繊維くず	0		0								0			0	0		0			
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0		0								0				0		0			
金属くず	5	1	4								4			4	0		4			
ガラス陶磁器くず	8		8	0	0	0			0		8			2	6		8			
鉱さい	0		0								0				0		0			
がれき類	335	2	332	39	37	33		4			294			292	2	0	298			
コンクリート片	179	1	178	19	17	15		2			160			159	0		162			
廃アスファルト	153	1	152	20	20	18		2			132			131	0	0	134			
その他	2		2								2			1	1		2			
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	6		6								6			2	4		6			
感染性廃棄物																				
混合物等	6		6								6			2	4		6			

表3-2　発生量表3-2　発生量及び処理・処分状況（建設業　種類別：無変換）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	371	20	12	7	20	0	351	351		349	2	346	337	9	372	28		7	21	0	375
燃え殻																					
汚泥	12	2	1	1	2		10	10		10		8	7	1	8	3		1	2		8
有機性汚泥	0	0	0	0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
無機性汚泥	12	2	1	0	2		10	10		10		8	7	1	8	2		0	2		8
廃油	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
一般廃油	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
廃溶剤																					
その他	0						0	0		0		0		0		0			0		
廃酸																					
廃アルカリ																					
廃プラスチック類	3	1	1	1	1		1	1		1	0	1	1	0	1	2		1	1		1
廃プラスチック	3	1	1	1	1		1	1		1	0	1	1	0	1	2		1	1		1
廃タイヤ	0						0	0		0		0	0		0						0
紙くず	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
木くず	39	4	3	1	4		35	35		35	0	33	32	1	33	5		1	4		33
繊維くず	0	0	0	0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0	0		0	0											0		0			
金属くず	4	0	0	0	0		4	4		3	0	4	3	1	3	1		0	1		4
ガラス陶磁器くず	8	6	3	4	6		2	2		2	0	2	1	1	1	7		4	4		1
鉱さい	0	0		0	0											0		0			
がれき類	298	2	1	0	2		296	296		295	1	296	294	2	327	4		0	4	0	329
コンクリート片	162	0	0	0	0		162	162		162	0	162	162	0	176	1		0	0		177
廃アスファルト	134	0	0	0	0		134	134		132	1	134	132	2	149	2		0	2	0	150
その他	2	1	1	0	1		1	1		1	0	1	1	0	1	2		0	1		1
ばいじん																					
その他の産業廃棄物	6	4	3	1	4	0	2	2		2	0	2	0	2	0	6		1	5		0
感染性廃棄物																					
混合物等	6	4	3	1	4	0	2	2		2	0	2	0	2	0	6		1	5		0

表3-3　発生量及び処理・処分状況（製造業　種類別：無変換）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後の処理内訳 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	自己未処理の処理内訳 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	県外
合計	629	14	615	381	38	12	3	15	8		234	10	115	88	20		249	118	118	
燃え殻	6		6								6			3	3		6			
汚泥	315		315	303	21	1	3	11	6		13			9	4		33	3	3	
有機性汚泥	274		274	272	12			10	2		2			2	0		14			
無機性汚泥	42		42	31	8	1	3	1	4		11			7	4		19	3	3	
廃油	10	1	9	1	0	0		0			9	0		9	0		9			
一般廃油	7	0	7	0	0	0					7	0		7			7			
廃溶剤	2	1	2								2			2			2			
その他	1		1	1	0			0			0			0	0		0			
廃酸	3		3	0	0				0		3			3			3			
廃アルカリ	6		6	0	0				0		6			6	0		6			
廃プラスチック類	15	0	15	0	0			0	0		15			14	1		15			
廃プラスチック	15	0	15	0	0			0	0		15			14	1		15			
廃タイヤ	0		0								0			0			0			
紙くず	0		0								0			0			0			
木くず	85	0	85	71	11	8	0	2	2		14	9		5	0		8	0	0	
繊維くず	1	0	1								1			1	0		1			
動植物性残さ	5	0	5	1	1	0		1			4	1		3	0		4			
動物系固形不要物	0		0								0			0			0			
ゴムくず	0		0								0			0	0		0			
金属くず	19	12	6	0	0			0	0		6	0		6	0		6			
ガラス陶磁器くず	9	0	9	4	4	4					5			4	1		5			
鉱さい	131	0	131								131		115	5	10		131	115	115	
がれき類	4		4	2	2			2			2			2	0		4			
コンクリート片	4		4	2	2			2			2			2	0		4			
廃アスファルト	0		0								0			0			0			
その他	0		0								0			0	0		0			
ばいじん	17		17								17			17	0		17			
その他の産業廃棄物	1	0	1								1			1	1		1			
感染性廃棄物	0		0								0			0	0		0			
混合物等	1	0	1								1			1	1		1			

表3-3　発生量表3-3　発生量及び処理・処分状況（製造業　種類別：無変換）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	131	28	26	3	28	0	103	102	0	49	54	80	75	5	97	151	118	3	31		112
燃え殻	6	3	3	0	3		3	3			3	3	3		3	3		0	3		3
汚泥	30	11	9	2	11	0	20	20		7	12	15	13	1	14	15	3	2	10		14
有機性汚泥	14	2	2	1	2	0	12	12		2	10	11	10	0	10	3		1	2		10
無機性汚泥	16	8	7	1	8	0	8	8		5	2	4	3	1	4	12	3	1	8		4
廃油	9	0	0		0		9	9		6	3	3	3	0	3	0			0		4
一般廃油	7						7	7		4	2	2	2	0	2	0			0		2
廃溶剤	2						2	2		1	0	1	1	0	1	0			0		2
その他	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃酸	3	0		0	0		3	3		2	1	1	1	0	1	0		0	0		1
廃アルカリ	6	0	0	0	0		6	6		4	2	2	2	0	2	1		0	1		2
廃プラスチック類	15	1	1	0	1		14	14	0	5	8	9	8	1	8	2		0	2		8
廃プラスチック	15	1	1	0	1		14	14	0	5	8	9	8	1	8	2		0	2		8
廃タイヤ	0						0	0		0		0	0		0						0
紙くず	0						0	0		0		0		0		0			0		
木くず	8	2	1	0	2		7	7		7	0	6	6	0	23	2	0	0	2		23
繊維くず	1	0	0	0	0		1	1	0	1		0	0	0	0	0		0	0		0
動植物性残さ	4	0	0		0		4	4		3	1	3	3	0	4	0			0		5
動物系固形不要物	0						0	0			0	0	0	0	0	0			0		0
ゴムくず	0	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0			0		0
金属くず	6	0	0	0	0		6	6	0	5	1	6	6	0	6	0		0	0		19
ガラス陶磁器くず	5	1	0	0	1		4	4		4	1	4	4	1	7	2		0	1		7
鉱さい	15	10	10	0	10		5	5		0	5	5	5	0	5	125	115	0	10		5
がれき類	4	0	0	0	0		4	4		4		4	4	0	4	0		0	0		4
コンクリート片	4	0	0		0		4	4		4		4	4		4	0			0		4
廃アスファルト	0						0	0		0		0		0		0			0		
その他	0	0	0	0	0		0	0		0		0		0		0		0	0		
ばいじん	17	0	0		0		17	17			17	17	17		17	0			0		17
その他の産業廃棄物	1	1	1	0	1		1	1		1	0	1	0	1	0	1		0	1		0
感染性廃棄物	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0		
混合物等	1	1	1	0	1		1	1		1	0	1	0	1	0	1		0	1		0

表3-4　発生量及び処理・処分状況（電気・水道業　種類別：無変換）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後の処理内訳 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	自己未処理の処理内訳 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	処理先地域の内訳 県外
合計	785	93	692	406	30	2		25	3	0	286	0	14	209	63		314	14	14	
燃え殻	31		31								31			12	19		31			
汚泥	488	73	415	406	30	2		25	3	0	9	0		8	1		36			
有機性汚泥	377		377	369	27	0		25	2		8			8	0		35			
無機性汚泥	111	73	38	37	2	1		0	0	0	1	0		0	0		1			
廃油	0	0	0								0			0			0			
一般廃油	0	0	0								0			0			0			
廃溶剤																				
その他																				
廃酸	0		0								0			0			0			
廃アルカリ	0		0								0			0			0			
廃プラスチック類	0		0								0			0	0		0			
廃プラスチック	0		0								0			0	0		0			
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	0		0								0			0			0			
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0	0	0								0			0	0		0			
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0	0		0			
鉱さい	0		0								0			0			0			
がれき類	5		5								5			5			5			
コンクリート片	0		0								0			0			0			
廃アスファルト	5		5								5			5			5			
その他																				
ばいじん	261	20	241								241		14	184	43		241	14	14	
その他の産業廃棄物	0		0								0				0		0			
感染性廃棄物																				
混合物等	0		0								0				0		0			

表3-4　発生量表3-4　発生量及び処理・処分状況（電気・水道業　種類別：無変換）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	299	66	55	11	66		233	215	18	37	197	211	205	6	207	86	14	15	57	0	300
燃え殻	31	19	10	9	19		12	12		0	12	12	12	0	12	19		9	10		12
汚泥	36	3	1	3	3		33	14	18	32	1	10	4	6	6	9		6	3	0	79
有機性汚泥	35	3		3	3		33	14	18	32	1	10	4	6	5	8		6	2		5
無機性汚泥	1	1	1	0	1		0	0		0	0	0	0	0	2	1		0	1	0	75
廃油	0						0	0		0		0		0		0			0		0
一般廃油	0						0	0		0		0		0		0			0		0
廃溶剤																					
その他																					
廃酸	0						0	0			0	0		0		0			0		
廃アルカリ	0						0	0			0	0	0		0						0
廃プラスチック類	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0		
廃プラスチック	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0		
廃タイヤ																					
紙くず																					
木くず	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
ガラス陶磁器くず	0	0		0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
鉱さい	0						0	0		0		0		0		0			0		
がれき類	5						5	5		5		5	5		5						5
コンクリート片	0						0	0		0		0	0		0						0
廃アスファルト	5						5	5		5		5	5		5						5
その他																					
ばいじん	227	43	43		43		184	184		0	184	184	184	0	184	58	14		43		204
その他の産業廃棄物	0	0	0		0											0			0		
感染性廃棄物																					
混合物等	0	0	0		0											0			0		

表3-5　発生量及び処理・処分状況（その他の業種　種類別：無変換）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後の処理内訳 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	自己未処理の処理内訳 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	県外
合計	34	6	28	4	0	0	0	0	0	0	23	0	0	22	1	0	24	0	0	
燃え殻	0		0								0			0	0		0			
汚泥	9	0	9	4	0		0	0	0	0	5		0	5	0	0	5	0	0	
有機性汚泥	4		4	4	0			0	0		0			0	0		0			
無機性汚泥	5	0	5	0	0		0	0		0	5		0	4	0	0	5	0	0	
廃油	9	6	4	0	0	0		0		0	3	0		3		0	3			
一般廃油	9	6	3	0	0	0		0		0	3	0		3		0	3			
廃溶剤	0		0								0			0			0			
その他	0		0								0			0			0			
廃酸	0		0								0			0			0			
廃アルカリ	0	0	0	0	0			0		0	0			0		0	0			
廃プラスチック類	8	0	8	0	0			0			8			7	0	0	8			
廃プラスチック	2	0	2	0	0			0			2			2	0		2			
廃タイヤ	5	0	5	0	0			0			5			5		0	5			
紙くず	0		0								0			0			0			
木くず	0		0								0			0	0		0			
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0		0								0			0			0			
金属くず	3	0	3	0	0	0					3	0		3	0		3			
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0	0		0			
鉱さい																				
がれき類	0		0								0			0	0		0			
コンクリート片	0		0								0			0	0		0			
廃アスファルト	0		0								0			0			0			
その他																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	4	0	4	0	0			0	0		3			3	0	0	3			
感染性廃棄物	2		2	0	0			0			2			2			2			
混合物等	2	0	2	0	0				0		2			2	0	0	2			

表3-5　発生量表3-5　発生量及び処理・処分状況（その他の業種　種類別：無変換）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	24	1	1	0	1		22	22	1	22	0	14	10	5	10	6	0	0	6	0	16
燃え殻	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0		
汚泥	5	0	0	0	0		5	5		5	0	2	0	1	0	2	0	0	2	0	0
有機性汚泥	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
無機性汚泥	5	0	0	0	0		4	4		4	0	2	0	1	0	2	0	0	2	0	0
廃油	3						3	3	0	3		2	2	0	2	0			0	0	8
一般廃油	3						3	3	0	3		2	2	0	2	0			0	0	8
廃溶剤	0						0	0		0											
その他	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0			0		0
廃酸	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
廃アルカリ	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0			0	0	0
廃プラスチック類	8	0	0		0		7	7	0	7		7	5	1	5	2		0	2	0	5
廃プラスチック	2	0	0		0		2	2	0	2		1	1	0	1	1		0	1		1
廃タイヤ	5						5	5	0	5		5	4	1	4	1			1	0	4
紙くず	0						0	0		0		0	0		0						0
木くず	0	0	0		0		0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0		0
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0						0	0		0		0		0		0			0		
金属くず	3	0	0		0		3	3	0	3	0	3	2	1	2	1			1		2
ガラス陶磁器くず	0	0	0		0		0	0	0	0		0	0	0	0	0			0		0
鉱さい																					
がれき類	0	0	0		0		0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0		0
コンクリート片	0	0	0		0		0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0		0
廃アスファルト	0						0	0		0		0	0		0						0
その他																					
ばいじん																					
その他の産業廃棄物	3	0	0		0		3	3	0	3		1	0	0	0	1		0	1	0	0
感染性廃棄物	2						2	2	0	2		0	0	0	0	0		0	0		0
混合物等	2	0	0		0		2	1	0	2		1	0	0	0	0		0	0	0	0

表4-1　発生量及び処理・処分状況（秋田市　種類別：変換）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後の処理内訳 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	自己未処理の処理内訳 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	処理先地域の内訳 県外
合計	773	6	767	600	54	18	3	29	4		168	0		153	15	0	203	3	3	
燃え殻	4		4		12			10	2		4			3	1		16			
汚泥	532	0	532	520	22	1	3	18	1		11			7	5		33	3	3	
有機性汚泥	473		473	472	18			17	0		1			0	0		18			
無機性汚泥	59	0	59	48	5	1	3	1	0		11			6	4		14	3	3	
廃油	4	1	3	0	0	0		0			3			3			3			
一般廃油	4	1	3	0	0	0		0			3			3			3			
廃溶剤	0	0	0								0			0			0			
その他	0		0								0			0			0			
廃酸	2		2								2			2			2			
廃アルカリ	1		1	0							1			1			1			
廃プラスチック類	6	0	6	0	0	0		0	0		6			5	1		6			
廃プラスチック	3	0	3	0	0	0		0	0		3			2	1		3			
廃タイヤ	3	0	3								3			3			3			
紙くず	1	0	1	0	0	0					1			1	0		1			
木くず	78	0	78	64	4	4		0	0		14	0		13	1		15			
繊維くず	0		0								0			0	0		0			
動植物性残さ	0	0	0								0	0		0	0		0			
動物系固形不要物	0		0								0			0			0			
ゴムくず	0		0								0			0	0		0			
金属くず	8	4	4	0	0			0			4			3	0		4			
ガラス陶磁器くず	8	0	8	4	4	4			0		4			2	2		4			
鉱さい	9	0	9								9			5	4		9			
がれき類	100	1	100	12	11	10		1			88			88	1	0	90			
コンクリート片	54	0	54	6	5	4		1			48			48	0		49			
廃アスファルト	46	0	45	6	6	5		1			39			39	0	0	40			
その他	1		1								1			0	0		1			
ばいじん	17		17								17			17			17			
その他の産業廃棄物	4		4								4			2	1	0	4			
感染性廃棄物	0		0								0			0			0			
混合物等	3		3								3			2	1	0	3			

表4-1　発生量表4-1　発生量及び処理・処分状況（秋田市　種類別：変換）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	201	19	15	4	19	0	182	168	14	144	38	160	151	9	169	30	3	7	21	0	175
燃え殻	16	3	2	1	3		13	13		0	13	16	13	4	13	7		4	3		13
汚泥	30	5	5	1	5		25	11	14	24	0	7	6	1	7	9	3	1	6		7
有機性汚泥	18	1	0	1	1		18	4	14	18	0	3	3	0	3	1		1	0		3
無機性汚泥	12	5	4	0	5		7	7		7	0	4	3	1	4	9	3	0	6		4
廃油	3						3	3	0	3	1	1	1	0	1	0			0		2
一般廃油	3						3	3	0	3	1	1	1	0	1	0			0		2
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0		0						0
その他	0						0	0	0	0		0	0		0						0
廃酸	2						2	2		2	0	0	0	0	0	0			0		0
廃アルカリ	1						1	1		1	0	0	0	0	0	0			0		0
廃プラスチック類	6	1	1	0	1		5	5	0	5	0	4	3	1	3	2		0	1		3
廃プラスチック	3	1	1	0	1		2	2	0	2	0	1	1	0	1	1		0	1		1
廃タイヤ	3						3	3	0	3		3	2	0	2	0			0		2
紙くず	1	0	0	0	0		1	1		1	0	0	0	0	0	0		0	0		0
木くず	15	1	1	0	1		13	13	0	13	0	12	12	0	16	1		0	1		16
繊維くず	0	0	0	0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
動植物性残さ	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0		0	0			0		0
動物系固形不要物	0						0	0			0										
ゴムくず	0	0	0	0	0		0	0		0		0	0		0	0		0	0		0
金属くず	4	0	0	0	0		4	3	0	3	0	4	3	1	3	1		0	1		7
ガラス陶磁器くず	4	2	1	1	2		2	2	0	1	1	2	1	0	5	3		1	1		5
鉱さい	9	4	4	0	4		5	5		0	5	5	5	0	5	4		0	4		5
がれき類	90	1	0	0	1		89	89		89	0	89	88	1	98	1		0	1	0	98
コンクリート片	49	0	0	0	0		49	49		49	0	48	48	0	53	0		0	0		53
廃アスファルト	40	0	0	0	0		40	40		40	0	40	39	1	45	1		0	1	0	45
その他	1	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
ばいじん	17						17	17		0	17	17	17	0	17	0			0		17
その他の産業廃棄物	4	1	1	0	1	0	2	2	0	2	0	1	1	1	1	2		0	2	0	1
感染性廃棄物	0						0	0	0	0											
混合物等	3	1	1	0	1	0	2	2	0	2	0	1	1	1	1	2		0	2	0	1

表4-2　発生量及び処理・処分状況（県北地域　種類別：変換）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後の処理内訳 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	自己未処理の処理内訳 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	県外
合計	694	95	600	105	26	14	0	9	4	0	495	0	130	290	75	0	508	130	130	
燃え殻	32		32		0	0		0	0		32			12	20		32			
汚泥	162	73	89	85	9	1	0	4	3	0	4		0	3	1	0	12	0	0	
有機性汚泥	75		75	74	7			4	3		1			1	0		8			
無機性汚泥	87	73	15	11	2	1	0	0	1	0	3		0	3	1	0	4	0	0	
廃油	1	0	1	0	0			0			1	0		1		0	1			
一般廃油	1	0	1	0	0			0			1	0		1		0	1			
廃溶剤	0		0								0			0			0			
その他	0		0								0			0			0			
廃酸	0		0								0			0			0			
廃アルカリ	1	0	1								1			1		0	1			
廃プラスチック類	10	0	10	0	0	0			0		10			9	1	0	10			
廃プラスチック	9		9	0	0	0			0		9			9	1		9			
廃タイヤ	1	0	1								1			1		0	1			
紙くず	0	0	0	0	0	0					0			0	0		0			
木くず	18	0	18	9	7	5		2	0		9	0		9	0		11			
繊維くず	0	0	0								0			0	0		0			
動植物性残さ	1		1	1	1	0		1									1			
動物系固形不要物	0		0								0			0			0			
ゴムくず	0		0								0				0		0			
金属くず	3	1	2								2			2	0		2			
ガラス陶磁器くず	2		2	0	0	0			0		2			0	2		2			
鉱さい	122		122								122		115	0	6		122	115	115	
がれき類	79	0	78	11	10	7		3			68			67	0	0	70			
コンクリート片	43	0	43	6	6	3		2			37			37	0		39			
廃アスファルト	35	0	35	5	5	4		0			30			30	0	0	31			
その他	1		1								1			0	0		1			
ばいじん	262	20	241								241		14	184	44		241	14	14	
その他の産業廃棄物	3	0	3	0	0				0		3			1	1		3			
感染性廃棄物	1		1								1			1			1			
混合物等	2	0	2	0	0				0		2			1	1		2			

表4-2　発生量表4-2　発生量及び処理・処分状況（県北地域　種類別：変換）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	378	79	67	12	79	0	299	296	3	96	203	287	283	5	296	213	130	13	71	0	391
燃え殻	32	20	11	9	20		12	12		0	12	13	12	1	12	21		9	12		12
汚泥	12	4	3	2	4		8	4	3	7	0	2	2	0	3	5	0	2	3	0	76
有機性汚泥	8	3	1	2	3		5	2	3	5		0	0	0	0	3		2	2		0
無機性汚泥	4	1	1	0	1		3	3		3	0	2	2	0	3	1	0	0	1	0	76
廃油	1						1	1	0	1	0	0	0		0					0	0
一般廃油	1						1	1	0	1	0	0	0		0					0	0
廃溶剤	0						0	0		0											
その他	0						0	0		0		0	0		0						0
廃酸	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃アルカリ	1						1	1	0	1		0	0	0	0	0			0	0	0
廃プラスチック類	10	1	0	0	1		9	9	0	3	6	5	5	1	5	1		0	1	0	5
廃プラスチック	9	1	0	0	1		9	9	0	2	6	5	4	1	4	1		0	1		4
廃タイヤ	1						1	1	0	1		1	1	0	1	0			0	0	1
紙くず	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
木くず	11	1	1	0	1		10	10		10	0	9	9	0	14	1		0	1		14
繊維くず	0	0	0	0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
動植物性残さ	1						1	1			1	1	1		1						1
動物系固形不要物	0						0	0			0	0	0		0						0
ゴムくず	0	0		0	0											0		0			
金属くず	2	0	0	0	0		2	2	0	1	0	2	1	1	1	1		0	1		2
ガラス陶磁器くず	2	2	1	1	2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		1	1		0
鉱さい	6	6	6	0	6		0	0		0		0		0		122	115	0	6		
がれき類	70	0	0	0	0		70	70		69	0	69	69	1	76	1		0	1	0	77
コンクリート片	39	0	0	0	0		39	39		39	0	39	39	0	42	0		0	0		42
廃アスファルト	31	0	0	0	0		31	31		30	0	31	30	0	34	0		0	0	0	35
その他	1	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
ばいじん	227	44	44		44		184	184			184	184	184		184	58	14		44		204
その他の産業廃棄物	3	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	2		0	2		0
感染性廃棄物	1						1	1		1											
混合物等	2	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	2		0	2		0

表4-3　発生量及び処理・処分状況（県央地域　種類別：変換）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	処理先地域の内訳 県外
					（自己中間処理後の処理内訳）						（自己未処理の処理内訳）									
合計	167	8	160	41	14	7		3	4	0	118	9	0	103	6	0	117	0	0	
燃え殻	1		1		0				0	0	1				1		1			
汚泥	49		49	33	6	0		2	3	0	16		0	15	1		22	0	0	
有機性汚泥	35		35	27	2			2			8			8	0		10			
無機性汚泥	14		14	6	4	0		0	3	0	8		0	7	0		11	0	0	
廃油	7	1	6	0	0	0					6	0		6	0		6			
一般廃油	5	0	4	0	0	0					4	0		4			4			
廃溶剤	2	1	2								2			2			2			
その他	0		0								0			0	0		0			
廃酸	1		1	0	0				0		1			1			1			
廃アルカリ	2	0	2	0	0			0	0		2			1	0		2			
廃プラスチック類	5	0	5	0	0	0		0	0		5			5	1		5			
廃プラスチック	4	0	4	0	0	0		0	0		4			4	1		4			
廃タイヤ	1		1	0	0			0			1			1			1			
紙くず	0	0	0	0	0	0					0			0	0		0			
木くず	18	0	18	1	1	0		0	0		17	9		8	0		9			
繊維くず	0		0								0			0	0		0			
動植物性残さ	2		2								2			2			2			
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0		0								0			0	0		0			
金属くず	9	6	2	0	0				0		2			2	0		2			
ガラス陶磁器くず	4	0	4	0	0	0			0		4			3	1		4			
鉱さい	0		0								0			0	0		0			
がれき類	66	0	66	7	7	6		1			58			58	0	0	59			
コンクリート片	37	0	36	4	3	3		0			33			33	0		33			
廃アスファルト	29	0	29	4	4	3		0			25			25	0	0	25			
その他	0		0								0			0	0		0			
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	3	0	3	0	0			0	0		3			2	1		3			
感染性廃棄物	0		0	0	0			0			0			0			0			
混合物等	2	0	2	0	0				0		2			1	1		2			

表4-3　発生量表4-3　発生量及び処理・処分状況（県央地域　種類別：変換）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	117	10	8	2	10	0	107	106	1	101	6	89	83	6	98	16	0	2	14	0	106
燃え殻	1	1	1	0	1							3	0	2	0	3		0	3	0	0
汚泥	22	4	4	0	4	0	18	17	1	16	2	4	4	1	4	5	0	0	5	0	4
有機性汚泥	10	0	0	0	0		10	9	1	10	0	0	0	0	0	0		0	0		0
無機性汚泥	11	4	4	0	4	0	7	7		6	1	4	3	1	4	4	0	0	4	0	4
廃油	6	0	0		0		6	6		5	1	3	2	0	2	0			0		3
一般廃油	4						4	4		3	1	2	1	0	2	0			0		2
廃溶剤	2						2	2		1	0	1	1	0	1	0			0		2
その他	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃酸	1	0		0	0		1	1		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
廃アルカリ	2	0	0	0	0		1	1	0	1	1	1	0	0	0	1		0	1		0
廃プラスチック類	5	1	0	0	1		5	5		3	1	3	3	0	3	1		0	1		3
廃プラスチック	4	1	0	0	1		4	4		2	1	3	3	0	3	1		0	1		3
廃タイヤ	1						1	1		1		1	1	0	1	0			0		1
紙くず	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
木くず	9	1	0	0	1		8	8		8	0	8	8	0	17	1		0	1		17
繊維くず	0	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0		0
動植物性残さ	2						2	2		2	0	2	2		2						2
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0	0		0	0		0	0		0		0		0		0		0	0		
金属くず	2	0	0	0	0		2	2	0	2	0	2	2	0	2	0		0	0		8
ガラス陶磁器くず	4	1	1	1	1		3	3		3	0	2	2	1	2	2		1	1		2
鉱さい	0	0		0	0		0	0			0	0	0		0	0		0			0
がれき類	59	0	0	0	0		59	59	0	59	0	59	58	0	64	1		0	1	0	65
コンクリート片	33	0	0	0	0		33	33	0	33	0	33	33	0	36	0		0	0		36
廃アスファルト	25	0	0	0	0		25	25		25	0	25	25	0	28	0		0	0	0	29
その他	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
ばいじん																					
その他の産業廃棄物	3	1	1	0	1	0	2	2	0	2	0	2	1	1	1	2		0	2		1
感染性廃棄物	0						0	0	0	0											
混合物等	2	1	1	0	1	0	1	1		1	0	2	1	1	1	2		0	2		1

表4-4　発生量及び処理・処分状況（県南地域　種類別：変換）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	県内	県外
						（自己中間処理後の処理内訳）						（自己未処理の処理内訳）							（処理先地域の内訳）	
合計	223	8	215	88	15	10	0	3	1	0	127	2	0	119	6	0	130	0	0	
燃え殻	0		0		0	0	0	0			0				0		0	0	0	
汚泥	82		82	75	3	1	0	1	1	0	7	0	0	6	1	0	9	0	0	
有機性汚泥	73		73	72	2	0		1	0		1			1	0		3			
無機性汚泥	9		9	3	1	0	0	0	1	0	6	0	0	5	1	0	6	0	0	
廃油	7	5	2	1	0			0			2	0		2	0		2			
一般廃油	7	5	2	0	0			0			2	0		2			2			
廃溶剤	0		0								0			0			0			
その他	1		1	1	0			0			0			0	0		0			
廃酸	0		0								0			0			0			
廃アルカリ	2		2	0							2			2			2			
廃プラスチック類	5	0	4	0	0	0		0	0		4			3	1		4			
廃プラスチック	4	0	3	0	0	0		0	0		3			2	1		3			
廃タイヤ	1	0	1	0	0			0			1			1			1			
紙くず	0	0	0	0	0	0					0			0	0		0			
木くず	12	0	12	1	1	0		0	0		11	0		10	1		11			
繊維くず	0	0	0								0			0	0		0			
動植物性残さ	1	0	1								1	1		1			1			
動物系固形不要物	0		0								0			0			0			
ゴムくず	0		0								0				0		0			
金属くず	8	2	6	0	0	0					6	0		5	0		5			
ガラス陶磁器くず	3	0	3	0	0	0			0		3			1	2		3			
鉱さい	0		0								0			0	0		0			
がれき類	99	1	98	11	10	9		1			87			87	1	0	89			
コンクリート片	50	0	50	5	5	4		1			45			45	0		46			
廃アスファルト	48	0	47	6	6	5		1			42			42	0	0	42			
その他	1		1								1			0	0		1			
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	3	0	3	0	0			0			2			1	1	0	2			
感染性廃棄物	0		0	0	0			0			0			0	0		0			
混合物等	2	0	2								2			1	1	0	2			

表4-4　発生量表4-4　発生量及び処理・処分状況（県南地域　種類別：変換）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	130	8	4	4	8	0	122	121	0	117	4	115	111	4	122	12	0	4	8	0	131
燃え殻	0	0		0	0		0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0		0
汚泥	9	2	1	1	2	0	7	7	0	6	1	4	3	1	4	3	0	1	2	0	4
有機性汚泥	3	1	0	1	1	0	2	2	0	1	1	1	1	0	1	1		1	0		1
無機性汚泥	6	1	0	1	1		5	5		5	0	3	2	1	3	2	0	1	1	0	3
廃油	2	0	0		0		2	2		1	1	1	1	0	1	0			0		6
一般廃油	2						2	2		1	1	1	1	0	1	0			0		6
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0		0						0
その他	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0		0	0			0		0
廃酸	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃アルカリ	2						2	2	0	2	1	2	2	0	2	0			0		2
廃プラスチック類	4	1	1	0	1		3	3	0	3	0	3	3	0	3	1		0	1		3
廃プラスチック	3	1	1	0	1		2	2	0	2	0	2	2	0	2	1		0	1		2
廃タイヤ	1						1	1		1		1	1	0	1	0			0		1
紙くず	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
木くず	11	1	1	0	1		10	10	0	10	0	9	9	0	9	1		0	1		9
繊維くず	0	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0		0
動植物性残さ	1						1	1		1		0	0		1						1
動物系固形不要物	0						0	0		0		0	0		0						0
ゴムくず	0	0		0	0											0		0			
金属くず	5	0	0	0	0		5	5		4	1	5	5	0	5	0		0	0		7
ガラス陶磁器くず	3	2	1	1	2		1	1		1	0	1	0	0	0	2		1	1		0
鉱さい	0	0	0	0	0		0	0		0		0		0		0		0	0		
がれき類	89	1	0	0	1		88	88		88	0	88	87	1	96	1		0	1	0	97
コンクリート片	46	0	0	0	0		46	46		46	0	45	45	0	49	0		0	0		50
廃アスファルト	42	0	0	0	0		42	42		42	0	42	41	1	46	1		0	1	0	47
その他	1	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
ばいじん																					
その他の産業廃棄物	2	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	2		0	2	0	1
感染性廃棄物	0	0	0		0		0	0		0						0			0		
混合物等	2	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	2		0	2	0	1

表5-1　発生量及び処理・処分状況（業種別）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 業種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後の処理内訳 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	自己未処理の処理内訳 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	県外
合計	1,859	117	1,742	834	109	48	3	45	13	0	907	10	130	665	102	0	957	132	132	
建設業	410	4	407	43	41	35		5	2		364	0		346	18	0	371			
製造業	629	14	615	381	38	12	3	15	8		234	10	115	88	20		249	118	118	
食料品	16	0	16	12	2	0		1	1		3	1		3	0		4			
飲料・飼料	8	0	8	4	0				0		4	0		4	0		4			
繊維	2	0	2	0	0				0		2			1	1		2			
木材・木製品	85	0	85	70	11	8		2	2		15	9		4	2		9			
家具・装備品	2		2	1	0		0	0	0		0			0	0		0	0	0	
パルプ・紙	276	3	273	251	11			10	1		22			21	1		33			
印刷	0		0								0			0	0		0			
化学	8	0	8	7	3		3	0	0		1			1	0		4	3	3	
石油製品	0		0	0	0	0					0			0			0			
プラスチック	3		3								3			3			3			
ゴム製品	0		0								0			0	0		0			
皮革																				
窯業・土石	21	0	21	15	9	4		2	3		6			6	0		11			
鉄鋼	9	0	9	1	0				0		9			4	4		9			
非鉄金属	126	0	126								126	0	115	1	9		126	115	115	
金属製品	6	1	5	1	0			0	0		4			3	1		4			
一般機械	11	1	10	2	0	0		0	0		9	0		8	1		9			
電気機械	1	0	1	1	0				0		0			0	0		1			
情報通信機械	11	0	11	6	1			1			5			5	0		5			
電子部品	30	2	28	9	0			0	0		18			18	1		19			
輸送機械	12	6	6	1	0			0	0		5			5	0		5			
その他	0		0								0				0		0			
電気・水道業	785	93	692	406	30	2		25	3	0	286	0	14	209	63		314	14	14	
電気業	366	93	273	1	0			0	0		273		14	196	63		273	14	14	
ガス業	0	0	0								0			0	0		0			
上水道業	42		42	37	2	1			0	0	6	0		5	0		6			
下水道業	377		377	369	27	0		25	2		8			8	0		35			
その他の業種	34	6	28	4	0	0	0	0	0	0	23	0	0	22	1	0	24	0	0	

表5-1　発生量表5-1　発生量及び処理・処分状況（業種別）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 業種	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	825	115	94	21	115	0	710	690	19	458	252	651	627	24	686	271	132	25	114	0	803
建設業	371	20	12	7	20	0	351	351		349	2	346	337	9	372	28		7	21	0	375
製造業	131	28	26	3	28	0	103	102	0	49	54	80	75	5	97	151	118	3	31		112
食料品	4	1	0	1	1		3	3		2	1	2	2	0	3	1		1	1		3
飲料・飼料	4	0	0	0	0	0	4	4		4		4	3	1	3	1		0	1		3
繊維	2	1	1	0	1		1	1	0	1		0	0	0	0	1		0	1		0
木材・木製品	9	3	3	0	3		6	6		6		6	6	0	22	3		0	3		22
家具・装備品	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
パルプ・紙	33	2	2		2		31	31		1	30	30	30	0	30	2			2		33
印刷	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
化学	2	0	0	0	0		2	2		1	0	1	0	0	0	3	3	0	0		1
石油製品	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
プラスチック	3						3	3		1	2	2	1	0	1	0			0		1
ゴム製品	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0		
皮革																					
窯業・土石	11	4	4		4		8	8		6	1	7	7	0	12	4			4		12
鉄鋼	9	4	4	0	4		4	4		0	4	4	4	0	4	4		0	4		4
非鉄金属	10	9	9		9		1	1		1	0	1	1	0	1	124	115		9		1
金属製品	4	1	1	0	1		3	3		2	1	2	1	0	1	1		0	1		3
一般機械	9	1	0	1	1		8	8		2	6	4	4	1	4	2		1	1		5
電気機械	1	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
情報通信機械	5	0	0	0	0		5	5		4	2	3	3	0	3	0		0	0		3
電子部品	19	1	1	0	1	0	18	18		14	4	9	8	1	8	2		0	2		11
輸送機械	5	0	0	0	0		5	5		4	1	4	4	0	4	0		0	0		10
その他	0	0		0	0											0		0			
電気・水道業	299	66	55	11	66		233	215	18	37	197	211	205	6	207	86	14	15	57	0	300
電気業	259	63	54	9	63		196	196		0	196	196	196	0	196	77	14	9	54		288
ガス業	0	0		0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
上水道業	6	1	0	0	1		5	5		5	0	5	5	0	7	1		0	0	0	7
下水道業	35	3		3	3		33	14	18	32	1	10	4	6	5	8		6	2		5
その他の業種	24	1	1	0	1		22	22	1	22	0	14	10	5	10	6	0	0	6	0	16

表5-2　発生量及び処理・処分状況（秋田市　業種別）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 業種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後の処理内訳 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	自己未処理の処理内訳 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	処理先地域の内訳 県外
合計	773	6	767	600	54	18	3	29	4		168	0		153	15	0	203	3	3	
建設業	123	1	122	13	12	10		2	1		109	0		104	5	0	111			
製造業	398	4	394	348	23	7	3	11	3		46	0		37	9		62	3	3	
食料品	8	0	8	7	0			0	0		1			1	0		1			
飲料・飼料	4	0	4	4	0				0		0	0		0	0		0			
繊維	0		0								0			0	0		0			
木材・木製品	66	0	66	63	5	3			2		3			2	1		5			
家具・装備品																				
パルプ・紙	273	3	271	249	10			10			21			21	0		31			
印刷	0		0								0			0			0			
化学	6	0	6	6	3		3	0	0		1			0	0		3	3	3	
石油製品																				
プラスチック																				
ゴム製品																				
皮革																				
窯業・土石	5	0	5	4	4	4					1			1	0		1			
鉄鋼	7		7								7			4	3		7			
非鉄金属	3		3								3			0	3		3			
金属製品	4	1	4	1	0			0	0		3			2	1		3			
一般機械	0		0								0			0			0			
電気機械																				
情報通信機械	8	0	8	6	1			1			2			2			3			
電子部品	12	0	12	9	0			0	0		3			2	0		3			
輸送機械	0		0								0			0			0			
その他																				
電気・水道業	236	0	235	235	18	1		17	1		0			0	0		18			
電気業	1		1	1	0			0	0		0			0			0			
ガス業	0	0	0								0			0	0		0			
上水道業	29		29	29	1	1														
下水道業	205		205	205	18			17	1		0			0	0		18			
その他の業種	16	1	16	4	0	0		0	0		12			12	1	0	12			

表5-2　発生量表5-2　発生量及び処理・処分状況（秋田市　業種別）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 業種	委託処理量 (K) (0+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	201	19	15	4	19	0	182	168	14	144	38	160	151	9	169	30	3	7	21	0	175
建設業	111	6	4	2	6	0	105	105		105	0	104	101	3	111	9		2	6	0	113
製造業	59	11	10	1	11		48	48		10	37	42	41	1	48	15	3	1	11		53
食料品	1	0	0	0	0		1	1		0	0	0	0	0	0	1		0	0		0
飲料・飼料	0	0		0	0		0	0		0		0	0		0	0		0			0
繊維	0	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0			0		0
木材・木製品	5	2	2	0	2		2	2		2		2	2		6	2		0	2		6
家具・装備品																					
パルプ・紙	31	0	0		0		31	31		1	30	30	30	0	30	0			0		33
印刷	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
化学	1	0	0	0	0		1	1		1	0	0	0	0	0	3	3	0	0		0
石油製品																					
プラスチック																					
ゴム製品																					
皮革																					
窯業・土石	1	0	0		0		1	1		0	1	1	1	0	5	0			0		5
鉄鋼	7	3	3		3		4	4		0	4	4	4	0	4	3			3		4
非鉄金属	3	3	3		3		0	0		0	0	0	0	0	0	3			3		0
金属製品	3	1	1	0	1		2	2		1	1	1	1	0	1	1		0	1		2
一般機械	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
電気機械																					
情報通信機械	3						3	3		1	1	1	1	0	1	0			0		1
電子部品	3	0	0	0	0		2	2		2	0	1	1	0	1	1		0	1		1
輸送機械	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
その他																					
電気・水道業	18	1	0	1	1		17	3	14	17	0	6	3	3	4	4		4	0		4
電気業	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
ガス業	0	0		0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
上水道業															1						1
下水道業	18	1		1	1		17	3	14	17		6	3	3	3	4		4	0		3
その他の業種	12	1	1		1		12	11	0	12	0	8	5	2	5	3		0	3	0	6

表5-3　発生量及び処理・処分状況（県北地域　業種別）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 業種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後の処理内訳 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	自己未処理の処理内訳 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	県外
合計	694	95	600	105	26	14	0	9	4	0	495	0	130	290	75	0	508	130	130	
建設業	94	1	94	10	10	8		1	0		84	0		79	4	0	85			
製造業	156	1	155	20	10	5		4	1		135		115	11	8		140	115	115	
食料品	2		2	2	1	0		1	0		0			0			1			
飲料・飼料																				
繊維	1	0	1	0	0				0		0			0	0		1			
木材・木製品	7		7	7	6	4		2	0		0			0	0		2			
家具・装備品	1		1	1	0			0	0		0			0	0		0			
パルプ・紙	2		2	2	1				1		1				1		1			
印刷																				
化学	2		2	1	0			0			1			1			1			
石油製品																				
プラスチック	3		3								3			3			3			
ゴム製品	0		0								0			0	0		0			
皮革																				
窯業・土石	7		7	7	2	1		2	0		0				0		2			
鉄鋼	1		1								1			0	1		1			
非鉄金属	122	0	122								122		115	1	6		122	115	115	
金属製品	0	0	0								0			0	0		0			
一般機械	5	0	4	0	0	0					4			4	0		4			
電気機械	0		0								0			0			0			
情報通信機械																				
電子部品	1	0	1								1			1			1			
輸送機械																				
その他																				
電気・水道業	440	93	347	74	7	1		4	2		273		14	196	63		279	14	14	
電気業	365	93	272								272		14	195	63		272	14	14	
ガス業																				
上水道業	6		6	6	1	1			0								0			
下水道業	69		69	69	6			4	2		0			0			6			
その他の業種	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	

表5-3　発生量表5-3　発生量及び処理・処分状況（県北地域　業種別）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 業種	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	378	79	67	12	79	0	299	296	3	96	203	287	283	5	296	213	130	13	71	0	391
建設業	85	5	3	2	5	0	81	81		80	0	80	78	2	85	7		2	5	0	86
製造業	24	10	10	0	10		15	15	0	7	7	9	8	1	13	126	115	0	11		14
食料品	1	0	0		0		1	1		0	1	1	1	0	1	0			0		1
飲料・飼料																					
繊維	1	0	0		0		0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0		0
木材・木製品	2	0	0		0		2	2		2		2	2	0	6	0			0		6
家具・装備品	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
パルプ・紙	1	1	1		1											1			1		
印刷																					
化学	1						1	1		1	0	0	0	0	0	0			0		0
石油製品																					
プラスチック	3						3	3		0	2	2	1	0	1	0			0		1
ゴム製品	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0		
皮革																					
窯業・土石	2	0	0		0		2	2		2		2	2		2	0			0		2
鉄鋼	1	1	1		1		0	0		0		0		0		1			1		
非鉄金属	7	6	6		6		1	1		1	0	1	1	0	1	121	115		6		1
金属製品	0	0	0		0		0	0		0	0	0		0		0			0		0
一般機械	4	0	0	0	0		4	4		0	4	2	2	0	2	0		0	0		2
電気機械	0						0	0		0		0		0		0			0		
情報通信機械																					
電子部品	1						1	1		1	0	0	0	0	0	0			0		0
輸送機械																					
その他																					
電気・水道業	264	65	54	10	65		200	197	3	4	195	196	195	1	196	80	14	11	55		289
電気業	258	63	54	9	63		195	195		0	195	195	195	0	195	77	14	9	54		288
ガス業																					
上水道業	0	0	0		0										1	0			0		1
下水道業	6	2		2	2		4	1	3	4		1	0	1	0	2		2	0		0
その他の業種	4	0	0		0		4	4	0	4		2	2	1	2	1	0	0	1	0	2

表5-4　発生量及び処理・処分状況（県央地域　業種別）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 業種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後の処理内訳 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	自己未処理の処理内訳 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	処理先地域の内訳 県外
合計	167	8	160	41	14	7		3	4	0	118	9	0	103	6	0	117	0	0	
建設業	78	1	77	8	8	7		1	0		69	0		66	3	0	70			
製造業	53	7	46	7	4	0		0	3		39	9		28	2		34			
食料品	2		2	2	0			0			0			0	0		1			
飲料・飼料	3		3								3			3	0		3			
繊維	1		1								1			0	0		1			
木材・木製品	11	0	11	0	0			0			11	9		2	1		3			
家具・装備品	0		0	0	0				0								0			
パルプ・紙																				
印刷																				
化学																				
石油製品	0		0	0	0	0					0			0			0			
プラスチック	0		0								0			0			0			
ゴム製品																				
皮革																				
窯業・土石	9	0	9	4	3				3		5			5			8			
鉄鋼	1	0	1	1	0				0		0			0			0			
非鉄金属																				
金属製品	1	0	1								1			1	0		1			
一般機械	3	0	3	1	0			0			2	0		2	0		2			
電気機械	0	0	0								0			0	0		0			
情報通信機械	0	0	0								0			0			0			
電子部品	15	1	14	0	0				0		14			13	1		14			
輸送機械	6	5	0								0			0	0		0			
その他																				
電気・水道業	34		34	26	2			2		0	8			8	0		10			
電気業	0		0								0			0			0			
ガス業																				
上水道業	1		1	1	0					0	0			0	0		0			
下水道業	33		33	25	2			2			8			8			10			
その他の業種	3	0	2	0	0			0	0	0	2		0	2	0		2	0	0	

表5-4　発生量表5-4　発生量及び処理・処分状況（県央地域　業種別）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 業種	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	117	10	8	2	10	0	107	106	1	101	6	89	83	6	98	16	0	2	14	0	106
建設業	70	4	2	1	4	0	67	67		66	0	66	64	2	71	5		1	4	0	71
製造業	34	6	6	0	6	0	28	28	0	22	6	20	18	2	26	8		0	8		33
食料品	1	0		0	0		1	1		0	0	1	0	0	0	0		0	0		0
飲料・飼料	3	0	0		0		3	3		3		3	2	1	2	1			1		2
繊維	1	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0		0
木材・木製品	3	1	1		1		2	2		2		1	1	0	10	1			1		10
家具・装備品	0	0		0	0											0		0			
パルプ・紙																					
印刷																					
化学																					
石油製品	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
プラスチック	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
ゴム製品																					
皮革																					
窯業・土石	8	3	3		3		5	5		5	0	5	5		5	3			3		5
鉄鋼	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
非鉄金属																					
金属製品	1	0	0	0	0		1	1		1	0	0	0	0	0	0		0	0		1
一般機械	2	0	0	0	0		2	2		1	1	2	1	0	1	0		0	0		2
電気機械	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0		0
情報通信機械	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
電子部品	14	1	1	0	1	0	13	13		10	3	7	6	1	6	1		0	1		8
輸送機械	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0	0			0		5
その他																					
電気・水道業	10	0	0		0		10	9	1	10	0	2	0	2	0	2		0	2	0	0
電気業	0						0	0		0		0	0		0						0
ガス業																					
上水道業	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0	0	0
下水道業	10						10	9	1	10		2		2		2		0	2		
その他の業種	2	0	0		0		2	2	0	2	0	1	1	1	1	1	0	0	1	0	1

表5-5　発生量及び処理・処分状況（県南地域　業種別）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 業種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後の処理内訳 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	自己未処理の処理内訳 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	県外
合計	223	8	215	88	15	10	0	3	1	0	127	2	0	119	6	0	130	0	0	
建設業	115	1	114	12	12	10		1	0		102	0		97	5	0	104			
製造業	22	2	20	5	1		0	0	1		15	1		12	1		14	0	0	
食料品	4	0	4	2	0				0		2	1		1	0		2			
飲料・飼料	0		0	0	0				0		0			0	0		0			
繊維	0	0	0								0			0			0			
木材・木製品																				
家具・装備品	1		1	0	0		0				0			0	0		0	0	0	
パルプ・紙																				
印刷	0		0								0			0	0		0			
化学																				
石油製品																				
プラスチック																				
ゴム製品																				
皮革																				
窯業・土石																				
鉄鋼																				
非鉄金属	1	0	0								0	0		0			0			
金属製品	0	0	0								0			0	0		0			
一般機械	3	0	3	1	0				0		2			2	0		2			
電気機械	1		1	1	0				0		0			0	0		0			
情報通信機械	3		3								3			3	0		3			
電子部品	2	1	2	0	0			0			1			1	0		1			
輸送機械	6	0	6	1	0			0	0		4			4	0		4			
その他	0		0								0				0		0			
電気・水道業	76		76	71	2	0		1	0		6	0		5	0		7			
電気業	0		0								0			0	0		0			
ガス業																				
上水道業	6		6	1	0				0		5	0		5			5			
下水道業	70		70	70	2	0		1	0		0			0			2			
その他の業種	10	5	5	0	0	0	0	0		0	5	0	0	4	0	0	5	0	0	

表5-5　発生量表5-5　発生量及び処理・処分状況（県南地域　業種別）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 業種	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	130	8	4	4	8	0	122	121	0	117	4	115	111	4	122	12	0	4	8	0	131
建設業	104	6	3	2	6	0	98	98		98	0	97	94	2	104	8		2	6	0	105
製造業	14	2	0	1	2	0	12	12	0	9	3	9	8	1	10	2	0	1	1		12
食料品	2	0	0	0	0		1	1		1		0	0	0	1	0		0	0		1
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0	0		0	0		0	0		0
繊維	0						0	0	0	0		0		0		0		0	0		0
木材・木製品																					
家具・装備品	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
パルプ・紙																					
印刷	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
化学																					
石油製品																					
プラスチック																					
ゴム製品																					
皮革																					
窯業・土石																					
鉄鋼																					
非鉄金属	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		1
金属製品	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0		0	0		0			0
一般機械	2	1	0	1	1		2	2		1	1	1	1	0	1	1		1	0		1
電気機械	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
情報通信機械	3	0	0	0	0		3	3		2	0	2	2	0	2	0		0	0		2
電子部品	1	0	0	0	0		1	1		1	0	1	1	0	1	0		0	0		2
輸送機械	4	0	0	0	0		4	4		3	1	4	4	0	4	0		0	0		4
その他	0	0		0	0											0		0			
電気・水道業	7	0	0	0	0		6	6	0	6	1	6	6	0	7	0		0	0		7
電気業	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0		
ガス業																					
上水道業	5	0		0	0		5	5		5		5	5	0	5	0		0	0		5
下水道業	2	0		0	0		1	1	0	0	1	1	1	0	1	0		0	0		1
その他の業種	5	0	0	0	0		5	4	0	5		3	2	1	2	1	0	0	1	0	7

表6-1　発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）＜平成24年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後の処理内訳 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	自己未処理の処理内訳 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	県外
合計	1861	120	1741	844	106	45	4	45	13	0	897	10	142	640	104	0	948	146	146	
燃え殻	38		38		13	0	0	10	2	0	38			15	22		50	0	0	
汚泥	843	75	768	729	42	3	4	26	9	0	38	0	0	31	7	0	77	4	4	
有機性汚泥	668		668	657	30	0		25	4		11			10	1		40			
無機性汚泥	175	75	100	72	12	3	4	1	5	0	27	0	0	21	6	0	37	4	4	
廃油	20	6	13	1	0	0		0			13	0		13	0	0	13			
一般廃油	17	6	11	0	0	0		0			11	0		11		0	11			
廃溶剤	2	1	2								2			2			2			
その他	1		1	1	0			0			0			0	0		0			
廃酸	4		4	0	0				0		4			4			4			
廃アルカリ	7	0	7	0	0			0	0		7			6	0	0	7			
廃プラスチック類	27	1	26	0	0	0		0	0		26			23	3	0	26			
廃プラスチック	22	0	21	0	0	0		0	0		21			18	3		21			
廃タイヤ	5	0	5	0	0			0			5			5		0	5			
紙くず	1	0	1	0	0	0					1			1	0		1			
木くず	120	0	119	72	12	9		2	1		47	9		37	2		42			
繊維くず	1	0	1								1			1	0		1			
動植物性残さ	4	0	4	1	1	0		1			3	1		2	0		3			
動物系固形不要物	0		0								0			0			0			
ゴムくず	0		0								0			0	0		0			
金属くず	27	14	13	0	0	0		0	0		13	1		12	0		12			
ガラス陶磁器くず	16	0	16	4	4	4			0		13			6	7		13			
鉱さい	145	0	145								145		127	6	11		145	127	127	
がれき類	311	2	309	37	35	29		6			273			271	2	0	278			
コンクリート片	166	1	166	19	17	13		4			147			147	0		151			
廃アスファルト	143	1	142	18	18	16		2			124			123	0	0	125			
その他	2		2								2			1	1		2			
ばいじん	287	21	266								266		15	207	45		266	15	15	
その他の産業廃棄物	11	0	11	0	0			0	0		11			6	5	0	11			
感染性廃棄物	2		2	0	0			0			2			2	0		2			
混合物等	9	0	9	0	0				0		9			4	5	0	9			

表6-1　発生量表6-1　発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）＜平成24年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分	委託処理量						委託中間処理量								再生利用量	最終処分量				その他量	資源化量
		委託直接最終処分量										委託中間処理後量									
			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（委託処理後の処理内訳）				処理主体の内訳				
			業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量			事業者	自治体	処理業者		
種類	(K) (O+L)	(O)					(L)					(M)	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)
合計	802	117	96	21	117	0	685	666	19	425	260	624	601	23	656	286	146	25	115	0	776
燃え殻	50	25	15	10	25		25	25		0	25	33	26	7	26	32	0	14	19	0	26
汚泥	73	16	12	4	16	0	57	38	18	53	4	18	14	3	18	23	4	4	15	0	93
有機性汚泥	40	4	2	3	4	0	35	17	18	34	1	5	5	0	5	5		3	2		5
無機性汚泥	33	11	10	1	11	0	21	21		19	2	13	10	3	13	18	4	1	13	0	88
廃油	13	0	0		0		13	13	0	10	3	5	5	0	5	0			0	0	12
一般廃油	11						11	10	0	8	3	4	4	0	4	0			0	0	10
廃溶剤	2						2	2		1	0	1	1	0	1	0			0		2
その他	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃酸	4	0		0	0		4	4		3	1	1	1	0	1	0		0	0		1
廃アルカリ	7	0	0	0	0		6	6	0	5	2	2	2	0	2	1		0	1	0	2
廃プラスチック類	26	3	2	1	3		23	23	0	14	9	16	14	2	14	5		1	5	0	14
廃プラスチック	21	3	2	1	3		18	18	0	9	9	12	10	2	10	4		1	4		10
廃タイヤ	5						5	5	0	5		5	4	1	4	1			1	0	4
紙くず	1	0	0	0	0		1	1		1	0	0	0	0	0	0		0	0		0
木くず	42	3	2	1	3		39	39	0	39	0	36	35	1	52	4		1	3		52
繊維くず	1	0	0	0	0		1	1	0	1		0	0	0	0	0		0	0		0
動植物性残さ	3	0	0		0		3	3		2	1	3	3		3	0			0		4
動物系固形不要物	0						0	0		0	0	0	0		0						0
ゴムくず	0	0	0	0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
金属くず	12	0	0	0	0		12	12	0	11	1	12	10	2	11	2		0	2		25
ガラス陶磁器くず	13	7	3	4	7		6	6	0	5	1	5	3	2	7	8		4	5		7
鉱さい	17	11	11	0	11		6	6		0	6	6	6	0	6	139	127	0	11		6
がれき類	278	2	1	0	2		277	277	0	275	1	275	273	2	303	4		0	3	0	305
コンクリート片	151	0	0	0	0		150	150	0	150	0	150	149	0	163	1		0	0		164
廃アスファルト	125	0	0	0	0		125	125		124	1	125	123	2	139	2		0	2	0	140
その他	2	1	1	0	1		1	1		1	0	1	1	0	1	1		0	1		1
ばいじん	252	45	45		45		207	207		0	206	207	206	0	206	60	15		45		227
その他の産業廃棄物	11	5	4	1	5	0	6	6	0	6	0	5	2	3	2	7		1	6	0	2
感染性廃棄物	2	0	0		0		2	2	0	2						0			0		
混合物等	9	5	4	1	5	0	4	4	0	4	0	5	2	3	2	7		1	6	0	2

表6-2　発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）＜平成25年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後の処理内訳 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	自己未処理の処理内訳 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	処理先地域の内訳 県外
合計	1845	121	1724	843	104	43	4	44	13	0	881	10	145	622	104	0	932	149	149	
燃え殻	38		38		12	0	0	10	2	0	38			15	23		50	0	0	
汚泥	847	76	771	734	42	3	4	26	9	0	38	0	0	30	7	0	77	4	4	
有機性汚泥	672		672	661	30	0		26	4		11			10	1		40			
無機性汚泥	175	76	99	72	12	2	4	1	5	0	27	0	0	20	6	0	36	4	4	
廃油	20	6	13	1	0	0		0			13	0		12	0	0	13			
一般廃油	17	6	11	0	0	0		0			11	0		10		0	10			
廃溶剤	2	1	2								2			2			2			
その他	1		1	1	0			0			0			0	0		0			
廃酸	4		4	0	0				0		4			4			4			
廃アルカリ	7	0	7	0	0			0	0		7			6	0	0	7			
廃プラスチック類	27	1	26	0	0	0		0	0		26			23	3	0	26			
廃プラスチック	22	0	21	0	0	0		0	0		21			18	3		21			
廃タイヤ	5	0	5	0	0			0			5			5		0	5			
紙くず	1	0	1	0	0	0					1			1	0		1			
木くず	114	0	114	69	12	8		2	1		44	8		34	2		39			
繊維くず	1	0	1								1			1	0		1			
動植物性残さ	4	0	4	1	1	0		1			3	1		2	0		3			
動物系固形不要物	0		0								0			0			0			
ゴムくず	0		0								0			0	0		0			
金属くず	27	14	13	0	0	0		0	0		13	1		12	0		12			
ガラス陶磁器くず	16	0	16	4	4	4			0		12			6	6		12			
鉱さい	147	0	147								147		130	6	11		147	130	130	
がれき類	291	2	289	34	33	27		5			255			253	2	0	261			
コンクリート片	156	1	155	17	16	13		4			138			137	0		141			
廃アスファルト	133	1	132	17	17	15		2			116			115	0	0	117			
その他	2		2								2			1	1		2			
ばいじん	290	21	269								269		15	208	46		269	15	15	
その他の産業廃棄物	11	0	11	0	0			0	0		11			6	4	0	11			
感染性廃棄物	2		2	0	0			0			2			2	0		2			
混合物等	9	0	9	0	0				0		8			4	4	0	8			

表6-2　発生量表6-2　発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）＜平成25年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分	委託処理量						委託中間処理量								再生利用量	最終処分量				その他量	資源化量
		委託直接最終処分量										委託中間処理後量									
			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（委託処理後の処理内訳）				処理主体の内訳				
			業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量			事業者	自治体	処理業者		
種類	(K) (O+L)	(O)					(L)					(M)	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)
合計	783	117	96	21	117	0	666	647	19	404	263	606	583	23	636	288	149	25	115	0	756
燃え殻	50	25	15	10	25		25	25		0	25	33	26	8	26	32	0	14	19	0	26
汚泥	72	16	12	4	16	0	56	38	18	53	4	17	14	3	17	23	4	4	15	0	93
有機性汚泥	40	4	2	3	4	0	36	17	18	34	1	5	5	0	5	5		3	2		5
無機性汚泥	32	11	10	1	11	0	21	21		18	2	12	9	3	12	18	4	1	13	0	88
廃油	13	0	0		0		13	12	0	10	3	5	5	0	5	0			0	0	11
一般廃油	10						10	10	0	8	3	4	4	0	4	0			0	0	10
廃溶剤	2						2	2		1	0	1	1	0	1	0			0		2
その他	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃酸	4	0		0	0		4	4		3	1	1	1	0	1	0		0	0		1
廃アルカリ	7	0	0	0	0		6	6	0	5	2	2	2	0	2	1		0	1	0	2
廃プラスチック類	26	3	2	1	3		23	23	0	14	9	16	14	2	14	5		1	4	0	14
廃プラスチック	21	3	2	1	3		18	18	0	9	9	12	10	2	10	4		1	4		10
廃タイヤ	5						5	5	0	5		5	4	1	4	1			1	0	4
紙くず	1	0	0	0	0		1	1		1	0	0	0	0	0	0		0	0		0
木くず	39	3	2	1	3		36	36	0	36	0	34	33	1	49	4		1	3		49
繊維くず	1	0	0	0	0		1	0	0	1		0	0	0	0	0		0	0		0
動植物性残さ	3	0	0		0		3	3		2	1	3	3		3	0			0		4
動物系固形不要物	0						0	0		0	0	0	0		0						0
ゴムくず	0	0	0	0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
金属くず	12	0	0	0	0		12	12	0	10	1	12	10	2	11	2		0	2		25
ガラス陶磁器くず	12	6	3	4	6		6	6	0	5	1	5	3	2	7	8		4	4		7
鉱さい	17	11	11	0	11		6	6		0	6	6	6	0	6	141	130	0	11		6
がれき類	260	2	1	0	2		259	259	0	258	1	258	256	2	283	4		0	3	0	285
コンクリート片	141	0	0	0	0		141	141	0	141	0	140	140	0	152	1		0	0		153
廃アスファルト	117	0	0	0	0		117	117		116	1	117	115	2	130	2		0	2	0	131
その他	2	1	1	0	1		1	1		1	0	1	1	0	1	1		0	1		1
ばいじん	254	46	46		46		208	208		0	208	208	208	0	208	60	15		46		229
その他の産業廃棄物	11	4	4	1	4	0	6	6	0	6	0	5	2	2	2	7		1	6	0	2
感染性廃棄物	2	0	0		0		2	2	0	2						0			0		
混合物等	8	4	4	1	4	0	4	4	0	4	0	5	2	2	2	7		1	6	0	2

表7-1　発生量及び処理・処分状況（業種別）＜平成24年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 業種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後の処理内訳 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	自己未処理の処理内訳 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	県外
合計	1,861	120	1,741	844	106	45	4	45	13	0	897	10	142	640	104	0	948	146	146	
建設業	371	3	367	39	37	31		5	2		329	0		312	16	0	335			
製造業	650	15	636	385	39	12	4	15	8		251	10	127	91	22		268	131	131	
食料品	16	0	16	12	2	0		1	1		3	1		3	0		4			
飲料・飼料	6	0	6	3	0				0		3	0		3	0		3			
繊維	2	0	2	0	0				0		2			1	1		2			
木材・木製品	82	0	82	68	11	7		1	2		14	9		4	2		9			
家具・装備品	2		2	1	0		0	0	0		0			0	0		1	0	0	
パルプ・紙	280	3	277	254	11			10	1		22			21	1		33			
印刷	0		0								0			0	0		0			
化学	12	0	12	10	4		4	0	0		2			2	0		6	4	4	
石油製品	0		0	0	0	0					0			0			0			
プラスチック	3		3								3			3			3			
ゴム製品	0		0								0			0	0		0			
皮革																				
窯業・土石	21	0	21	15	9	4		2	3		6			6	0		11			
鉄鋼	10	0	10	1	0				0		10			5	5		10			
非鉄金属	140	0	139								139	1	127	2	10		139	127	127	
金属製品	8	2	6	1	0			0	0		5			4	1		5			
一般機械	12	1	12	2	0	0		0	0		10	0		9	1		10			
電気機械	2	0	1	1	0				0		1			0	0		1			
情報通信機械	11	0	11	6	1			1			5			5	0		5			
電子部品	32	2	29	10	0			0	0		19			19	1		20			
輸送機械	11	5	6	1	0			0	0		5			5	0		5			
その他	0		0								0				0		0			
電気・水道業	806	96	711	416	30	2		25	3	0	295	0	15	215	65		322	15	15	
電気業	377	96	282	1	0			0	0		281		15	202	65		281	15	15	
ガス業	0	0	0								0			0	0		0			
上水道業	42		42	37	2	1			0	0	5	0		5	0		6			
下水道業	387		387	379	28	0		25	3		8			8	0		35			
その他の業種	34	6	27	4	0	0	0	0	0	0	23	0	0	22	1	0	23	0	0	

表7-1　発生量表7-1　発生量及び処理・処分状況（業種別）＜平成24年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 業種	委託処理量 (K) (0+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	802	117	96	21	117	0	685	666	19	425	260	624	601	23	656	286	146	25	115	0	776
建設業	335	18	11	7	18	0	317	317		315	1	312	304	8	335	26		7	19	0	339
製造業	136	30	27	3	30	0	106	106	0	50	56	82	77	5	99	166	131	3	32		113
食料品	4	1	0	1	1		3	3		2	1	2	2	0	3	1		1	1		3
飲料・飼料	3	0	0	0	0	0	3	3		3		3	2	1	2	1		0	1		2
繊維	2	1	1	0	1		1	1	0	1		0	0	0	0	1		0	1		0
木材・木製品	9	3	3	0	3		5	5		5		5	5	0	21	3		0	3		22
家具・装備品	1	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
パルプ・紙	33	2	2		2		31	31		1	30	31	31	0	31	2			2		34
印刷	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
化学	2	0	0	0	0		2	2		2	0	1	1	0	1	4	4	0	0		1
石油製品	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
プラスチック	3						3	3		1	3	2	2	0	2	0			0		2
ゴム製品	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0		
皮革																					
窯業・土石	11	4	4		4		8	8		6	1	7	7	0	11	4			4		12
鉄鋼	10	5	5	0	5		5	5		0	5	5	5	0	5	5		0	5		5
非鉄金属	11	10	10		10		2	2		2	0	1	1	0	1	137	127		10		1
金属製品	5	1	1	0	1		4	4		2	2	2	2	1	2	2		0	1		3
一般機械	10	1	0	1	1		9	9		2	7	5	4	1	4	2		1	1		5
電気機械	1	1	0	0	1		0	0		0	0	0	0	0	0	1		0	0		0
情報通信機械	5	0	0	0	0		5	5		4	2	3	3	0	3	0		0	0		3
電子部品	20	1	1	0	1	0	19	19		15	4	10	9	1	9	2		0	2		11
輸送機械	5	0	0	0	0		5	5		3	1	4	4	0	4	0		0	0		9
その他	0	0		0	0											0		0			
電気・水道業	307	68	56	12	68		240	221	18	37	203	217	211	6	213	88	15	15	58	0	309
電気業	266	65	56	9	65		202	202		0	202	202	202	0	202	79	15	9	56		297
ガス業	0	0		0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
上水道業	5	0	0	0	0		5	5		5	0	5	5	0	7	1		0	0	0	7
下水道業	35	3		3	3		33	14	18	32	1	10	4	6	5	8		6	2		5
その他の業種	23	1	1	0	1		22	22	1	22	0	14	9	5	9	6	0	0	6	0	15

表7-2　発生量及び処理・処分状況（業種別）＜平成25年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 業種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後の処理内訳 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	自己未処理の処理内訳 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	県外
合計	1,845	121	1,724	843	104	43	4	44	13	0	881	10	145	622	104	0	932	149	149	
建設業	346	3	343	36	35	29		4	1		307	0		292	15	0	313			
製造業	650	15	636	383	39	12	4	15	8		253	10	130	91	22		270	134	134	
食料品	16	0	15	12	2	0		1	1		3	1		3	0		4			
飲料・飼料	6	0	6	3	0				0		3	0		3	0		3			
繊維	2	0	2	0	0				0		2			1	1		2			
木材・木製品	79	0	79	65	10	7		1	2		14	8		4	2		8			
家具・装備品	2		2	1	0		0	0	0		0			0	0		0	0	0	
パルプ・紙	280	3	277	255	11			10	1		22			21	1		33			
印刷	0		0								0			0	0		0			
化学	13	0	12	10	4		4	0	0		2			2	0		7	4	4	
石油製品	0		0	0	0	0					0			0			0			
プラスチック	3		3								3			3			3			
ゴム製品	0		0								0			0	0		0			
皮革																				
窯業・土石	21	0	21	15	9	4		2	3		6			6	0		11			
鉄鋼	10	0	10	1	0				0		10			5	5		10			
非鉄金属	142	0	142								142	1	130	2	10		141	130	130	
金属製品	8	2	6	1	0			0	0		5			4	1		5			
一般機械	13	1	12	2	0	0		0	0		10	0		9	1		10			
電気機械	2	0	1	1	0				0		1			0	0		1			
情報通信機械	11	0	11	6	1			1			5			5	0		5			
電子部品	31	2	28	10	0			0	0		19			18	1		19			
輸送機械	11	5	6	1	0			0	0		5			5	0		5			
その他	0		0								0				0		0			
電気・水道業	814	97	718	420	30	2		25	3	0	298	0	15	217	66		325	15	15	
電気業	381	97	285	1	0			0	0		284		15	204	65		284	15	15	
ガス業	0	0	0								0			0	0		0			
上水道業	42		42	37	2	1			0	0	5	0		5	0		6			
下水道業	391		391	383	28	0		25	3		8			8	0		36			
その他の業種	34	6	28	4	0	0	0	0	0	0	23	0	0	22	1	0	24	0	0	

表7-2　発生量表7-2　発生量及び処理・処分状況（業種別）＜平成25年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 業種	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	783	117	96	21	117	0	666	647	19	404	263	606	583	23	635	288	149	25	115	0	756
建設業	313	17	11	6	17	0	296	296		295	1	292	284	7	313	24		6	18	0	316
製造業	136	30	27	3	30	0	106	106	0	49	56	82	77	5	98	169	134	3	32		113
食料品	4	1	0	1	1		3	3		2	1	2	2	0	3	1		1	1		3
飲料・飼料	3	0	0	0	0	0	3	3		3		3	2	1	2	1		0	1		2
繊維	2	1	1	0	1		1	1	0	1		0	0	0	0	1		0	1		0
木材・木製品	8	3	3	0	3		5	5		5		5	5	0	21	3		0	3		21
家具・装備品	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
パルプ・紙	33	2	2		2		31	31		1	30	31	31	0	31	2			2		34
印刷	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
化学	3	0	0	0	0		2	2		2	0	1	1	0	1	4	4	0	0		1
石油製品	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
プラスチック	3						3	3		1	3	2	2	0	2	0			0		2
ゴム製品	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0		
皮革																					
窯業・土石	11	4	4		4		8	8		6	1	7	7	0	12	4			4		12
鉄鋼	10	5	5	0	5		5	5		0	5	5	5	0	5	5		0	5		5
非鉄金属	12	10	10		10		2	2		2	0	1	1	0	1	140	130		10		2
金属製品	5	1	1	0	1		4	4		2	2	2	2	1	2	2		0	1		3
一般機械	10	1	0	1	1		9	9		2	7	5	4	1	4	2		1	1		5
電気機械	1	1	0	0	1		0	0		0	0	0	0	0	0	1		0	0		0
情報通信機械	5	0	0	0	0		5	5		4	2	3	3	0	3	0		0	0		3
電子部品	19	1	1	0	1	0	18	18		14	4	9	8	1	8	2		0	2		11
輸送機械	5	0	0	0	0		5	5		3	1	4	4	0	4	0		0	0		9
その他	0	0		0	0											0		0			
電気・水道業	310	69	57	12	69		242	223	18	37	205	219	213	6	215	89	15	16	59	0	312
電気業	269	65	56	9	65		204	204		0	204	204	204	0	204	80	15	9	56		300
ガス業	0	0		0	0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
上水道業	5	0	0	0	0		5	5		5	0	5	5	0	7	1		0	0	0	7
下水道業	36	3		3	3		33	15	18	32	1	10	4	6	5	8		6	2		5
その他の業種	24	1	1	0	1		22	22	1	22	0	14	9	5	9	6	0	0	6	0	15

表8-1　発生量及び処理・処分状況（鉱業　種類別：変換）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後の処理内訳 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	自己未処理の処理内訳 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	処理先地域の内訳 県外
合計	213	43	171	151	62	57				5	19	19		1	0		6			
燃え殻																				
汚泥	152		152	151	62	57				5	0			0	0		5			
有機性汚泥	16		16	15	3	3					0			0	0		0			
無機性汚泥	136		136	136	58	54				5	0			0			5			
廃油	0		0								0			0			0			
一般廃油	0		0								0			0			0			
廃溶剤																				
その他	0		0								0			0			0			
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	0		0								0			0	0		0			
廃プラスチック	0		0								0			0	0		0			
廃タイヤ	0		0								0			0			0			
紙くず																				
木くず																				
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0	0	0								0			0	0		0			
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0			0			
鉱さい	61	43	19								19	19								
がれき類																				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物																				
感染性廃棄物																				
混合物等																				

表8-1　発生量表8-1　発生量及び処理・処分状況（鉱業　種類別：変換）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	1	0	0		0		1	1		1		0	0	0	75	0			0	5	118
燃え殻												0	0	0	0	0			0		0
汚泥	0	0	0		0		0	0		0		0		0	57	0			0	5	57
有機性汚泥	0	0	0		0		0	0		0		0		0	3	0			0		3
無機性汚泥	0						0	0		0		0		0	54	0			0	5	54
廃油	0						0	0		0											
一般廃油	0						0	0		0											
廃溶剤																					
その他	0						0	0		0											
廃酸																					
廃アルカリ																					
廃プラスチック類	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0		
廃プラスチック	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0		
廃タイヤ	0						0	0		0											
紙くず																					
木くず																					
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	0	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0			0		0
ガラス陶磁器くず	0						0	0		0		0		0		0			0		
鉱さい															19						61
がれき類																					
コンクリート片																					
廃アスファルト																					
その他																					
ばいじん																					
その他の産業廃棄物																					
感染性廃棄物																					
混合物等																					

表8-2　発生量及び処理・処分状況（鉱業　種類別：無変換）＜平成22年度＞

（その1）　　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後の処理内訳 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	自己未処理の処理内訳 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	処理先地域の内訳 県内	処理先地域の内訳 県外
合計	213	43	171	151	62	57				5	19	19		1	0		6			
燃え殻																				
汚泥	152		152	151	62	57				5	0			0	0		5			
有機性汚泥	16		16	15	3	3					0			0	0		0			
無機性汚泥	136		136	136	58	54				5	0			0			5			
廃油	0		0								0			0			0			
一般廃油	0		0								0			0			0			
廃溶剤																				
その他	0		0								0			0			0			
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	0		0								0			0	0		0			
廃プラスチック	0		0								0			0	0		0			
廃タイヤ	0		0								0			0			0			
紙くず																				
木くず																				
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0	0	0								0			0	0		0			
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0			0			
鉱さい	61	43	19								19	19								
がれき類																				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物																				
感染性廃棄物																				
混合物等																				

表8-2　発生量表8-2　発生量及び処理・処分状況（鉱業　種類別：無変換）＜平成22年度＞

（その1）　（その2）　（単位：千ｔ/年）

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量 (O)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理量 (L)	（処理主体の内訳）業者	（処理主体の内訳）自治体	（処理先地域の内訳）県内	（処理先地域の内訳）県外	委託中間処理後量 (M)	（委託処理後の処理内訳）再生利用量 (M1)	（委託処理後の処理内訳）最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	処理主体の内訳 事業者 (Q1)	処理主体の内訳 自治体 (Q2)	処理主体の内訳 処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	1	0	0		0		1	1		1		0	0	0	75	0			0	5	118
燃え殻																					
汚泥	0	0	0		0		0	0		0		0		0	57	0			0	5	57
有機性汚泥	0	0	0		0		0	0		0		0		0	3	0			0		3
無機性汚泥	0						0	0		0		0		0	54	0			0	5	54
廃油	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
一般廃油	0						0	0		0		0	0		0						0
廃溶剤																					
その他	0						0	0		0		0		0		0			0		
廃酸																					
廃アルカリ																					
廃プラスチック類	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
廃プラスチック	0	0	0		0		0	0		0		0		0		0			0		
廃タイヤ	0						0	0		0		0	0		0						0
紙くず																					
木くず																					
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	0	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0			0		0
ガラス陶磁器くず	0						0	0		0		0		0		0			0		
鉱さい															19						61
がれき類																					
コンクリート片																					
廃アスファルト																					
その他																					
ばいじん																					
その他の産業廃棄物																					
感染性廃棄物																					
混合物等																					